小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

監修/児玉幸多 学習院大学名誉教授

⑮ ゆきづまる幕府 ●江戸時代後期

決定版

●まんが

あおむら　純

1941年、山口県に生まれる。アニメーションの作画などをへて現在にいたる。歴史まんがの分野で大活やくし、少年少女のファンも多い。

15巻にご協力いただいた方がた

●監修
児玉幸多（学習院大学名誉教授）

●まんが
あおむら純
●シナリオ
西原和海

●考証
石井謙治（日本海事史学会名誉会長）
萱野　茂（元二風谷アイヌ資料館館長）
小泉和子（生活史研究所代表）
佐々木利和（国立民族学博物館教授）
鈴木友也（日本美術刀剣保存協会専務理事）
高田倭男（高田装束研究所所長）
玉井哲雄（千葉大学名誉教授）

●指導（教育現場の立場から）
高山博之（京都教育大学名誉教授）

●指導・執筆・協力
合田一道（作家）
青木國夫（元東京国際大学教授）
萱野　茂（元二風谷アイヌ資料館館長）
小泉和子（生活史研究所代表）
小泉袈裟勝（元日本計量機器工業連合会専務理事）
佐々木利和（国立民族学博物館教授）
高田倭男（高田装束研究所所長）
玉井哲雄（千葉大学名誉教授）
竹内　誠（江戸東京博物館館長／東京学芸大学名誉教授）
所　荘吉（鉄砲史研究家）
保柳睦美（元東京都立大学教授）
吉原健一郎（成城大学名誉教授）
高橋千劔破
●取材協力
伊能忠敬記念館　大阪市立博物館　大阪府立中之島図書館　岡山県青少年教育センター閑谷学校　御宿町歴史民俗資料館　神田明神　江東区立深川江戸東京資料館　神戸市立博物館　国立公文書館　佐賀県機械金属工業会　佐賀県立図書館　佐賀市立日新小学校　山王日枝神社　末安祥二　関ヶ原町歴史民俗資料館　たばこと塩の博物館　田原町博物館　田原町教育委員会　東京国立博物館　東京都江戸東京博物館　東京都立大学附属図書館　東京都立中央図書館　(財)東洋文庫　長崎県立美術博物館　長崎大学経済学部　二風谷アイヌ文化博物館　日本学士院　(財)林原美術館　間宮正孝　間宮林蔵記念館

●イラスト・作画協力
中西立太　三谷ゆきひこ　深山のぼる
大岡龍二　小野寺克彦　小井土繁　小杉彰
小林進　小山春夫　河合秀和　阪上吉英
芝知照　田中正仁　坪井幸一　馬場秀夫
森正　山根篤　山本貴久雄
●装丁・レイアウト
功野真矢　佐野恒雄（ＣＳＪ）　DOMDOM
成澤哲夫（ＮＥＤ）
●版下
大山デザイン　昭和ブライト　タナカデザイン
●編集協力
旭亨子　エディトリアル・プランニング　真英社　中田絵里
風人社　鈴木悦子　銀杏社
●編集担当
柏原順太　宮部良雄　八巻孝夫
（五十音順・敬称略）

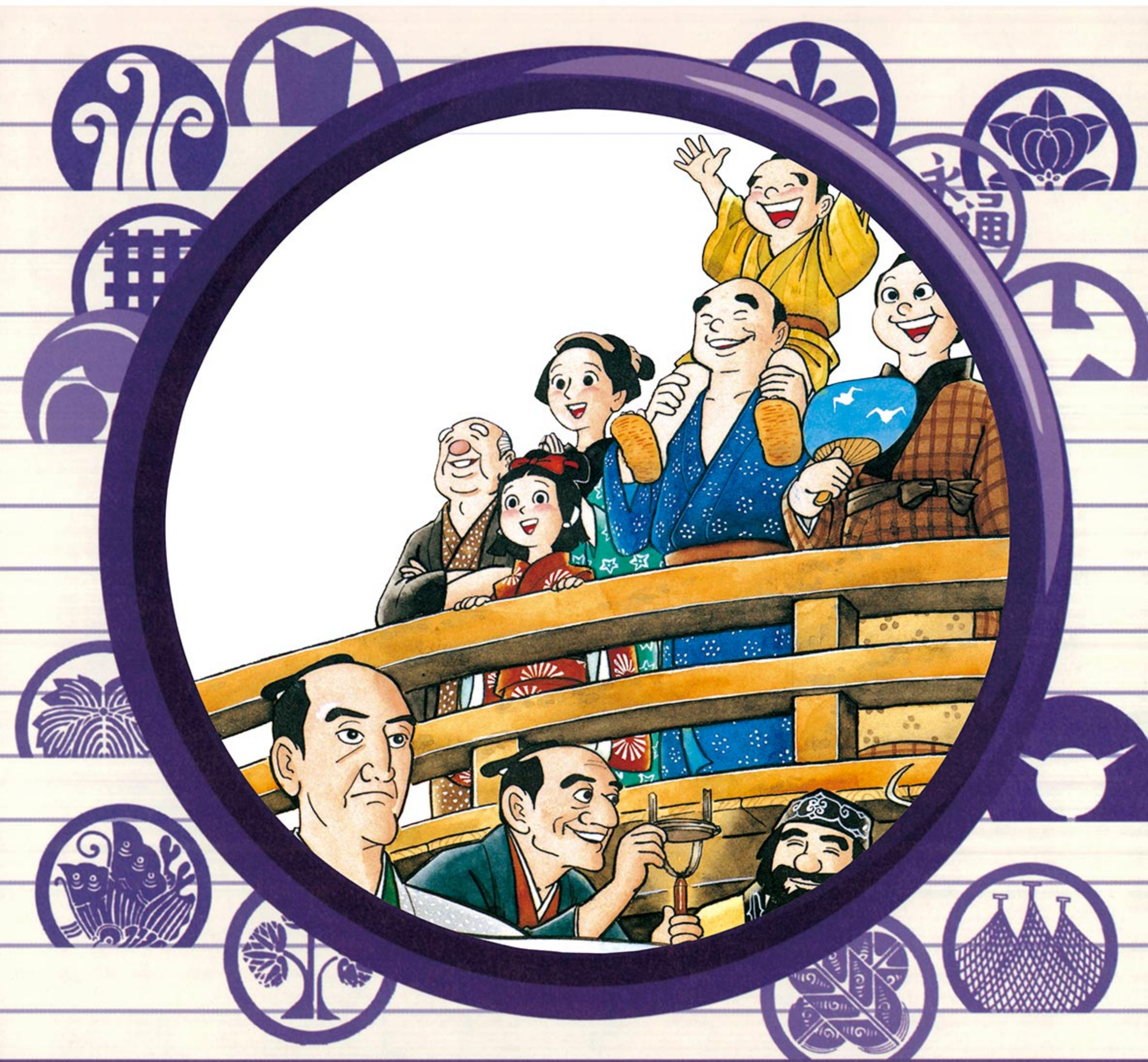
小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

15

ゆきづまる幕府

●江戸時代後期



監修/児玉幸多　まんが/あおむら純

年表の巻の歴史

巻数	時代	年代
1	旧石器（岩宿）	前3万
	縄文（紋）	前1万
	弥生	前1000
2	古墳	紀元1
	飛鳥	100
3	奈良	200
4	平	300
5	安	400
6		500
7	鎌倉	600
8	南北朝	700
9	室町	800
10	戦国	900
11	安土桃山	1000
12	江戸	1100
13		1200
14		1300
15		1400
16		1500
17	明治	1600
18		1700
19	大正	1800
20	昭和・前期	1900
21	昭和・後期～平成	

●この巻には、青色の部分の時代・年代が、かかれています。

時代・文化

代

西暦

●1808 ●1807 ●1804 ●1802 ●1800 ●1798

日本のおもなできごと

近藤重蔵が択捉島に「大日本恵土呂府」の標柱をたてる。

本居宣長、「古事記伝」を完成させる。

欧米諸国の来航と一揆の増加で幕政がゆらぐ。

伊能忠敬が蝦夷地を測量する。

十返舎一九の「東海道中膝栗毛」が出版されはじめる。（～09）

ロシア使節レザノフが長崎に来航する。

幕府、東蝦夷地につづき西蝦夷地を直轄地とし、松前奉行をおく。

間宮林蔵、カラフトを探検し、**間宮海峡**を発見する。

フェートン号事件おこる。

このころ、工場制手工業があらわれ、諸藩の専売制も広まる。

西暦

●1806 ●1804

世界のおもなできごと

フランスでナポレオンが皇帝となる。

ナポレオンの大陸封鎖でヨーロッパが戦乱のうずにまきこまれる。

江戸時

化政文化

1813 1819 1821 1825 1827 1828 1830 1833 1834 1836 1837 1838 1839 1841 1842 1843 1844 1846 1851

幕府、十組問屋を株仲間とする。

塙保己一の「群書類従」正編が出版される。（続編は22年）

伊能忠敬の「大日本沿海輿地全図」が完成する。

幕府、異国船打払い令を出す。

薩摩藩で調所広郷が藩政改革をはじめる。

シーボルト事件がおこる。

伊勢おかげまいりが大流行する。

天保の大飢饉がはじまる。

安藤広重の「東海道五十三次」が完成する。

郡内一揆がおこる。

大塩平八郎の乱がおこる。モリソン号事件おこる。

長州藩で村田清風が藩政改革をはじめる。

蛮社の獄がおこる。

アヘン戦争のえいきょうもあり、高島秋帆が砲術訓練をはじめる。

老中水野忠邦が天保の改革をはじめる。（～43）

株仲間が禁止される。（～51年再興）

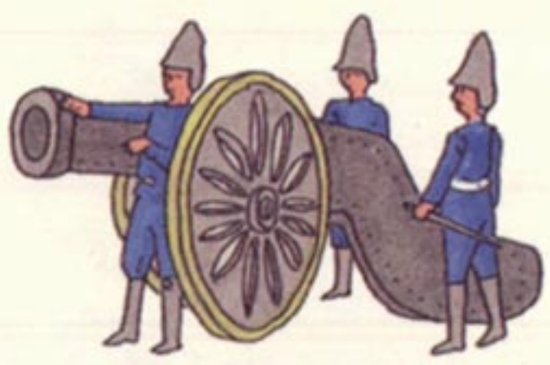
幕府、異国船打払い令をやめ、薪水給与令を出す。

人返し令、上知令が出される。

オランダ国王が幕府に開国をすすめる。

朝廷が幕府に海岸防備に努力するように命じる。

薩摩藩主島津斉彬が製煉所をきずく。



1814 1822 1823 1830 1839 1840 1842 1848 1850

ウィーン会議がひらかれる。

ギリシアが独立する。

アメリカでモンロー宣言が出される。

フランスのパリで七月革命がおこる。

清の林則徐、アヘン密貿易をとりしまる。

清とイギリスの間でアヘン戦争がおこる。

清がやぶれ、南京条約がむすばれる。

フランスで二月革命がおこる。

清で太平天国の乱がおこる。（～64）

はじめに

庶民文化の広がりとゆれる幕府

◆町人の文化

みなさんは、弥次さん・喜多さんを知ってますか。え、助さん・格さんなら知ってるですって？　さあ、みなさんにとって、どちらのほうが有名なんでしょうね。

弥次さんと喜多さんは、江戸時代の後期、庶民のあいだでベストセラーとなったこっけい小説『東海道中膝栗毛』の主人公です。この本の作者は、十返舎一九という人でした。

19世紀にはいってからの約三十年間は、町人の文化がさかえました。「化政文化」といいます。十返舎一九もこの時代の人ですし、小説だけではなく、錦絵（浮世絵）・歌舞伎・講談・落語など、さまざまな芸術が、町人たちに支持されてさかんになりました。

◆北方があぶない

町人たちは、長屋ずまいの、まずしい生活ながら、四季おりおりの行事や、お祭りなどに心をはずませました。子どもたちは寺子屋にかよい、読み書きを熱心に学びました。

しかし、そのころから幕府は、国の内外にしだいに危機感をおぼえるようになります。

18世紀の末、ロシアの使節が蝦夷地（北海道）にやってきて、日本と貿易をもとめました。幕府は、これをきっかけに北方の防備をかんがえるようになり、蝦夷地の調査をすすめることにしました。

地理学者の伊能忠敬も、幕府のゆるしをえて蝦夷地を測量し、りっぱな地図をつくりました。かれの弟子であった間宮林蔵は、カラフト（サハリン）を探検し、ここが島であることを発見しました。

◆天保の改革

一八三〇年代の初め、数年にわたって天候の不順がつづきました。そのため、農作物は大被害をうけ、全国的なききんにみまわれ、各地で一揆がみられました。大坂では、大塩平八郎という学者が乱をおこし、幕府をおどろかせます。

幕府は、経済的にもゆきづまっていました。そこで、思いきった政治の改革をおこなうことにしました。「天保の改革」です。しかし、この改革は成功しませんでした。

多くの藩でも財政が苦しく、やはり改革の必要にせまられました。長州藩や薩摩藩などでは、これがうまくいって力をつけ、やがて、次の時代で大きな役わりをはたすことになります。

もくじ

- この巻の歴史年表
- はじめに
- おもな登場人物

第1章 江戸の町人文化

- 大画面・長屋の生活
- 寺子屋
- 大画面・山王祭と神田祭
- 浮世絵のできるまで

第2章 北方の探検

- アイヌの生活
- 幕府の北海道政策
- 伊能忠敬の蝦夷地測量
- 間宮林蔵の択捉探検
- シーボルトと鳴滝塾

第3章 不安な世の中

- おかげまいり
- 大塩平八郎のなやみ
- 大塩の乱
- 渡辺華山と高野長英

15 ゆきづまる幕府
●江戸時代後期

第4章

天保の改革

- 蛮社の獄
- 老中水野忠邦
- 水野の改革
- 大画面・高島秋帆の砲術訓練
- 水野の失脚
- 諸藩の改革

おもな登場人物

※この巻に登場するおもな人物を紹介します。登場人物をくわしく知るための事典として、役立たせてください。

第1章

勝吉※

江戸の下町の長屋に住む少年。江戸の町の庶民の生活を家族を通して紹介する。

お花※

勝吉と同じ長屋に住む働き者の少女。勝吉とともに江戸庶民の生活を紹介する。

十返舎一九（一七六五～一八三一年）

滑稽本の作家。弥次郎兵衛喜多八の道中記「東海道中膝栗毛」がベストセラーになる。

市川団十郎（初代）（一六六〇～一七〇四年）

十四歳で荒事という豪快な演出を創りだす。江戸歌舞伎の代表的名優となる。

第2章

シャクシャイン（？～一六六九年）

日本人の不正な交易などに対し、アイヌをひきいて松前藩に戦いをいどんだ指導者。

伊能忠敬（一七四五～一八一八年）

天文測量や地図製作を勉強し、蝦夷地を測量する。以後日本全国の地図をつくる。

間宮林蔵（一七八〇～一八四四年）

幕府の蝦夷地調査隊にくわわる。その後、樺太を探検して、間宮海峡を発見する。

シーボルト（一七九六～一八六六年）

ドイツ人医師。鳴滝塾で西洋医学を教え、わが国の洋医学発展に貢献する。

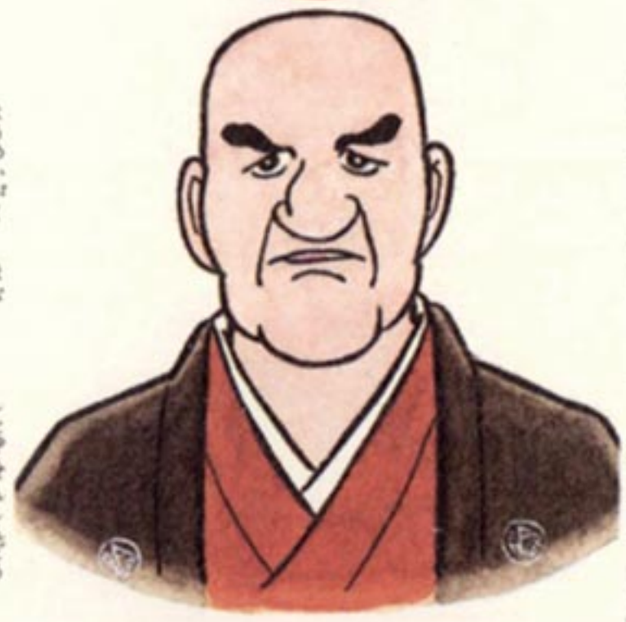
（注）※は仮空人物です。

15 ゆきづまる幕府

●江戸時代後期

第3章

大塩平八郎（一七九三〜一八三七年）



陽明学を学び、私塾洗心洞を開く。幕府を批判し、貧しい人を救うために兵をおこす。

渡辺崋山（一七九三〜一八四一年）

洋学者。幕府の鎖国政策を批判して「慎機論」をあらわし、蛮社の獄でとらえられる。

高野長英（一八〇四〜一八五〇年）

幕府の外交政策を批判して「夢物語」をあらわし、蛮社の獄でとらえられる。

江川英竜（一八〇一〜一八五五年）

伊豆韮山の代官。民政の改革や海防の充実につとめ、韮山に反射炉を構築する。

第4章

徳川家慶（一七九三〜一八五三年）

十二代将軍。水野忠邦を老中にして、天保の改革を断行する。

水野忠邦（一七九四〜一八五一年）

老中。倹約令や、株仲間を解散させるなど「天保の改革」を行う。上知令が不評を買う。

鳥居耀蔵（一八〇四〜一八七四年）

蛮社の獄で洋学者を弾圧し水野忠邦をたすけて、天保の改革をおしすすめる。

遠山景元（金四郎）（?〜一八五五年）

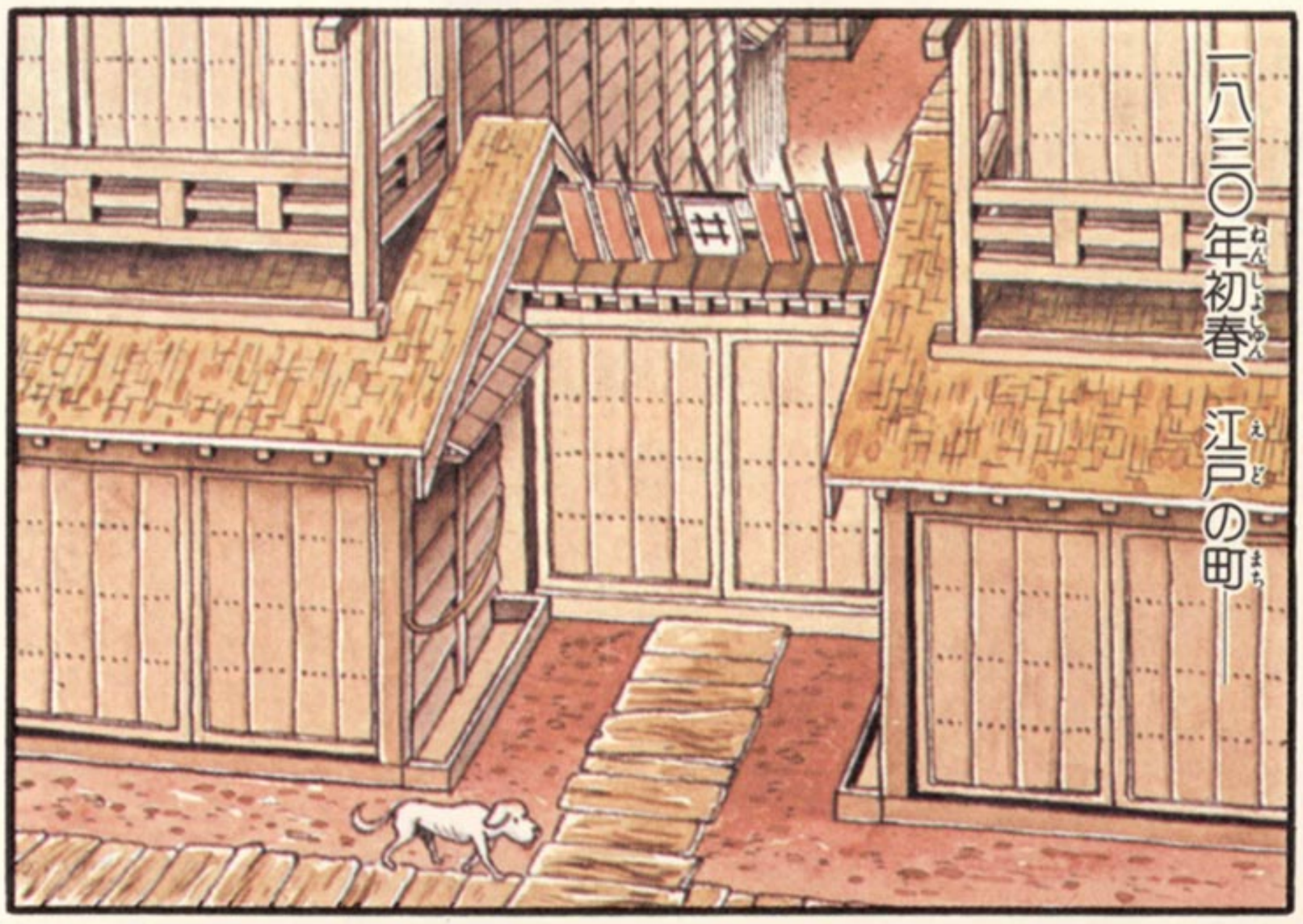
江戸の町奉行となって、名奉行として人びとの評判をあつめる。

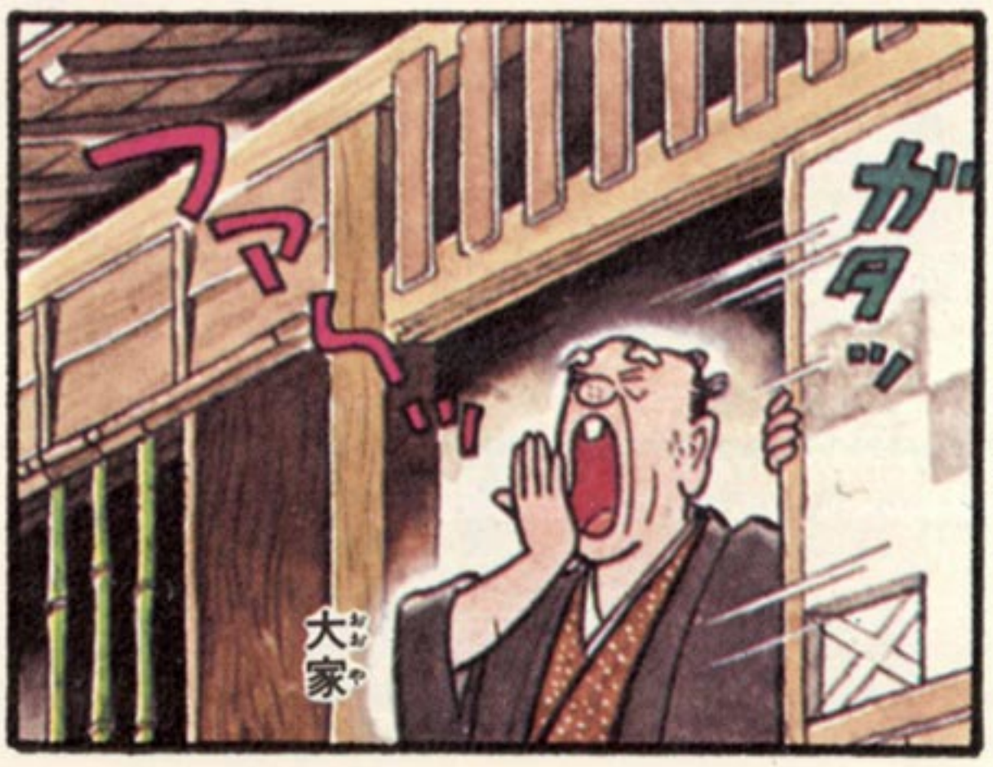
小学館 eBooks

第一章

江戸の町人文化

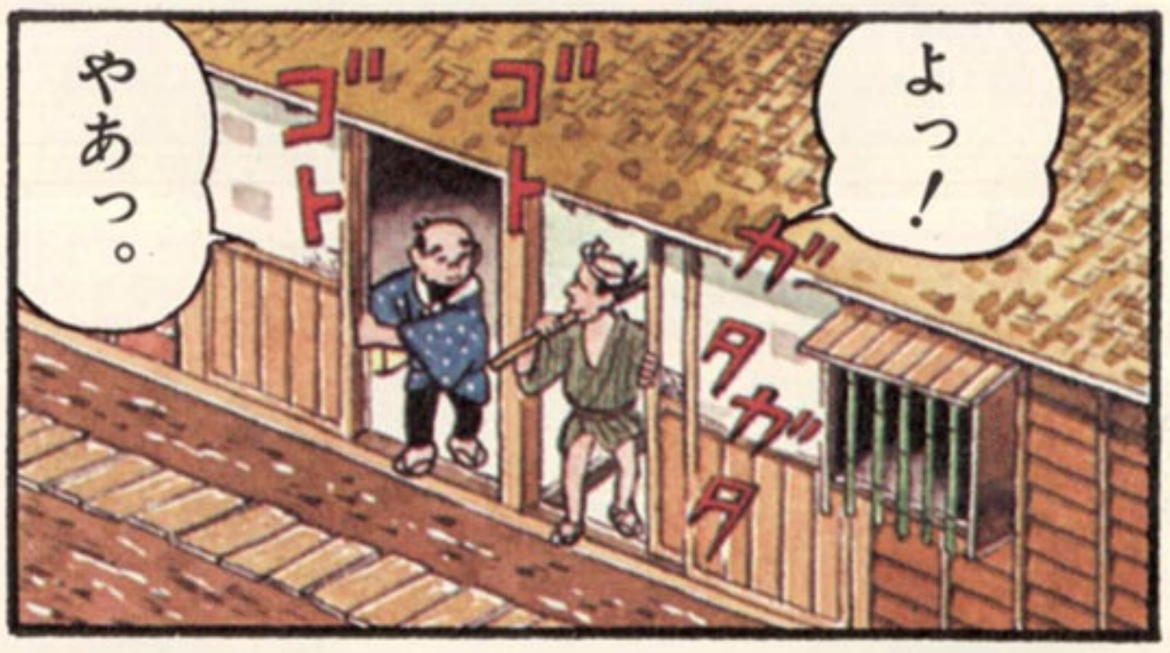
——江戸時代後期——

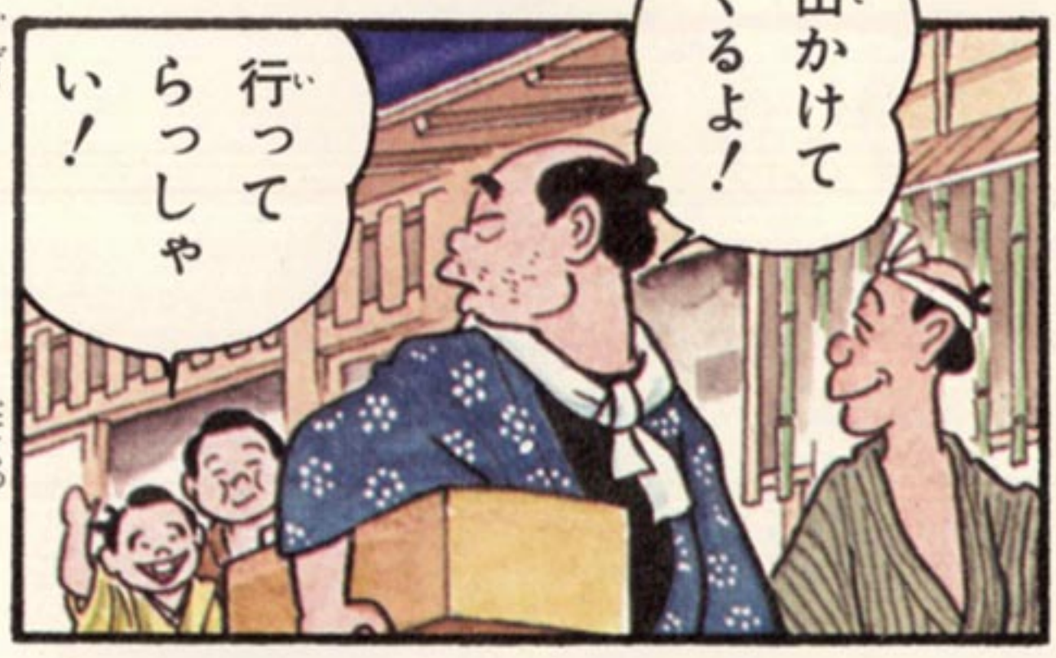


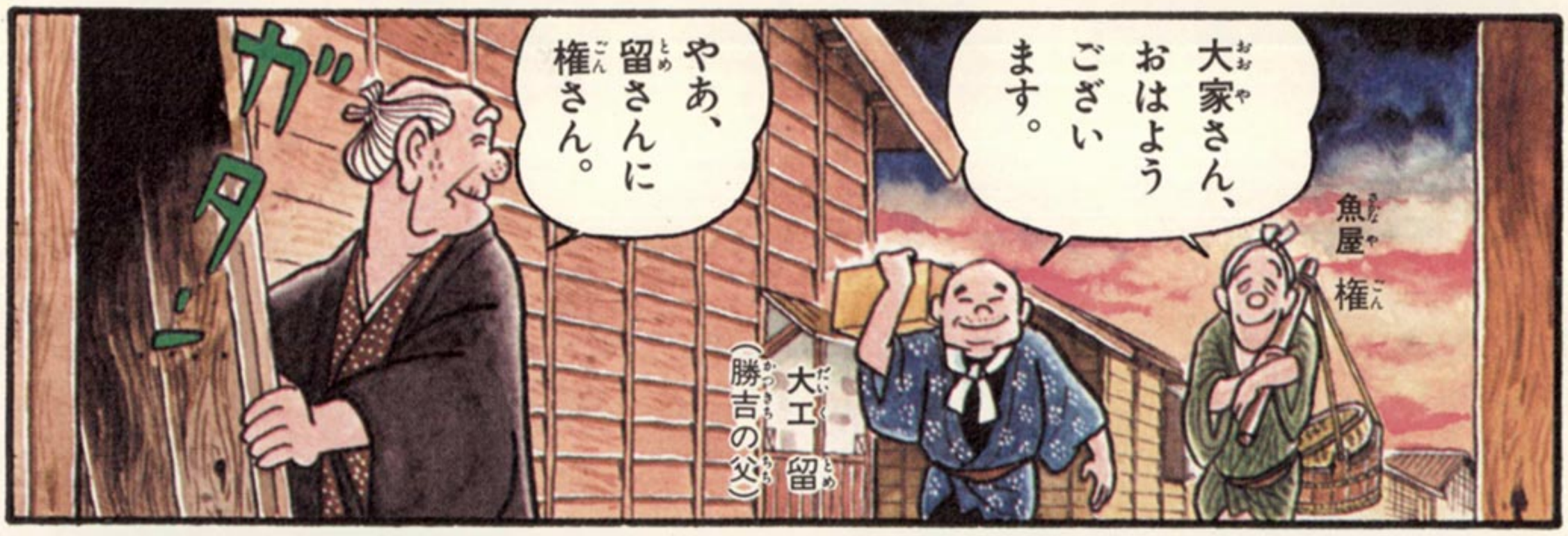


＊明け六つ…午前六時ごろ。

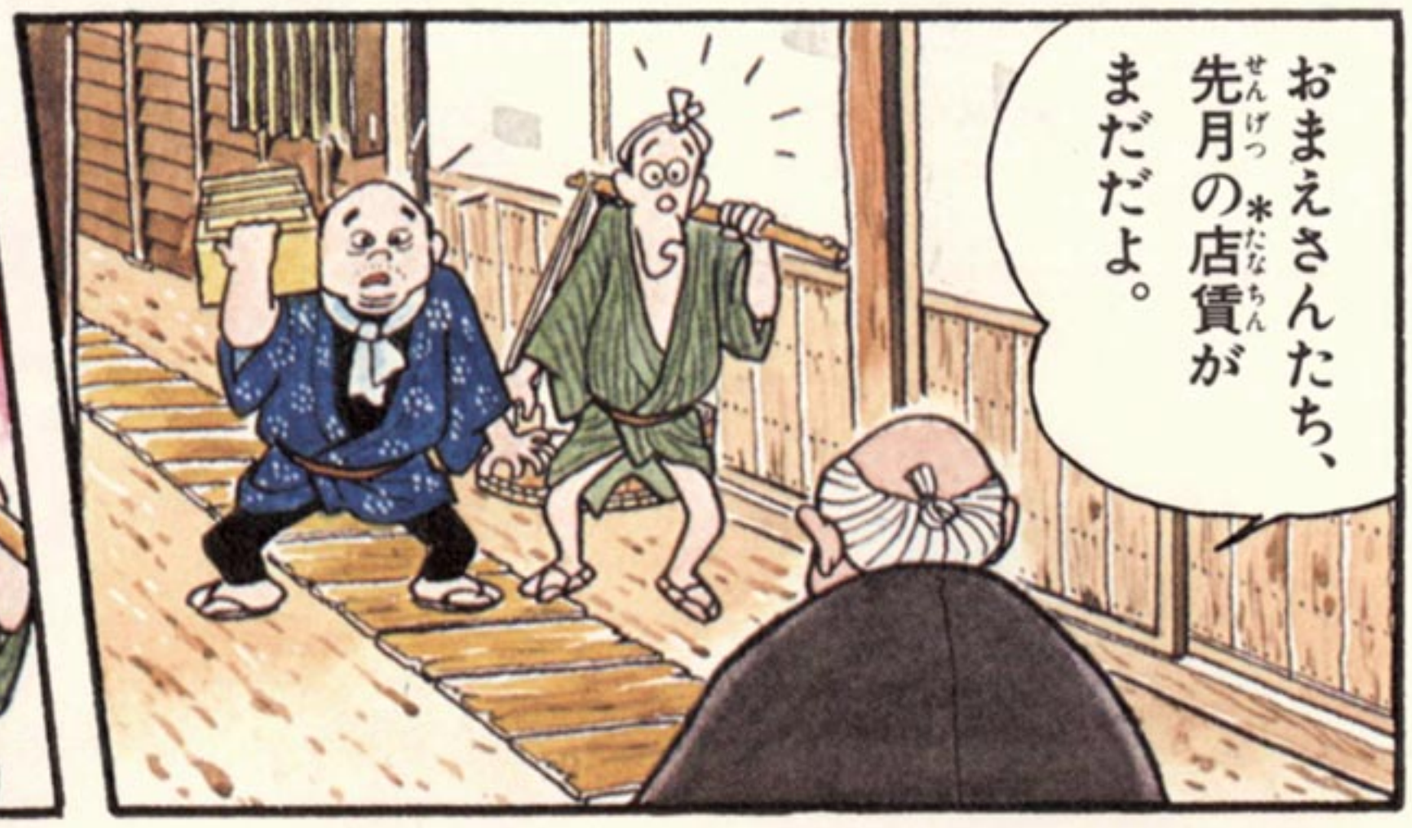
＊長屋…同じ屋根つづきで、何軒もの家族がすんでいる建物。







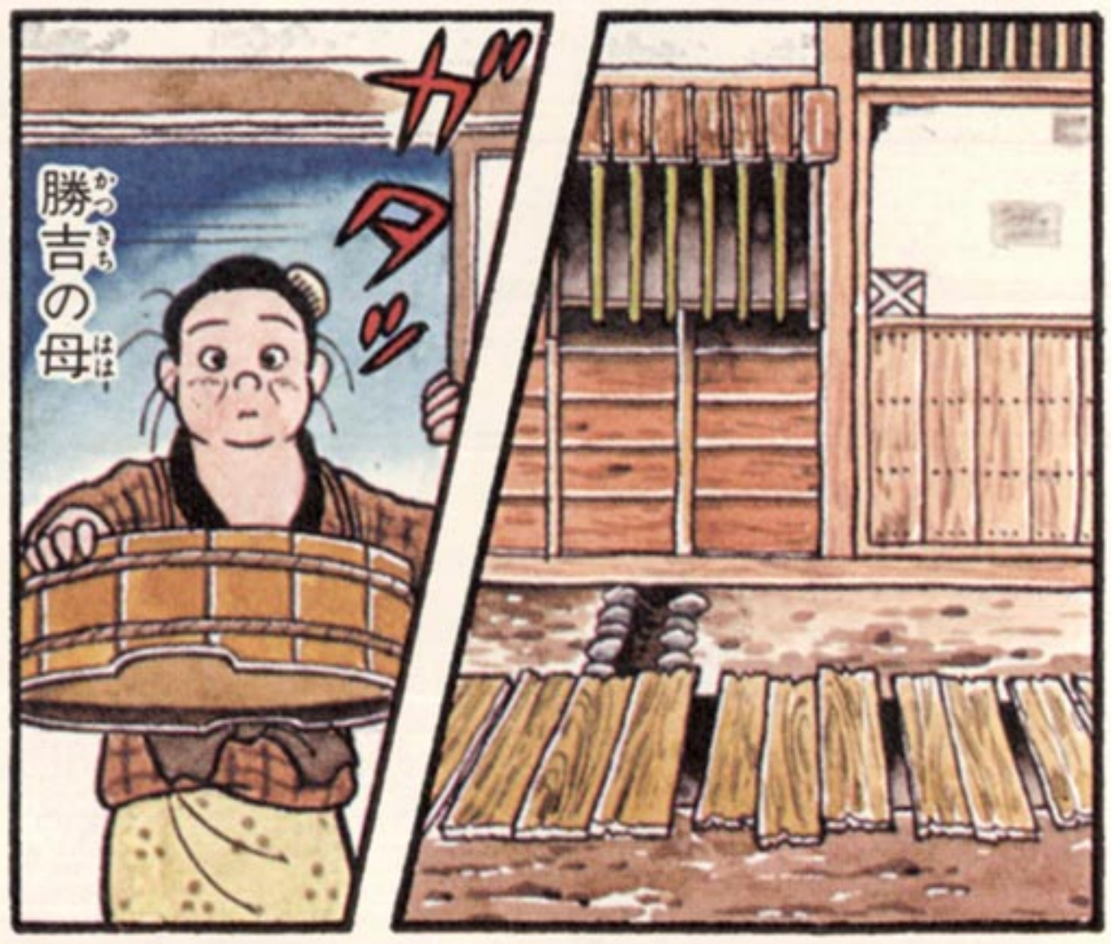
＊店賃…家賃。


おまえさんたち、先月の＊店賃がまだだよ。

へえ、ちょっと……。
モジ
モジ

すみません、いそぎますんで…。
こらまて！
ダダ
ダダ

ちっ、またにげられたか。
ゼイ
ゼイ


ガタッ
勝吉の母

ガヤ
ガヤ
ワイ
ワイ

ガヤガヤ
ペチャ
クチャ
おはようございます。
お花

お花ちゃん、よくはたらくね。

おじちゃん、あそぼうよ。
今日は、かさはりの内職が、いそがしいんだよ…。
そろそろ、手習いに行く時間だよ。
はあい！
ペタペタ
ミーンミーン

江戸の庶民がすんでいた場所が、長屋です。町の表通りから、路地を通って裏に入ると、現在のアパートのように、ひとつの屋根つづきの建物に、せまい部屋がならんでいる家があります。これが、長屋です。

長屋では、井戸や便所やごみためなどを人びとが共同で使用し、おたがいにたすけ合って生活していました。部屋には、押入れや台所のない家も多かったようです。家の前の路地は、単なる通路ではなく、草木をうえたり、子どもの遊び場やせんたく物のほし場としても利用されました。

*寺子屋…江戸時代、町家の子どもに、読み方・習字・そろばんなどを教えた所。

このころの町人は子どもたちの教育に熱心で、寺子屋がたくさん生まれました。寺子屋の授業は、毎日七〜八時間、休日は一年のうち五十日くらい。生徒の年れいは七、八歳〜十五、六歳くらいまで、まずしい家庭の子どももかなり通っていました。

*往来物…寺子屋用につくられた教科書。

*讃岐…香川県　*金毘羅さま…香川県仲多度郡琴平町にある金刀比羅宮のこと。

その日の昼すぎ——

よいしょ。

うわっ、くさい！

それ、どうするの？

川船で江戸のはずれにはこんで、畑のこやしにするんだよ。

ボボ

これでも、大家さんには銭や野菜をはらっているんだぞ。

ふうん。

おれたちが出したやつなのに、大家だけがもうかっているんだな！

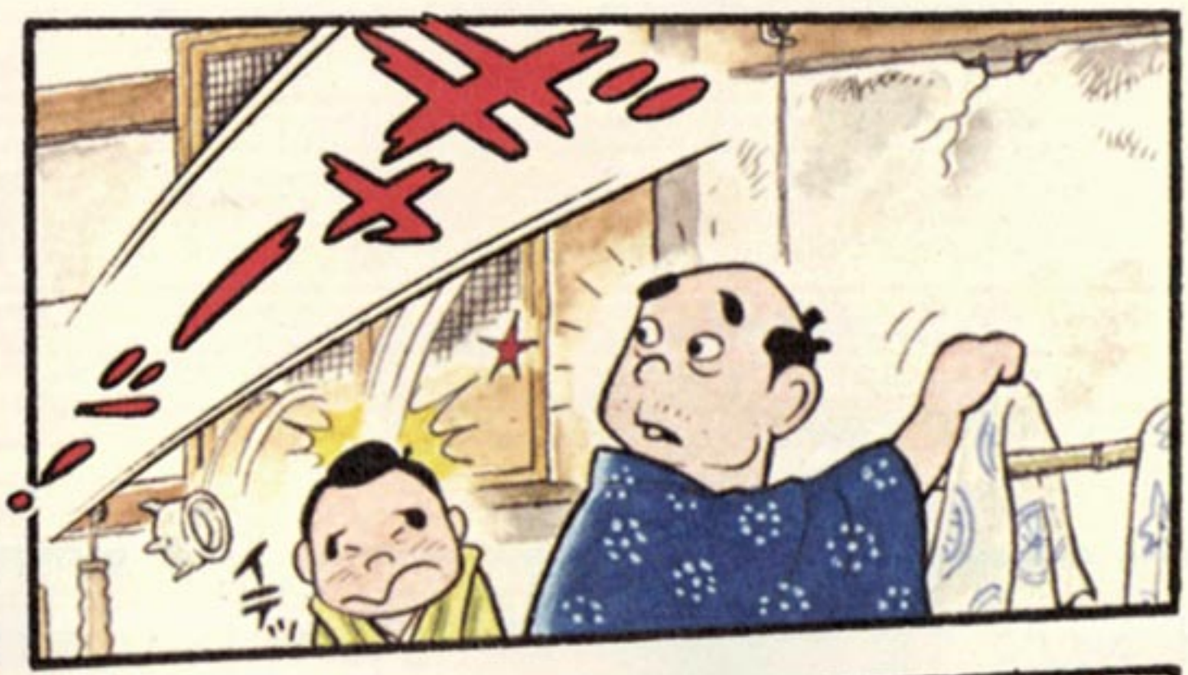
ヒェェ!!

そのかわり、年末にはみんなにもちをくばっているじゃないか!!

フフフ

カカー

おとう、お帰り。
おう、腹へったぞ！
ガラ
銭湯へ行っておいで！


イテッ

となりは、また、夫婦げんかだね。
ヒソヒソ

あんた！今日のかせぎはこれっぽっちかい!!
め、めんぼくねえ。
チャリン

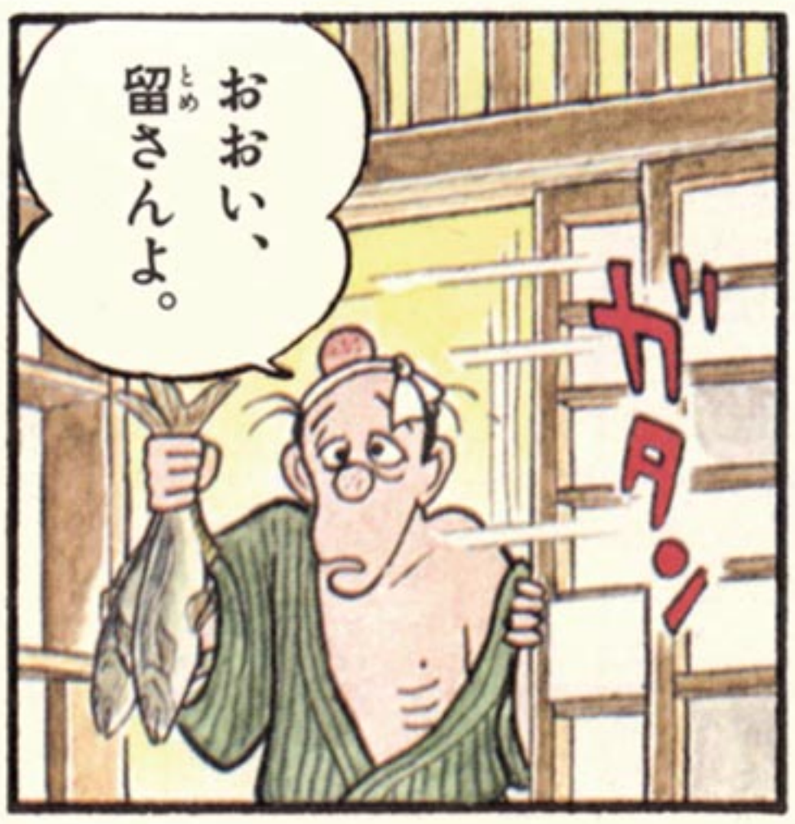
かせぎのうち、これだけは店賃にとっておく…。

これはあしたの仕入れの銭……。

さて、残りのこいつは……。
いろはへ

今日のお米は、もうないんだよ！
留さんにかりてくるか。
ドベシ

ドドン


おおい、留さんよ。
ガタン

これ、残りものだがとっといてくれ！
ドサッ

じつは……。
おっと、話は聞いたよ。
にほへ
はい、ごはん。

すまねえなあ。
なあに、こまったときはおたがいさまよ。

あがって一ぱいどうだい。

大工は賃金が良くて、うらやましいよ。
でも、雨がふったらおしめえだ。
トントン

おめえさん、江戸は長いのかい？
おれで三代目だ。
江戸っ子だい！

おめえさんは農村の出身だったな？

ああ、米も食えない農家の次男坊さ…。

でも、お江戸に来たらおいらだって米が食える。

ありがたいことよ。

お金をのこせなくても、自由に生きられるのが江戸だよ。

よいごしの銭はもたねえってね。

ちえっ、負けおしみいってらあ。

初鰹にはまだ早いが、このさしみはうまい！

初物好きも、江戸っ子のほこりなんだってね。

何だい、その初物好きって？

季節の食べ物を、人より早く口にして得意がることだよ。

初物を食えば、七十五日長生きするっていうぜ。

しかし、初鰹は一ぴき三両もする。

三両もあれば、こちとら一年は長生きできそうだ。はっはっはっ。

はっはっは、ちげえねえ！

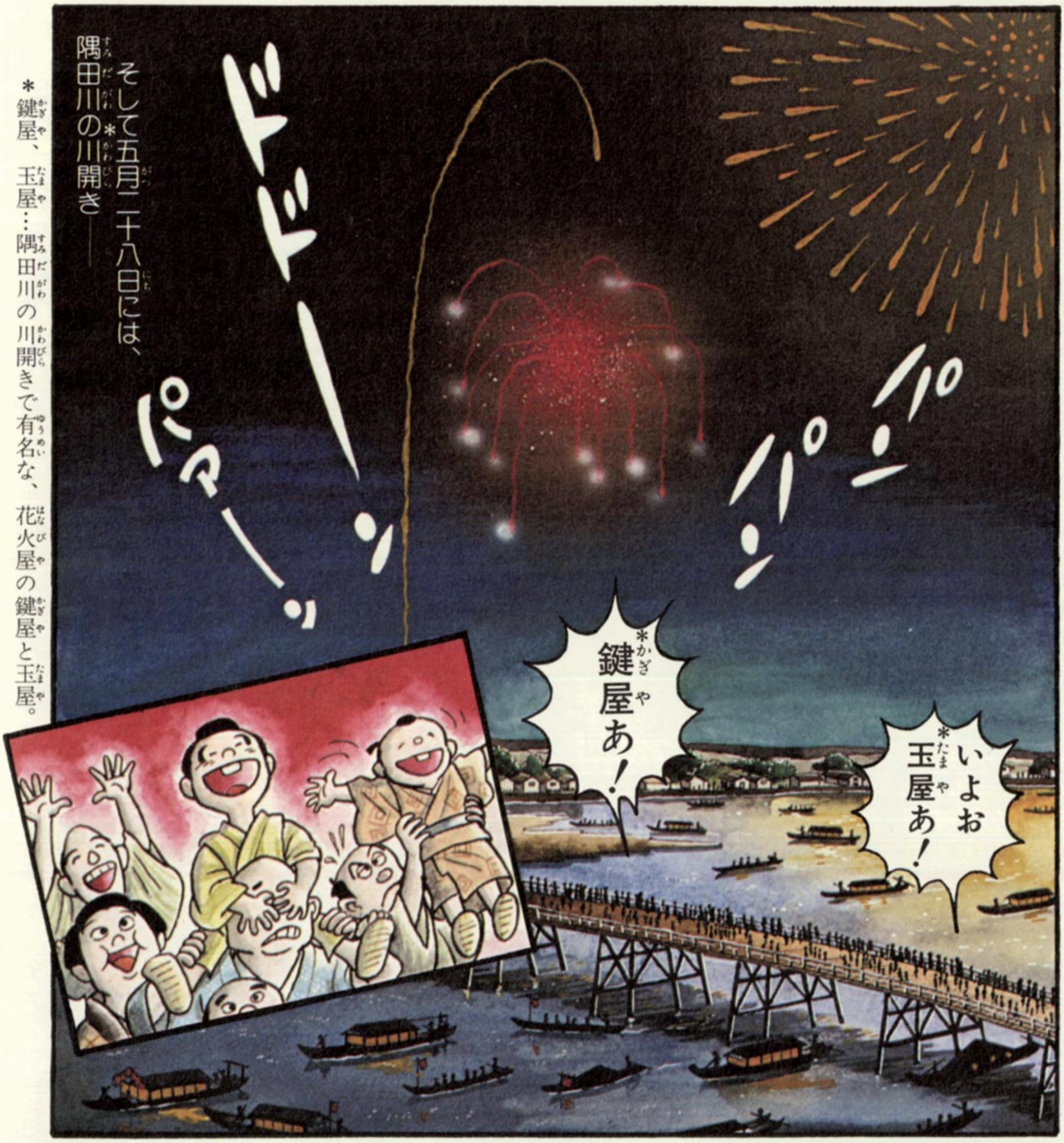
春三月、*飛鳥山

*飛鳥山…東京都北区にある山。桜の名所として名高い。

*寛永寺…東京都台東区にある寺。徳川氏代だいの墓がある。桜の名所。

*隅田川…東京都の市街地の東部をながれ、東京湾にそそぐ川。東岸の土手は桜の名所。

*品川…東京都品川区の宿場。昔、海岸は潮ひがりでにぎわった。



*川開き…川の水神をまつる行事。花火をうち上げていわった。

*鍵屋、玉屋…隅田川の川開きで有名な、花火屋の鍵屋と玉屋。

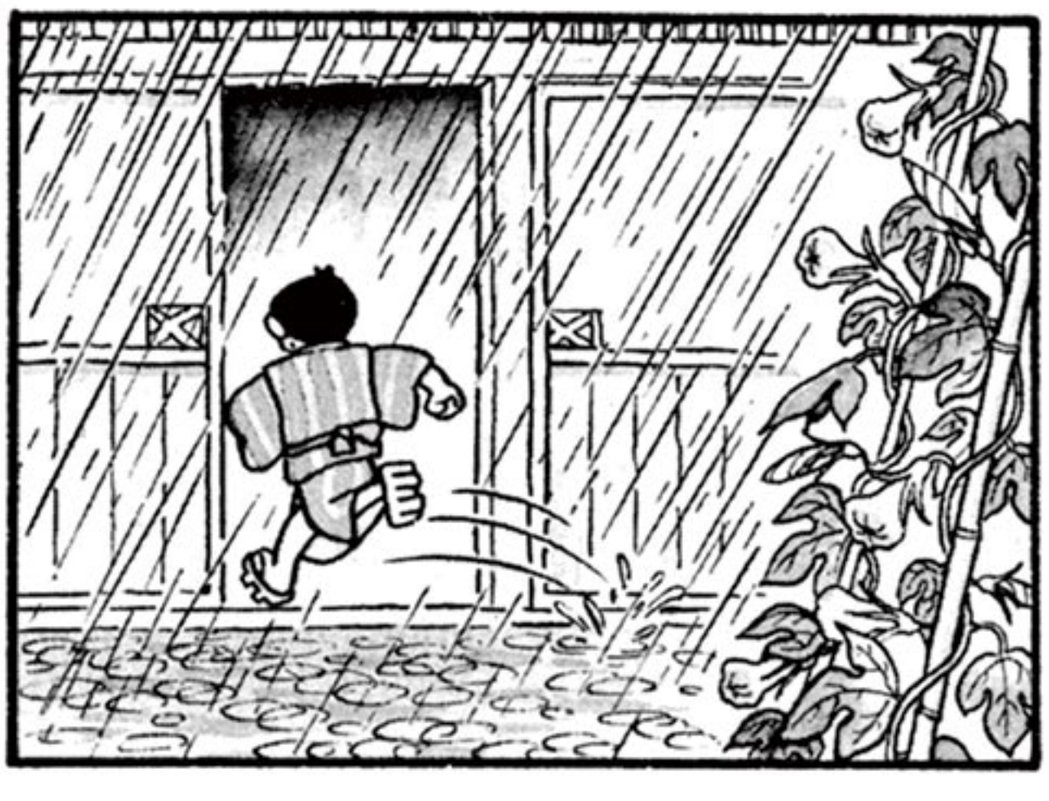
町の人びとの楽しみは、毎年きまって行われる年中行事でした。お正月にはじまり、お花見、潮ひがり、夏の川開きの花火や夕すずみ、秋には月見などもありました。

この山王祭は、山王日枝神社の祭りで、一年おきの六月十五日に盛大に行われました。

山王祭と交代で、一年おきに行われた神田祭は、江戸っ子のじまんでした。九月の祭礼には、たくさんの山車が町まちをねり歩きました。
ソロ
山車は、全部で四十五も出るんだってさ！

*浮世絵…庶民風俗や各地の風景などを題材とした風俗画。

*広重…この時代活やくした浮世絵師、安藤広重。



*貸本…料金をとってかす書物や雑誌。

*小田原の宿――

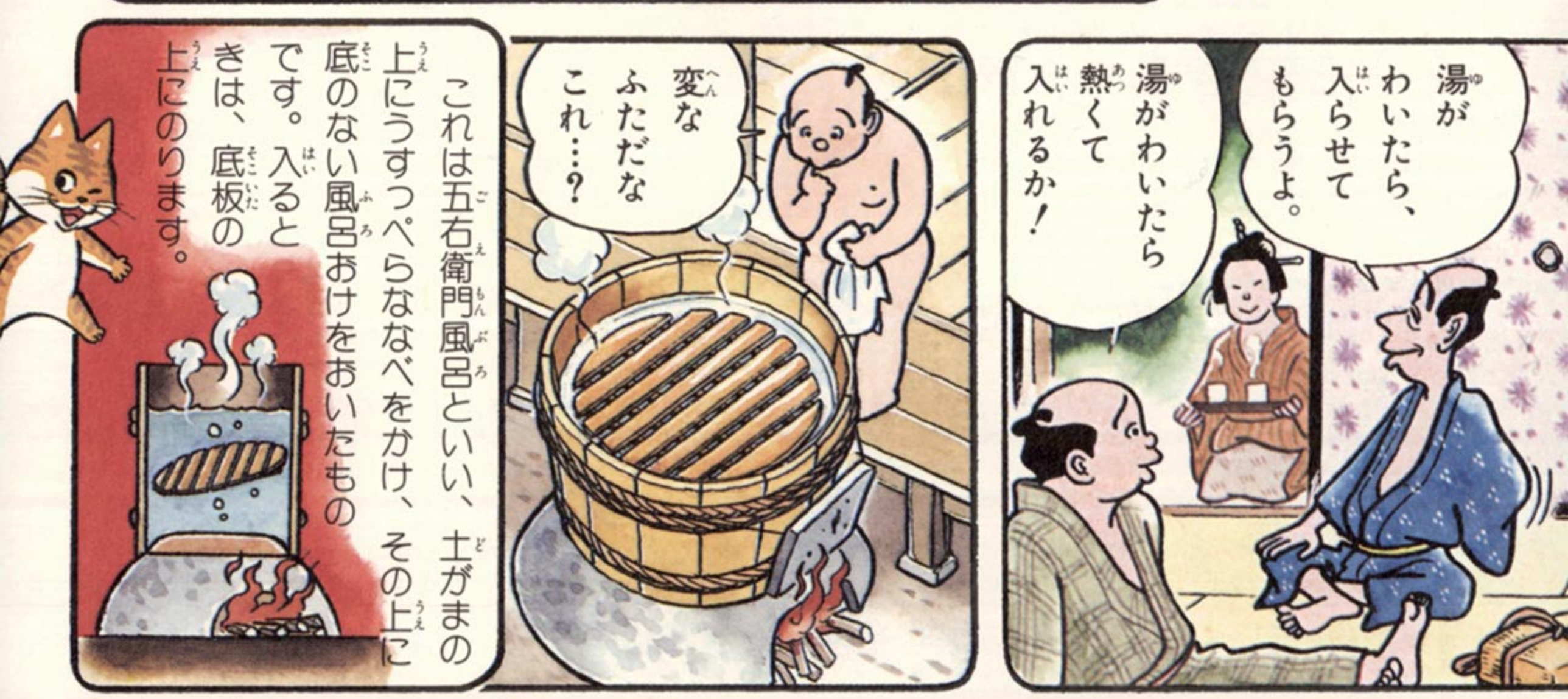
いらっしゃい。

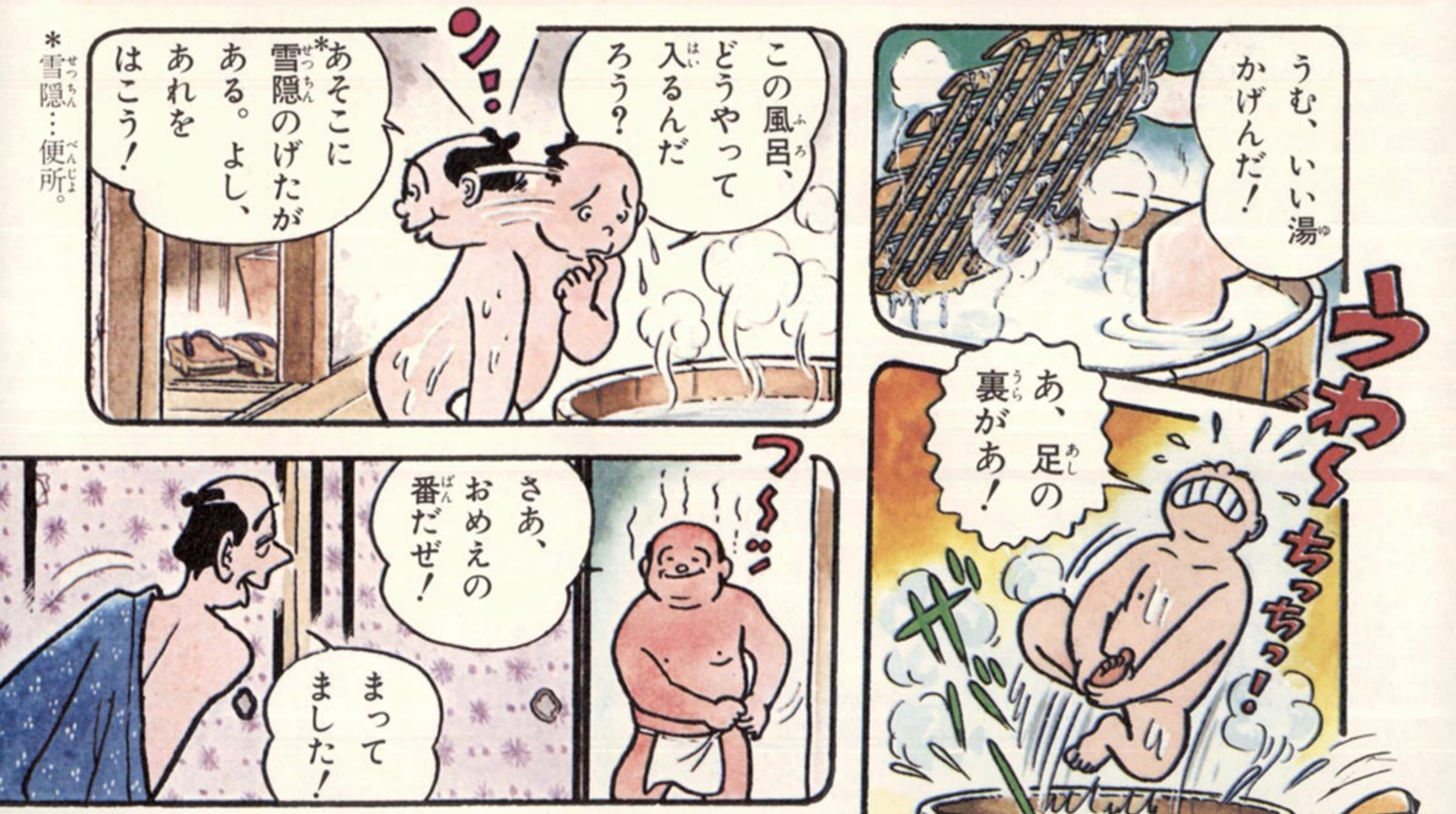
おい、めしをたいているようだぞ。

クニ クニ

ばか。めしをたいたらかゆにならあ。米をたくといえよ！

*小田原…神奈川県小田原市





うわ〜〜っちっち…!!

弥次さん、あの風呂どうやって入った？

足から順に、きまってらあ。

じゃあ、ごゆっくり。

見つけたぞ。弥次のやつ、これをつかったんだな。

……と、こうして入るんだな。

ああ、いい心もちだ。

だんだん、湯が熱くなってきたぞ。

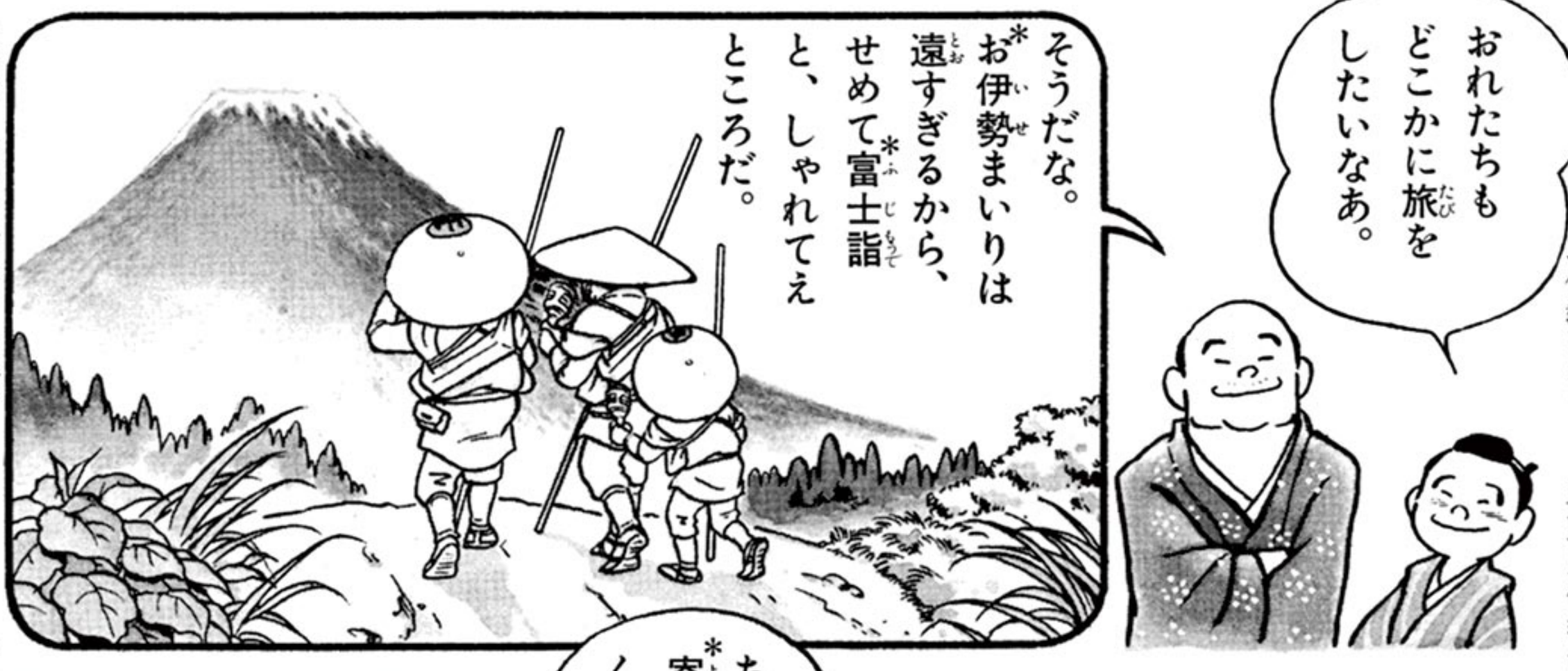
うわあ!!

熱い。熱い。

うわ〜っ

たいへんだ、底がぬけたあ！

ジュジュジュ

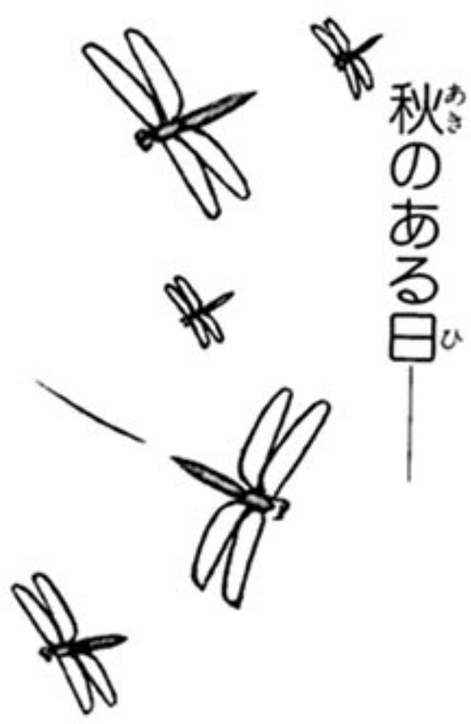


*富士詣…六月一日から二十一日までに富士山にのぼり、山頂の富士権現社に参拝すること。

*お伊勢まいり…三重県伊勢市にある伊勢神宮に参拝すること。

*寄席…落語・講談などを聞かせる所。

秋に入ると、二十六夜待ち（七月二十六日）や十五夜（八月十五日）など、月見が行われました。



*回向院…東京都墨田区両国にある寺。

あの人は、おれたちの長屋の地主さんだよ。

大家さんはあの人にやとわれて、長屋のめんどうをみてるんだ。

地主さんは、江戸でも有名な呉服屋さんなんだよ。

ワイワイ

ゾロゾロ

ガヤガヤ

*両国橋をわたると、回向院だよ。

さあ、入って、入って。ご霊宝をおがんでおくれ。

どこのお寺か知らないが、もうけてるなあ…。

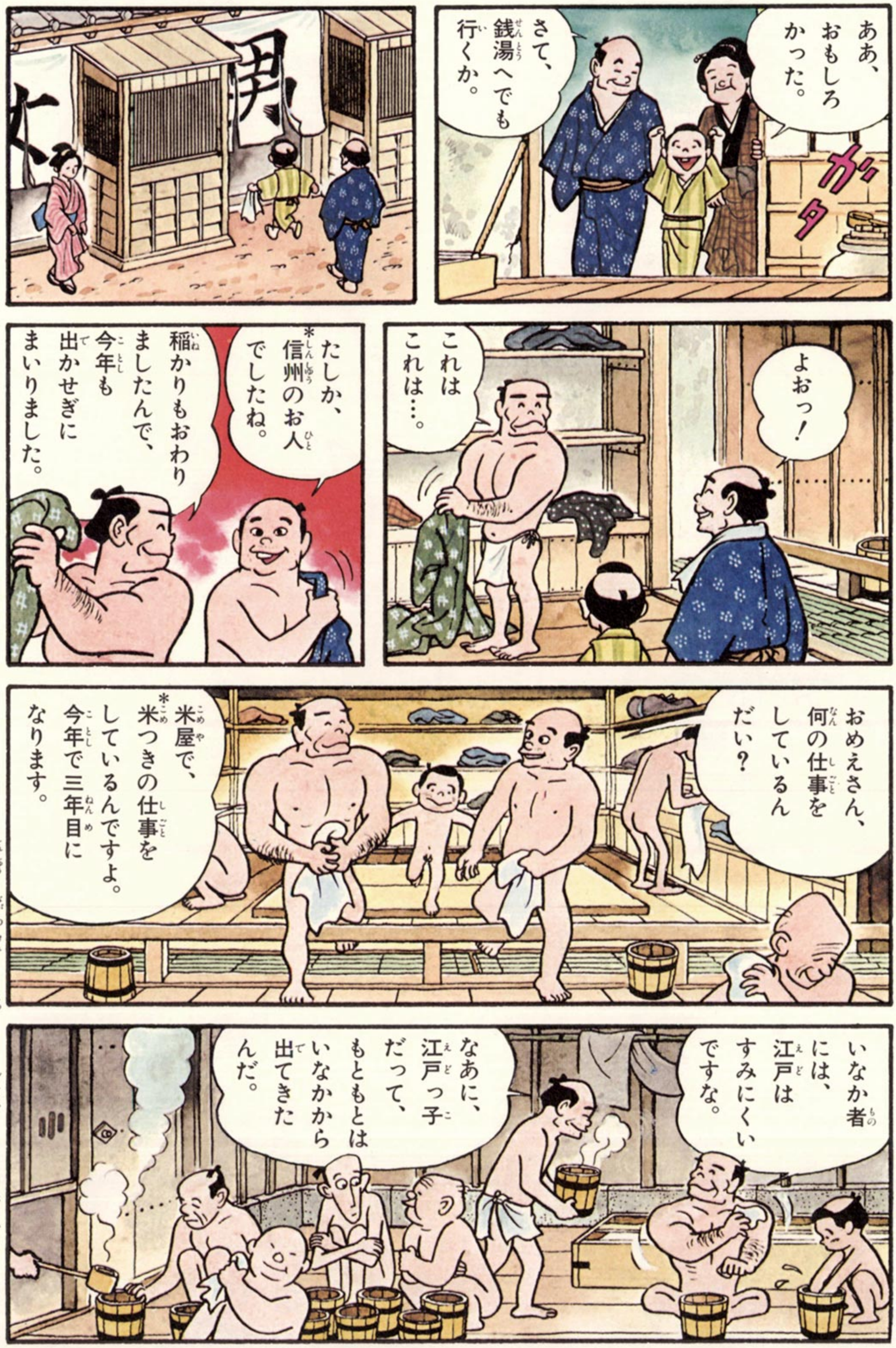
さあ、おさい銭をなげておいで！

ワイワイ

ガヤガヤ

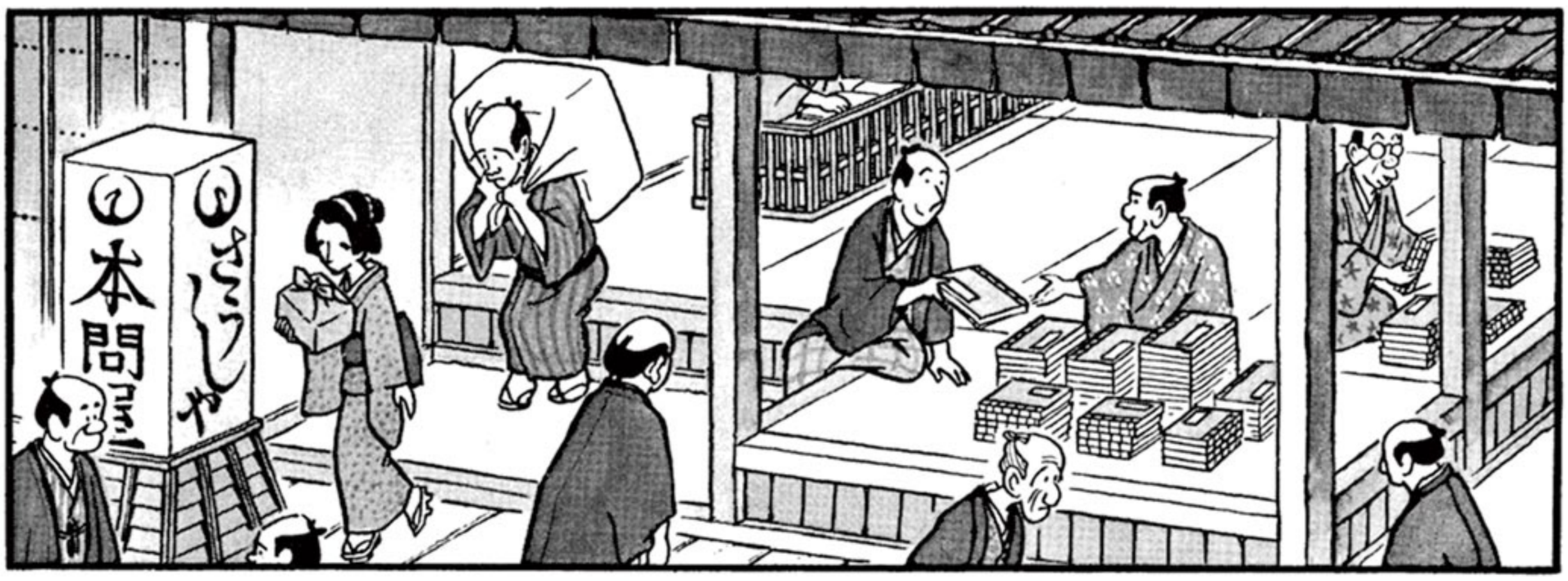
奉納所

*両国橋…隅田川にかかる橋。明暦の大火の後にかけられた。第十三巻第一章参照。

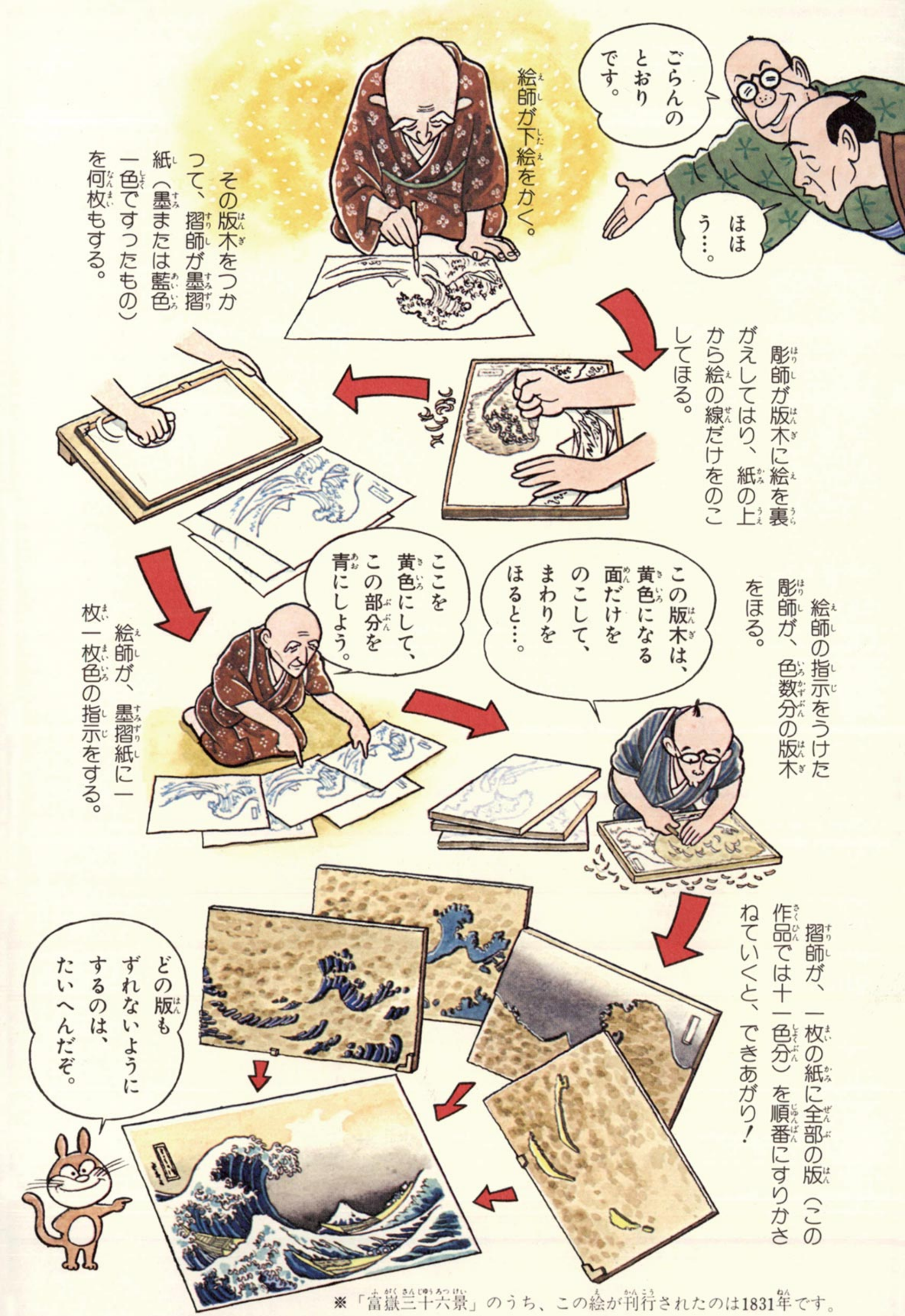


＊信州…長野県　＊米つき…玄米をついて白米にすること。

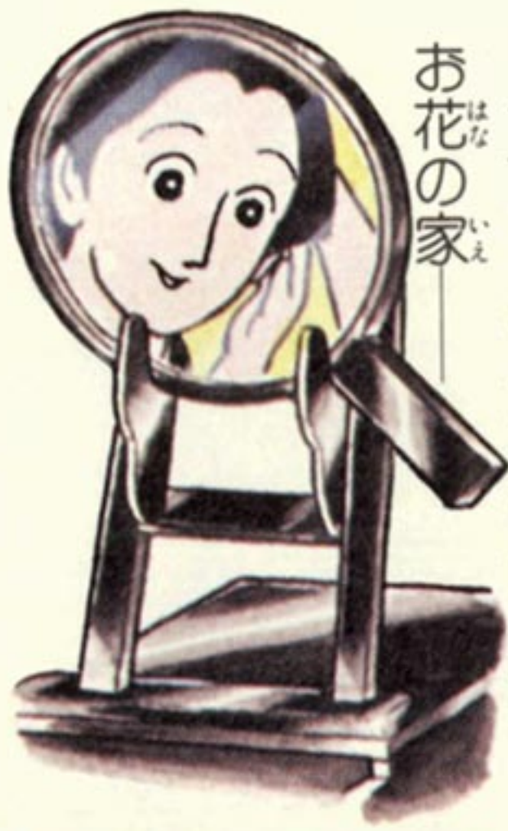
江戸の銭湯の男湯の二階は、茶や菓子などが売られ、人びとの社交場となっていました。



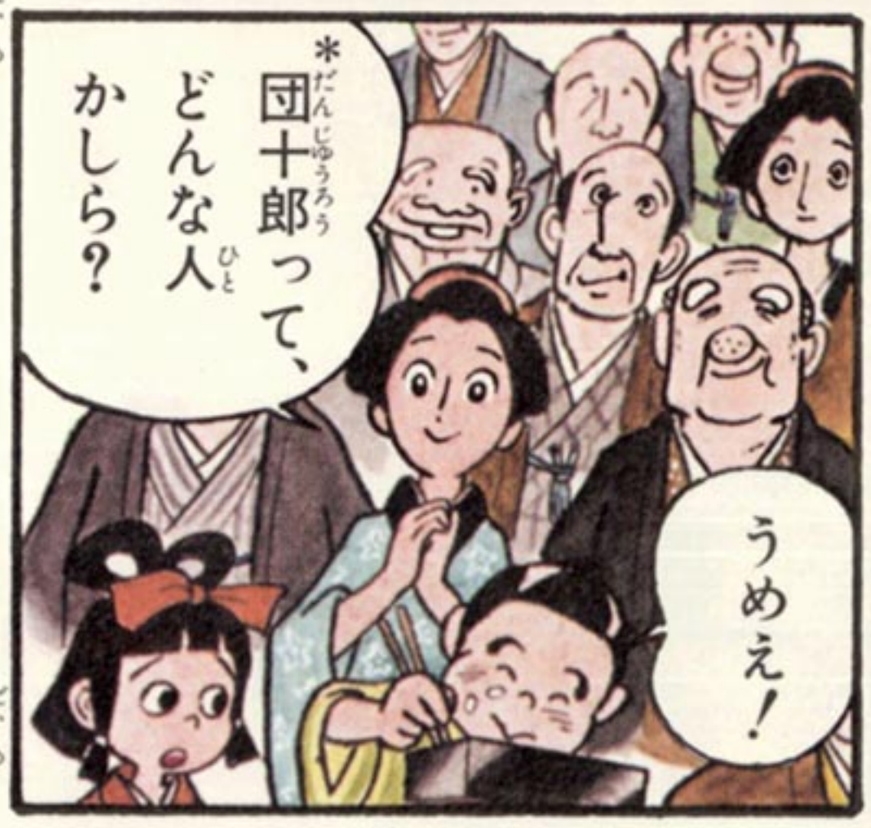
*馬琴…このころ活やくした小説家、滝沢馬琴。「南総里見八犬伝」は代表作。



※「富嶽三十六景」のうち、この絵が刊行されたのは1831年です。



お花の家――



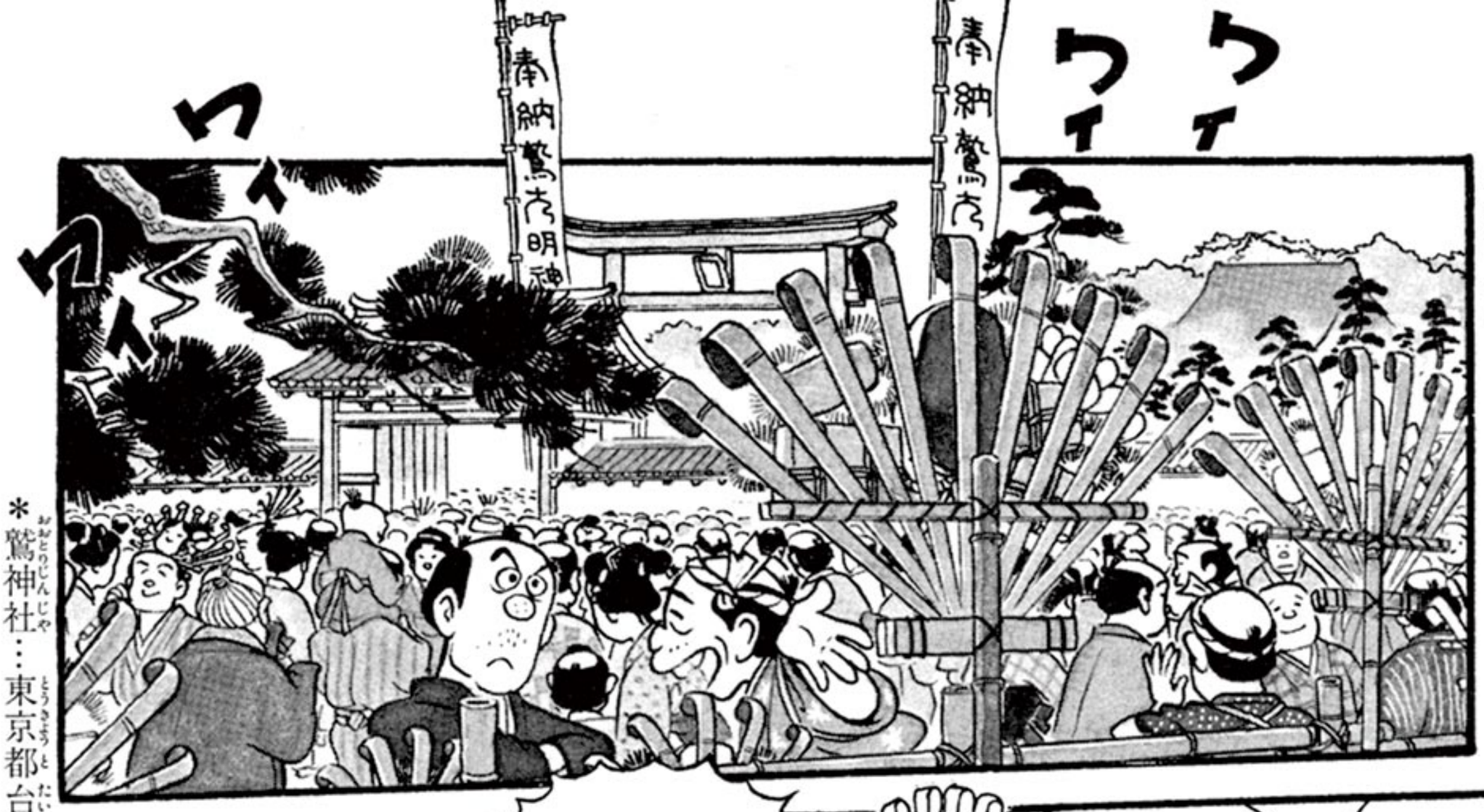
*中村座…一六二四年から一八九三年までつづいた江戸の歌舞伎劇場。

*南北…歌舞伎の台本作者である四代目鶴屋南北。代表作は「東海道四谷怪談」。

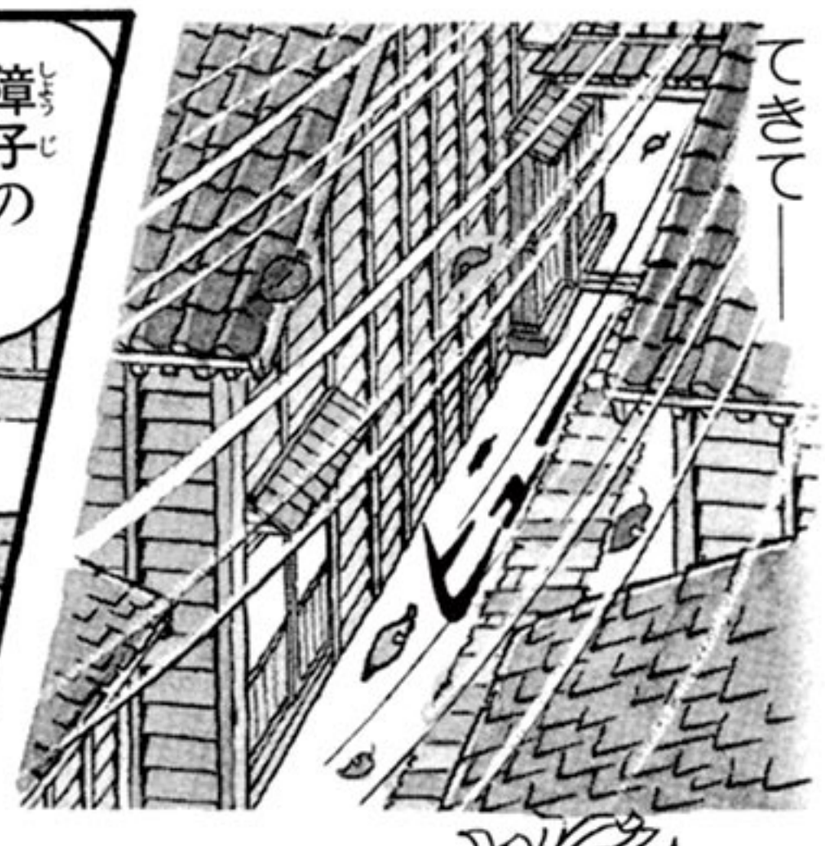
*団十郎…江戸歌舞伎の名優、市川団十郎のこと。十一代目まであるうち、ここでは七代目。

団十郎、うめえ！
日本一！
団十郎、すてき！

十一月の酉の日は、下谷の*鷲神社の大祭で、「酉の市」とよばれました。



*鷲神社…東京都台東区にある神社。*師走…十二月。



やがて、年の暮れもせまってきて——

*酉の日…江戸時代は、日にちを十二支でもあらわした。その酉の日。

そして十二月二十六日——

長屋のみんなでもちつきだよ。

おいしそう…。

そしていよいよ、大みそか――

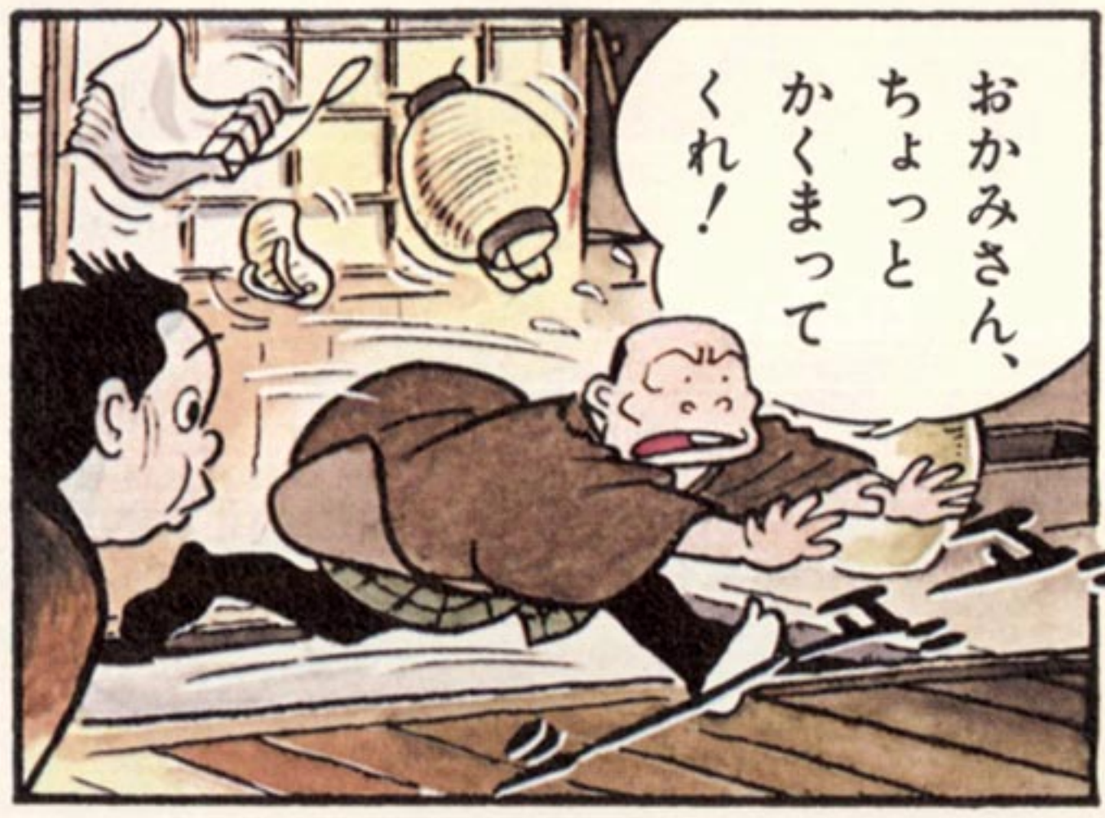
あんたどうするの？店賃をはじめ、借金がずいぶんあるんだよ！

*掛け売りの集金に、行ってくらあ。

大家さんが来たら、どうしよう。

ふとんしいて、仮病をつかうんだ。

*掛け売り…あとで代金をもらう約束で売ること。



*掛け取り…掛け売りの代金をとりたてること。

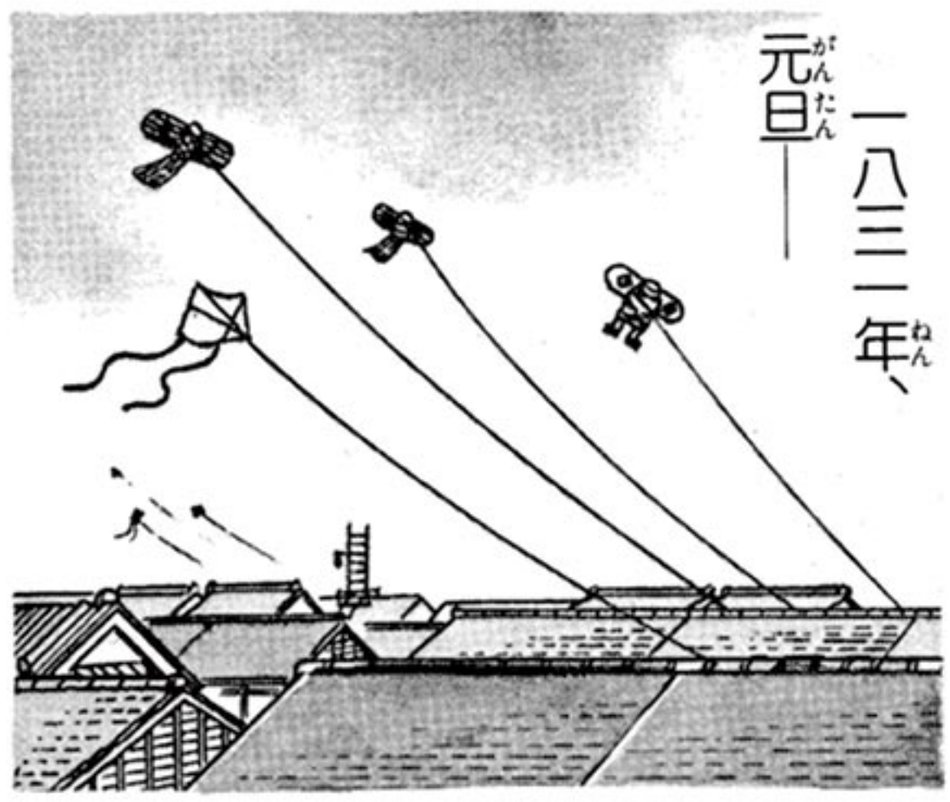
八百屋さんも、米屋さんに追われていたのね。
プッ
?

あんた、ここにいたのか！
ゴゴゴ

あら、除夜の鐘！
ゴーン

ちえっ、こっちの負けだよ。

ひゃあ、たすかったあ!!
ゴゴゴ


一八三一年、元旦——

いい正月だ！
今日一日はのんびりしたいね。

お花ちゃん、おめでとう！
ソナ

おれな…、もうすぐお花ちゃんとあそべなくなるよ。
あら、どうして？

このように、文化・文政時代には、江戸の町まちで、町人たちが、年中行事などを行って楽しむような、自分たち自身の文化をつくりあげました。これも、町に何代にもわたってすみついた人びとの、江戸っ子意識と強くむすびついていたのです。

ピーヒャラ
ドンドンドンドン
ハロコハロコ
きゃっ。

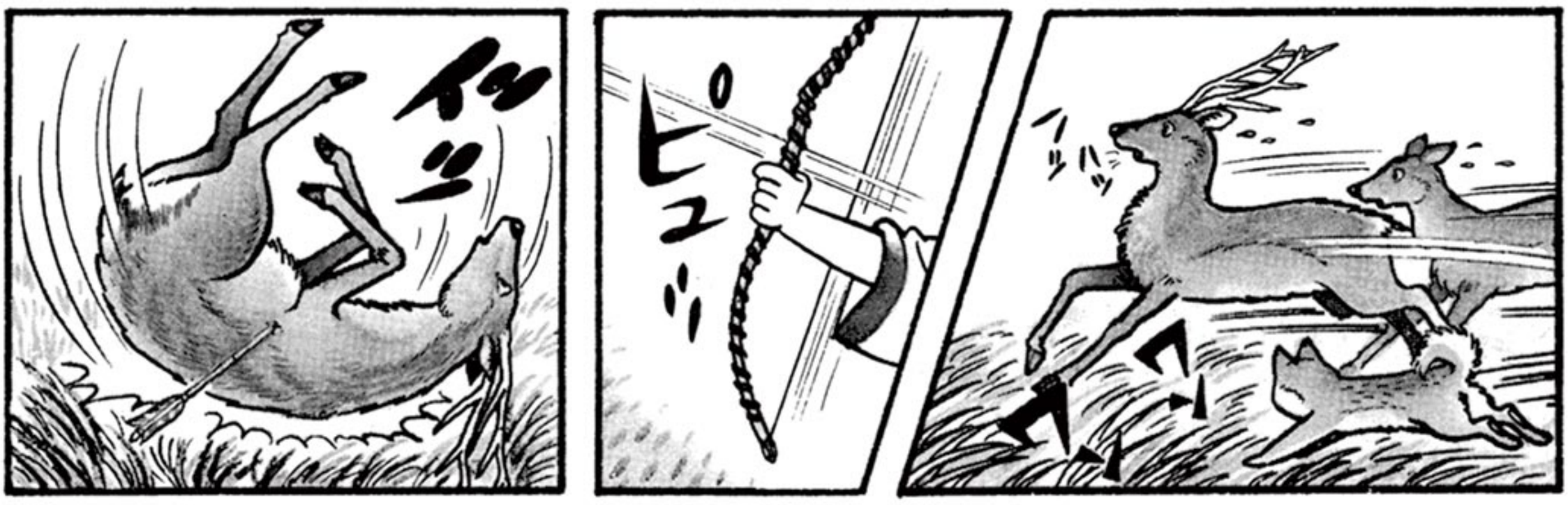
小学館 eBooks

第二章

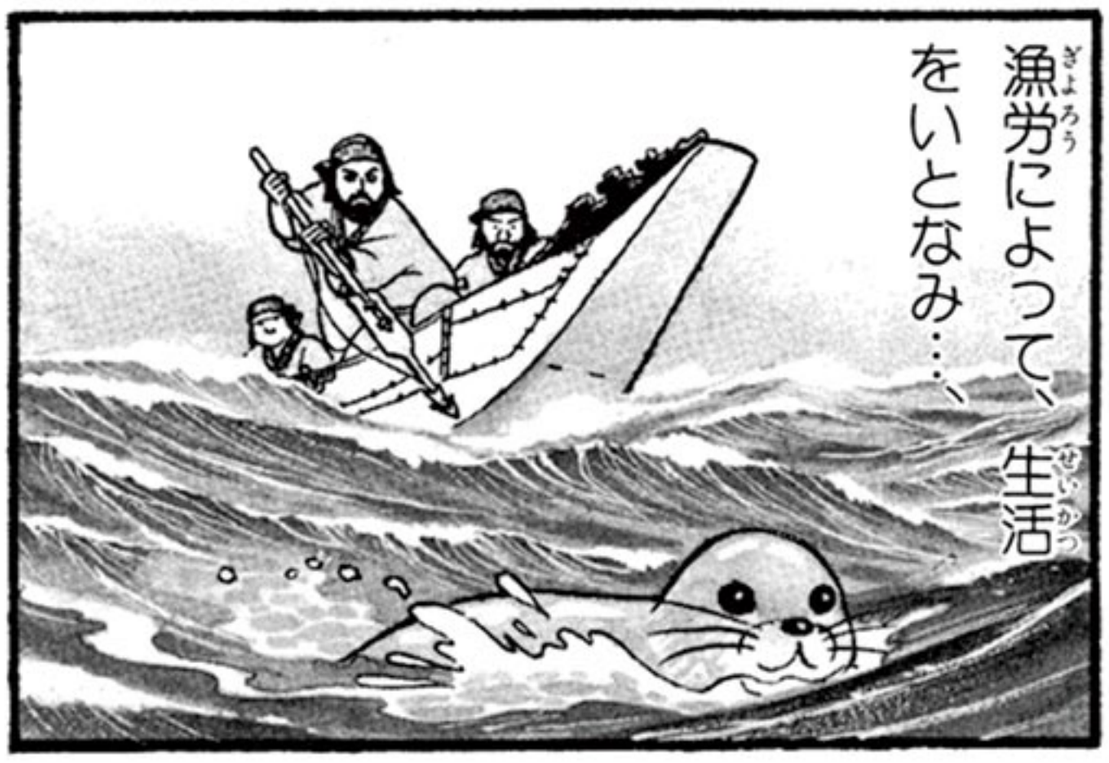
北方の探検

——江戸時代後期——

そのころ
自然は、
かぎりなく
ゆたかで——



人びとは、おもに狩猟や…

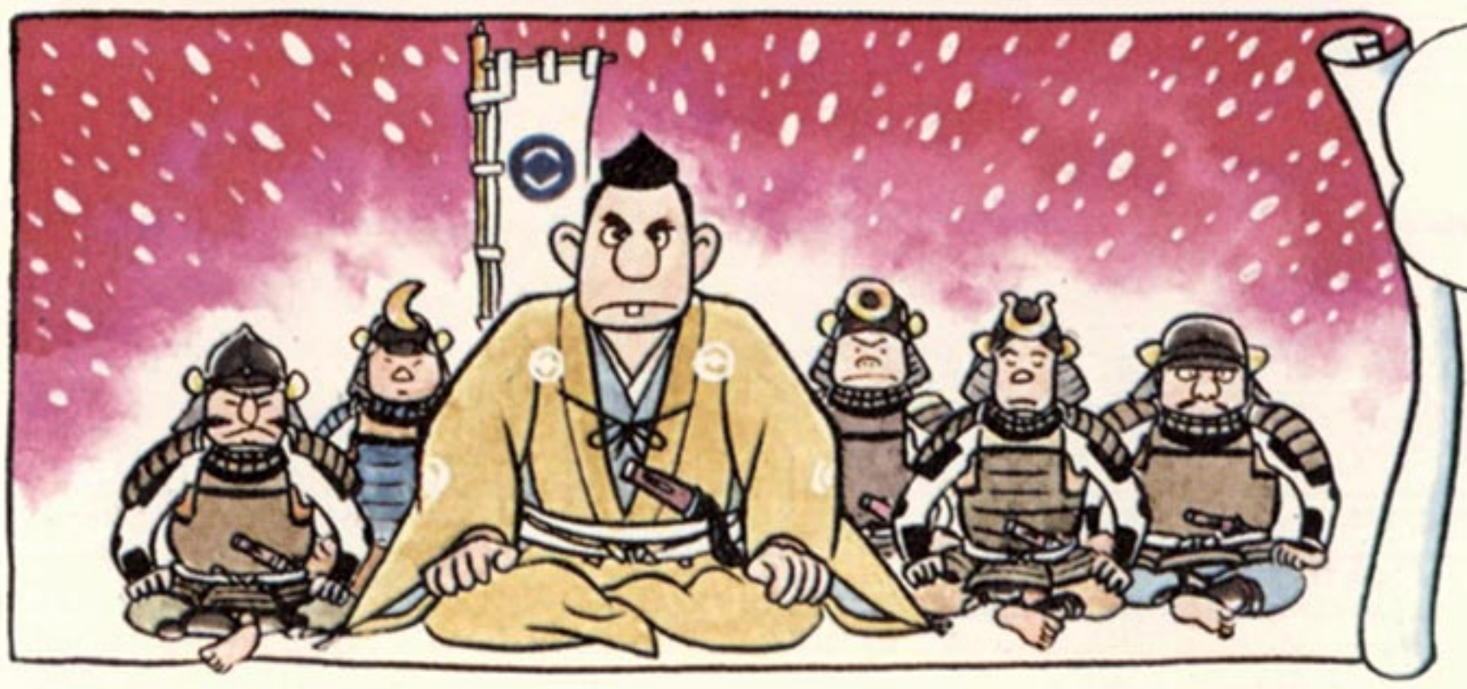


漁労によって、生活をいとなみ…

*ユーカラ…口伝えに語りつがれたアイヌの文学(叙事詩)。

こうした平和なアイヌの地、北海道に、日本人がすみつくようになったのは、十三世紀に入ってからでした。

十五世紀には、日本人の豪族たちが、アイヌ支配を強めていきました。



アイヌたちの漁場や猟場もあらされました。

*松前…北海道松前郡松前町

一六六九年、アイヌは、*シャクシャインを指導者として、松前氏とたたかいました。

*アイヌモシリを、*シャモからうばいかえすのだっ!!

シャクシャイン

くそっ、シャクシャインめ!!

なんとかしなければ……。

ひとまずアイヌと講和し、シャクシャインを宴会にさそい出すのだ…。

なるほど、宴会に来たところをだましうちに…。

ズシ〜ン!

こうしてシャクシャインはうちとられ、アイヌ軍は敗北しました。

*シャクシャイン…北海道日高地方にすんでいたアイヌの指導者。

*アイヌモシリ…アイヌ語で、人間の土地という意味。

*シャモ…アイヌ語で、となりの人たちという意味。ここでは日本人をさす。

十八世紀なかばになると、松前では、「場所請負制度」をもうけ、「場所」の経営を商人にまかせ、商人から運上金(税)をとることにしました。

一方、北海道にたいする幕府の政策は、どうだったのだろう。

年代を追って見てみよう。

十八世紀のおわりごろから、ロシア人が通商をもとめて、北海道に来航するようになりました。

一七八三年、工藤兵助の「赤蝦夷風説考」という本が世に出ました。

わたしの考えを実行すべきだ。

工藤兵助

なるほど、もっともな考えだ。

田沼意次

このとき、幕府の老中田沼意次は、工藤兵助が考えた蝦夷地の開発や、ロシアとの貿易を計画し、一七八五年、蝦夷地の調査に最上徳内らを派遣しましたが、田沼の失脚により、中止されました。

ガックリ

一七九一年、林子平の「海国兵談」の出版が完了しました。

海防をすすめ、日本をまもろう！

林子平

正しい意見だが、処分する。

翌年、幕府はこの本を発禁処分にしました。

一七九二年、ロシアの使節ラックスマンが、根室をへて、松前にやってきました。

この事件のあと、幕府は北方防備に気をくばるようになります。

＊老中…江戸幕府の職名。将軍に直属して政務を行い、諸大名をとりしまった。＊根室…北海道根室市

＊蝦夷地…北海道のこと。当時の日本人は、北海道を蝦夷とよんだ。

そこで幕府は、北海道の調査を積極的にはじめるんですね。

うむ。一七九八年には、最上徳内や近藤重蔵らをおくりこんだ。

ミチミチ

あれが択捉島です。

上陸した記念に、この標柱を立てておこう。

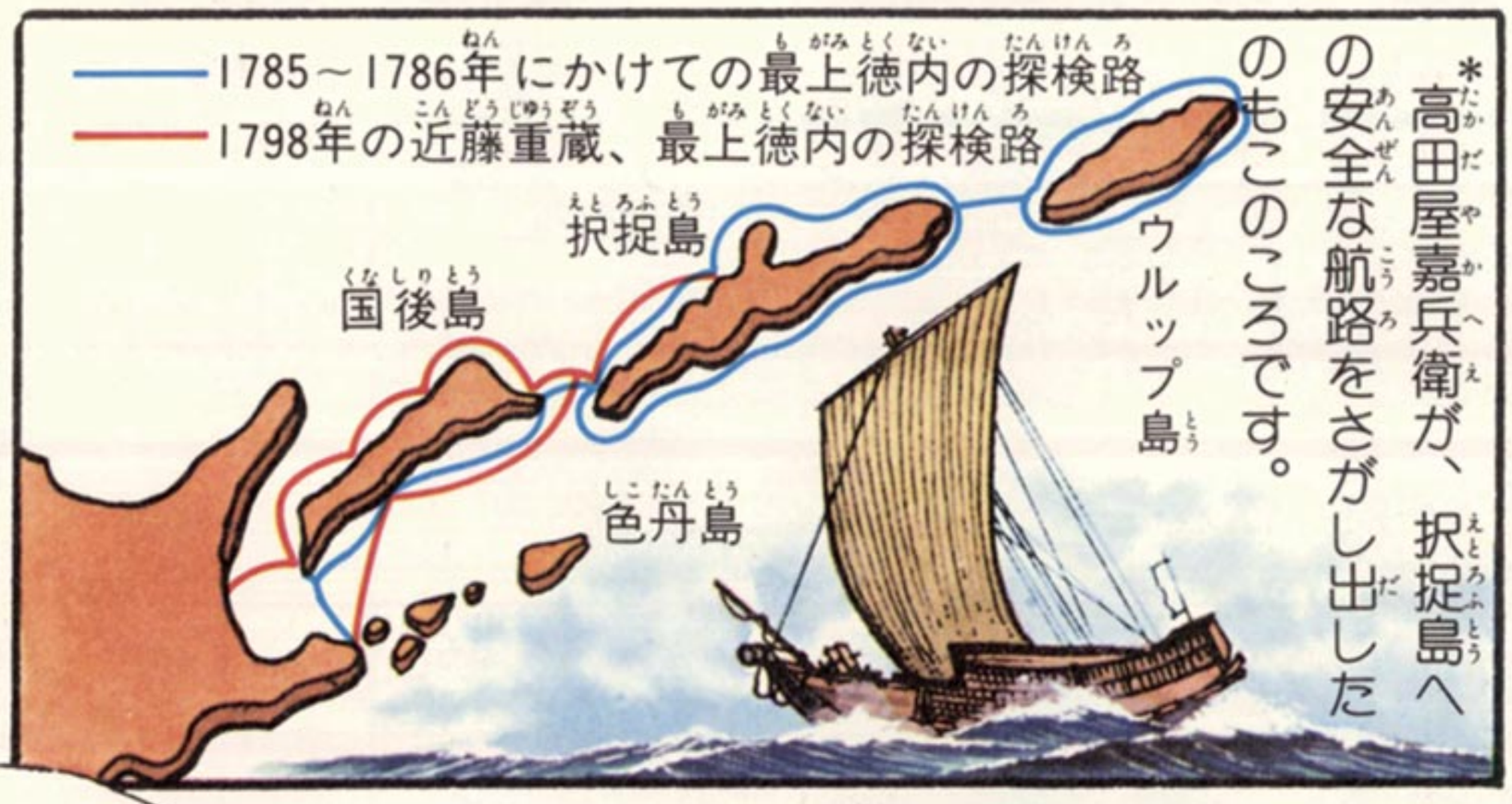
最上徳内

近藤重蔵

ビュウウウウウウ

ザザ

ザザ



*高田屋嘉兵衛が、択捉島への安全な航路をさがし出したのもこのころです。

一七九九年、幕府は「東蝦夷地」を直轄地とし、場所請負制度を廃止しました。そして、「直さばき制」といって、幕府とアイヌとの直接の交易が行われるようになりました。

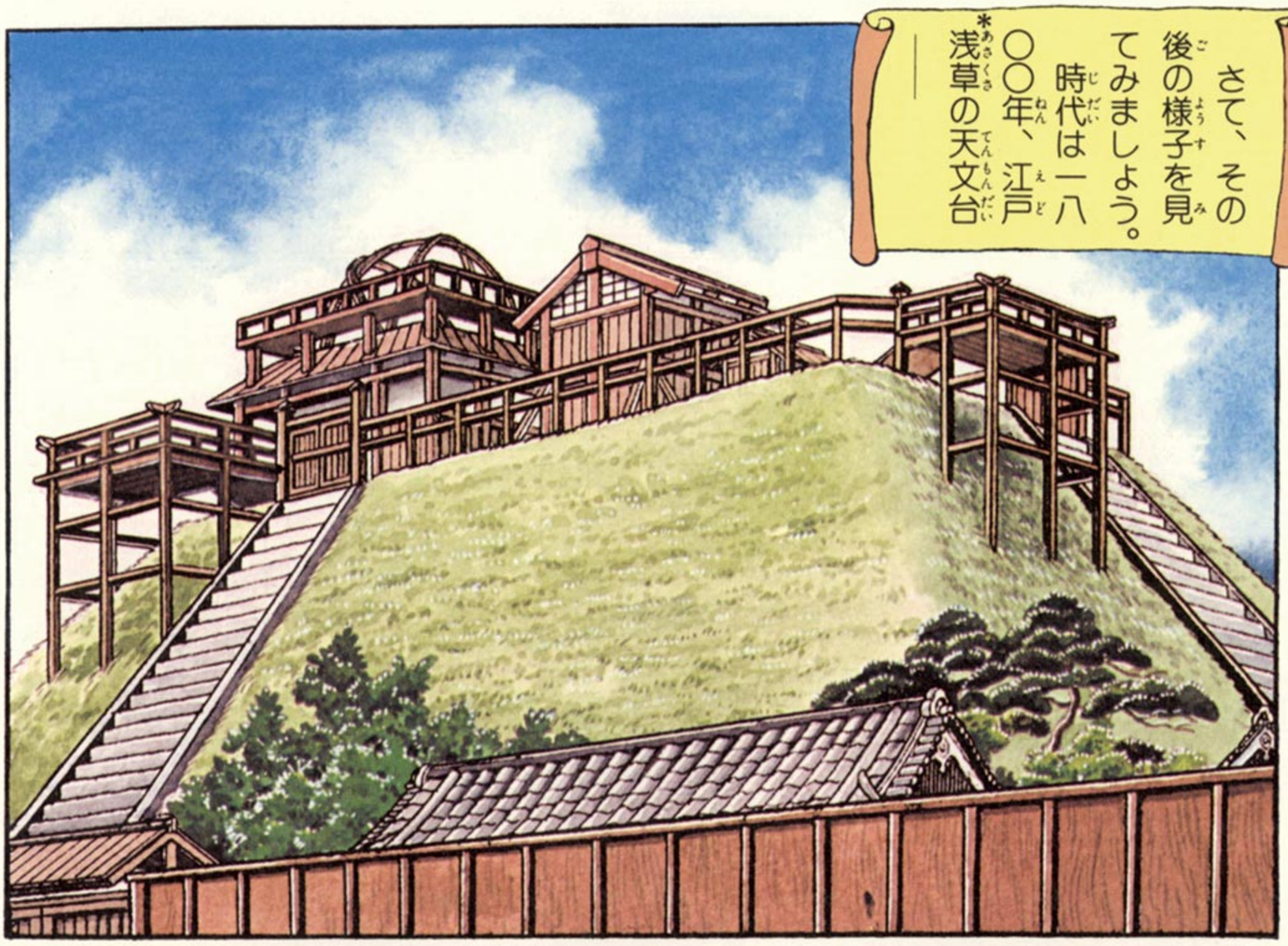
アイヌにたいするあつかいを、ゆるやかにしよう。

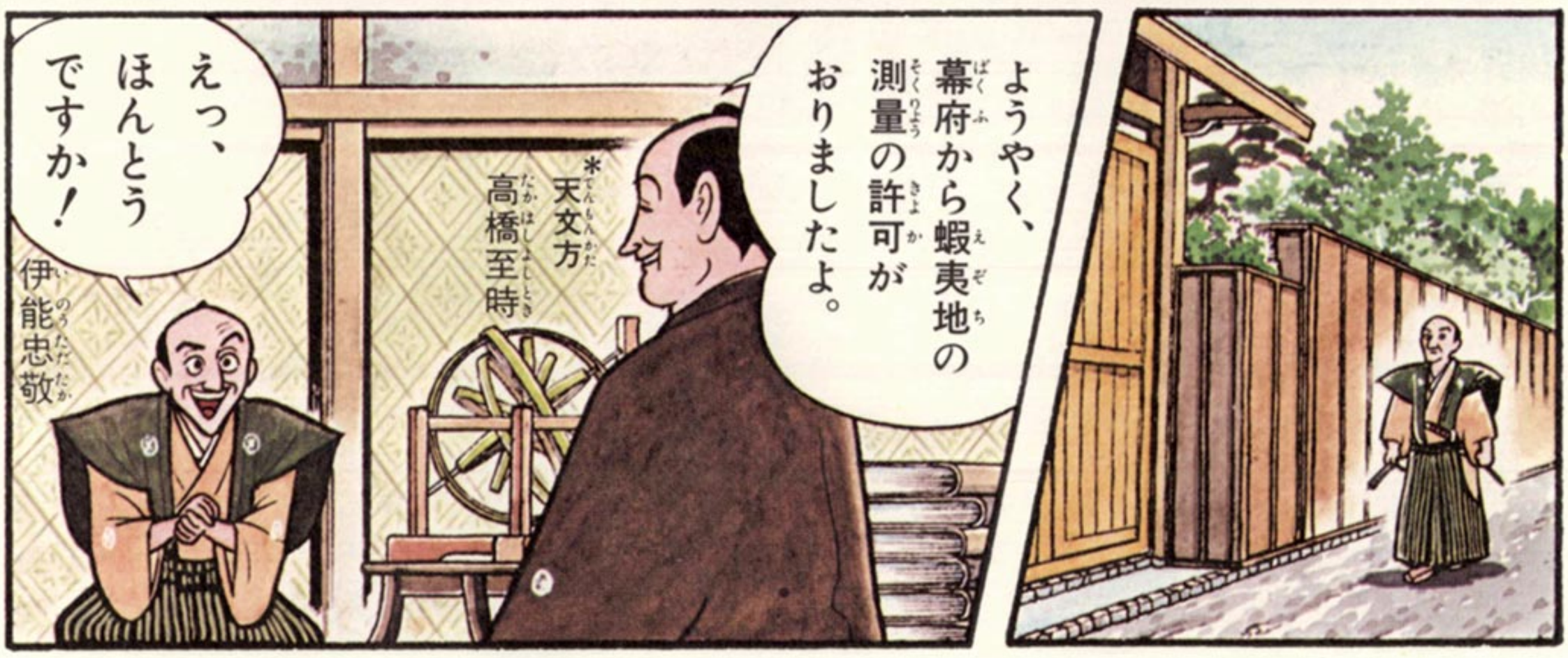
そして、かれらを北辺の防備に利用しよう。

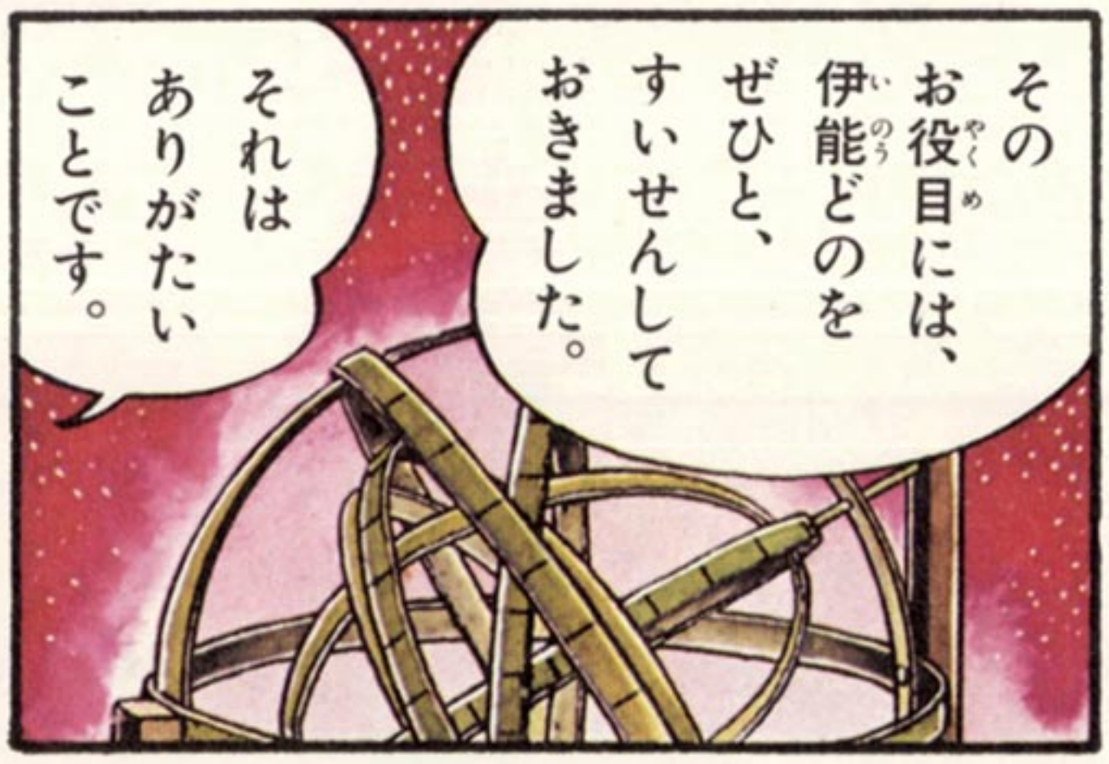
日本人は、アイヌにたいしてひどいことをしてきたんですね。

そのとおり。

*高田屋嘉兵衛…蝦夷地との交易に活やくした廻船業者。

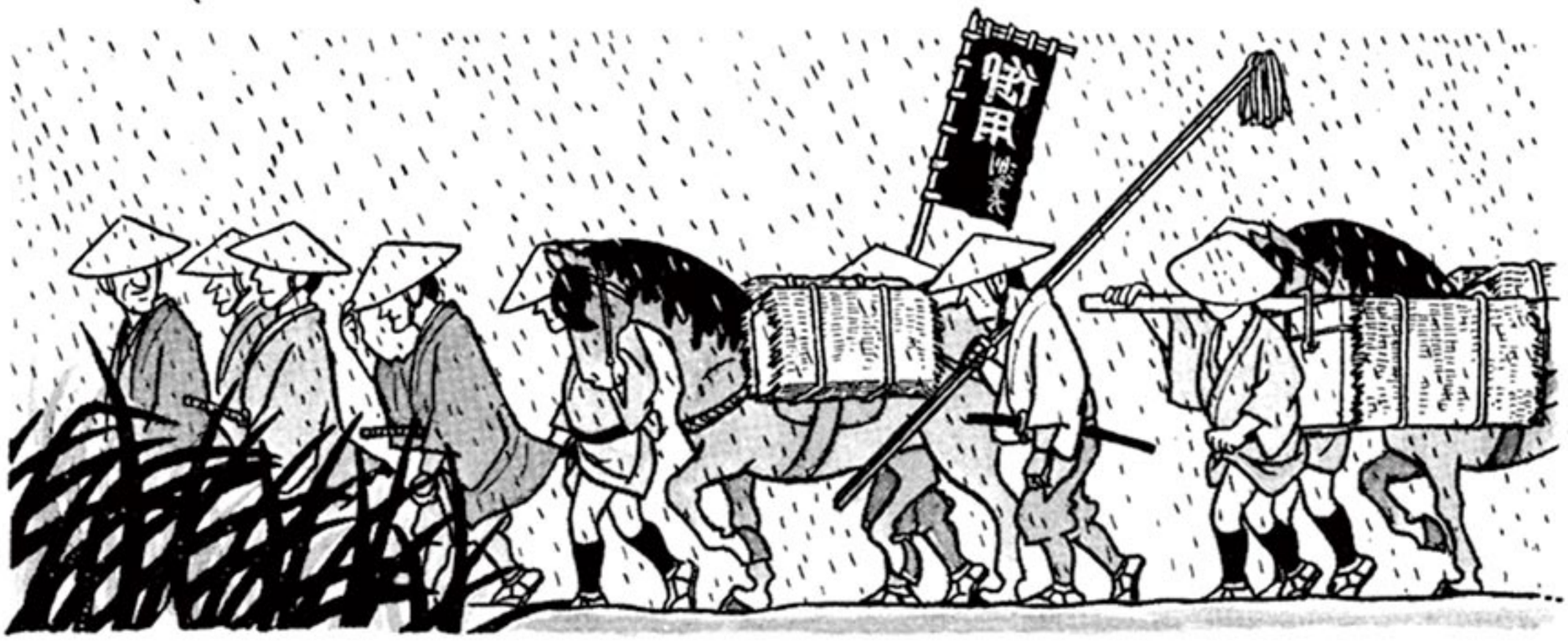




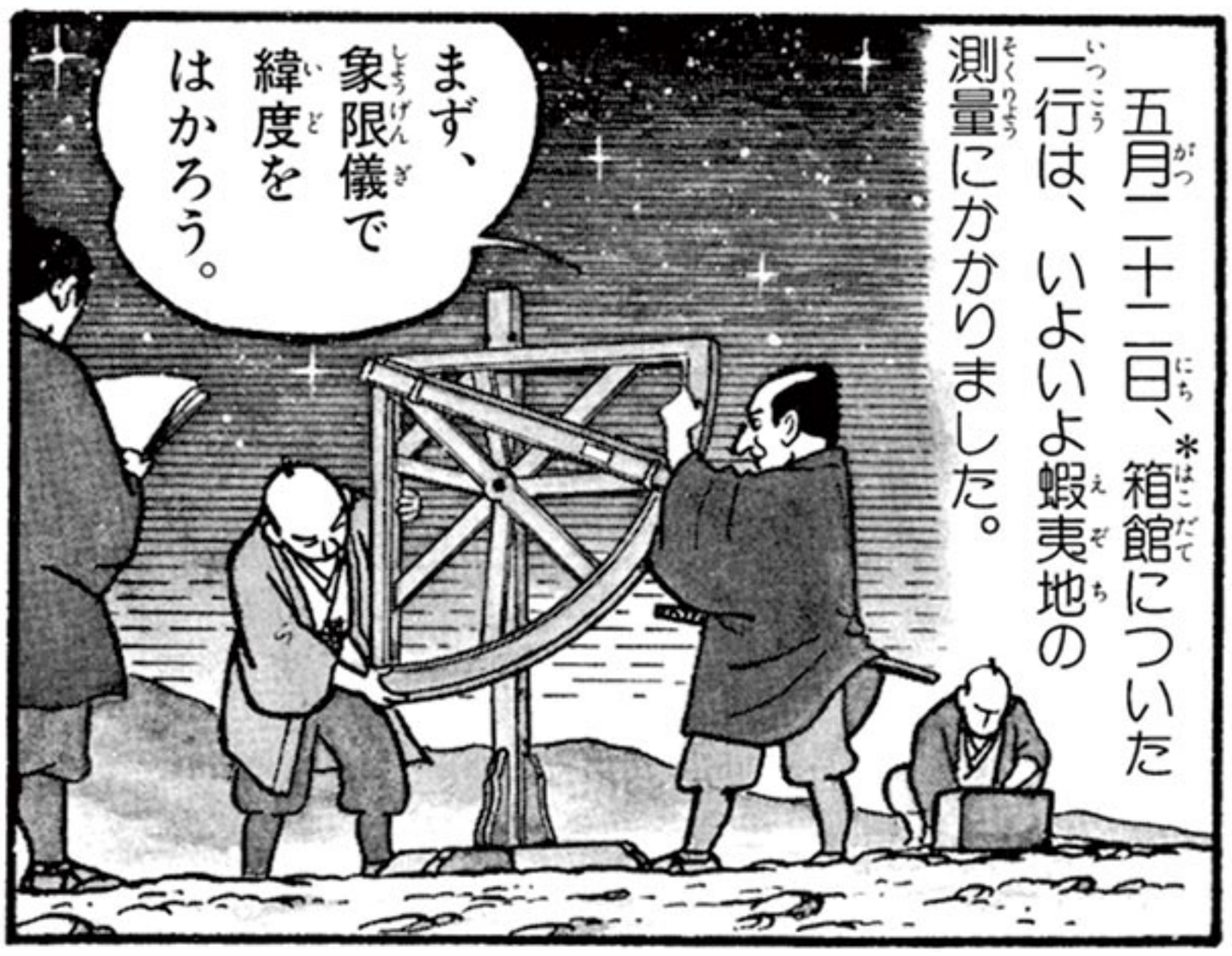


*浅草…東京都台東区の一部　*天文方…江戸幕府職名。天体の観測や暦の作成などに関する仕事を行った。

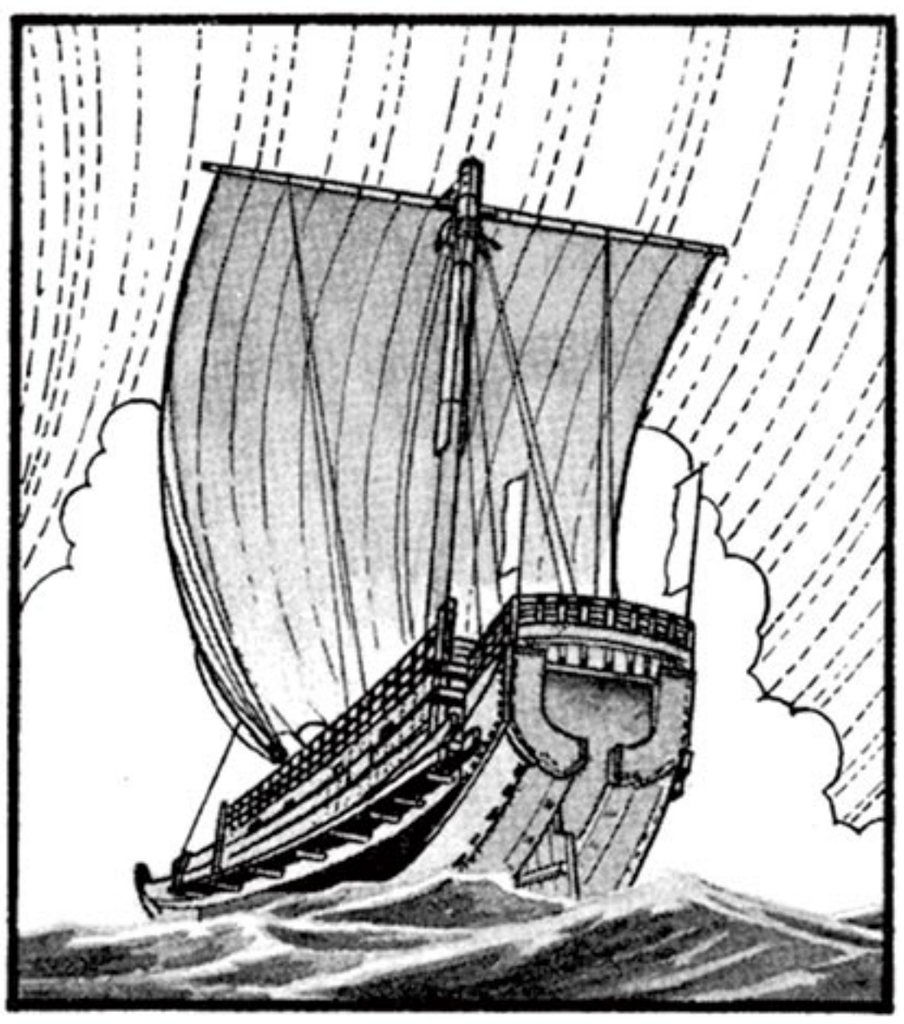
伊能忠敬は、*下総国佐原の豪商の出身でした。五十歳のとき隠居をし、その翌年江戸に出て、*すきだった暦学の研究にうちこんでいたのです。

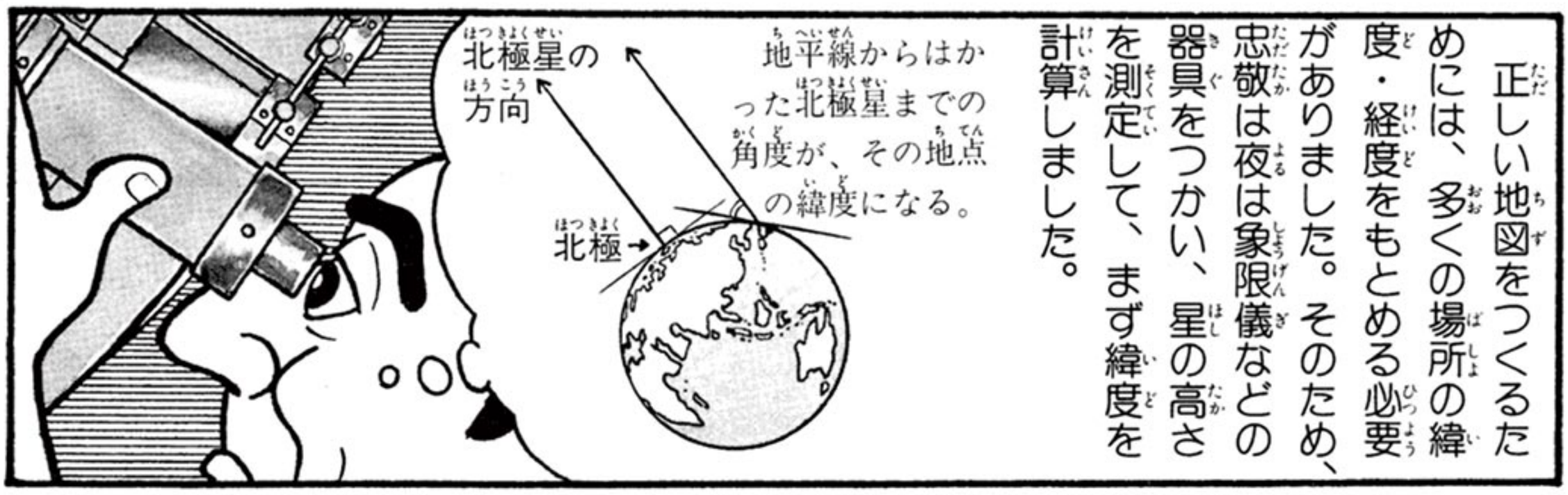


忠敬が、*奥州道中をへて蝦夷地へと旅立ったのは、この年四月十六日のことでした。



五月二十二日、*箱館についた一行は、いよいよ蝦夷地の測量にかかりました。





正しい地図をつくるためには、多くの場所の緯度・経度をもとめる必要がありました。そのため、忠敬は夜は象限儀などの器具をつかい、星の高さを測定して、まず緯度を計算しました。

*下総国佐原…現在の千葉県香取市

*暦学…天体の運行や暦に関する学問。

*箱館…北海道函館市。古くは箱館と書いた。

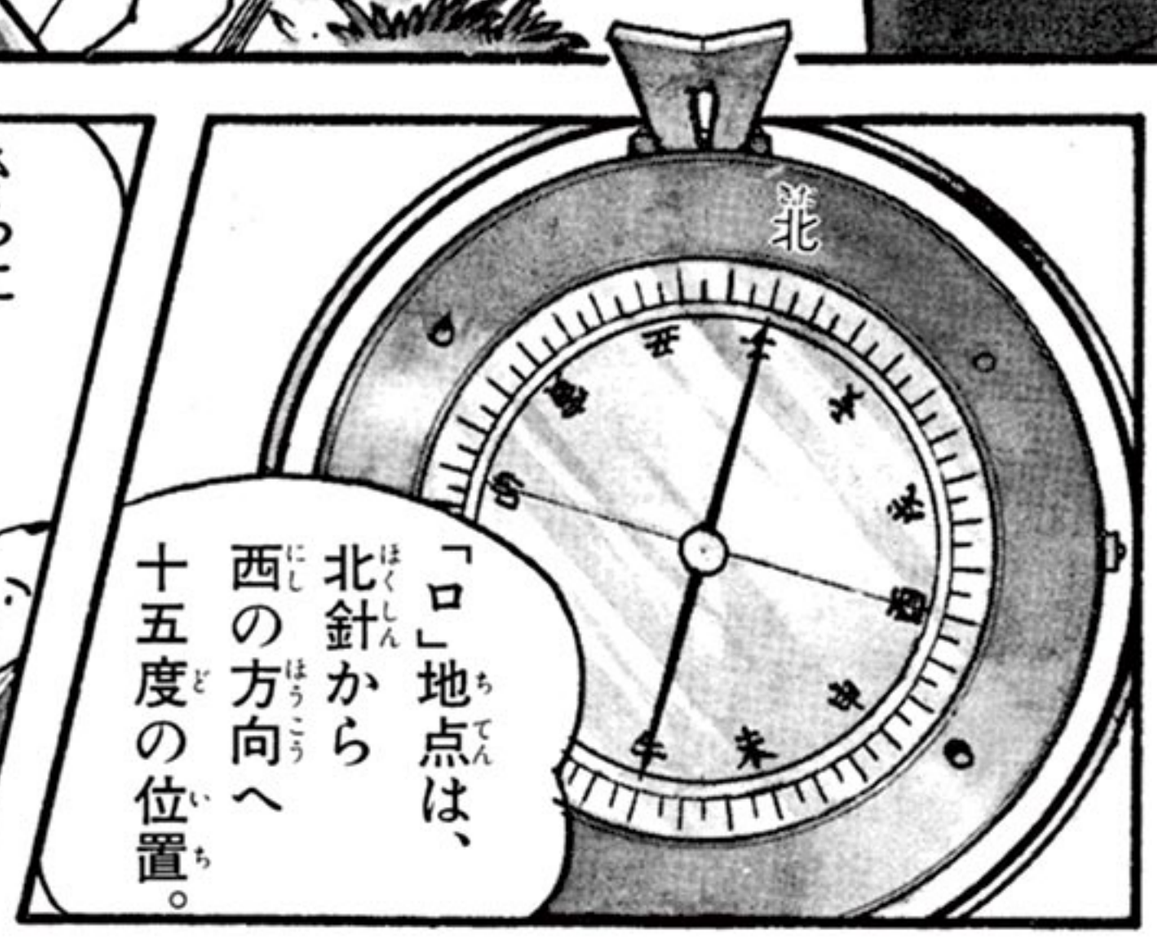
*奥州道中…江戸時代の五街道の一つで、江戸から白河にいたる街道。

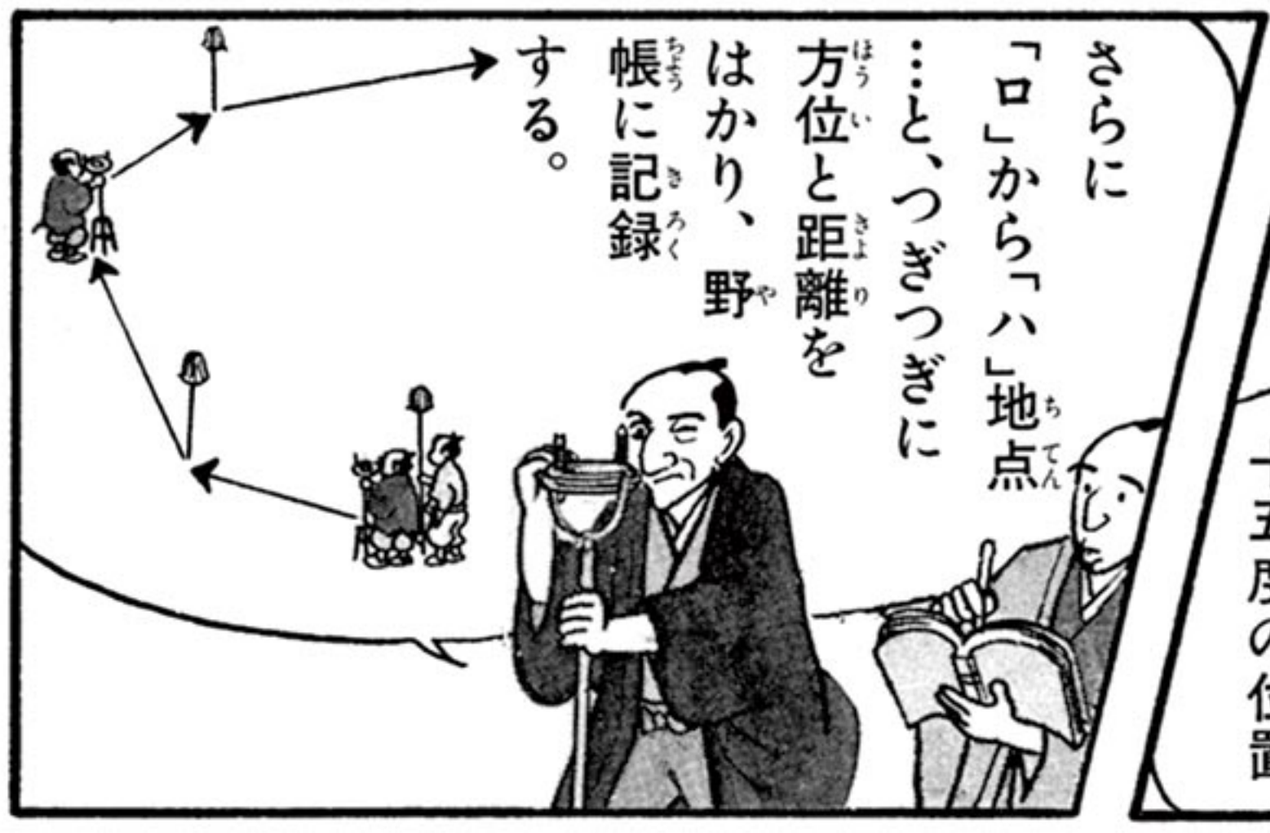
この海岸線の地形を測量しよう。

まず、二点の位置と距離をきめよう。ここを「イ」地点として…。

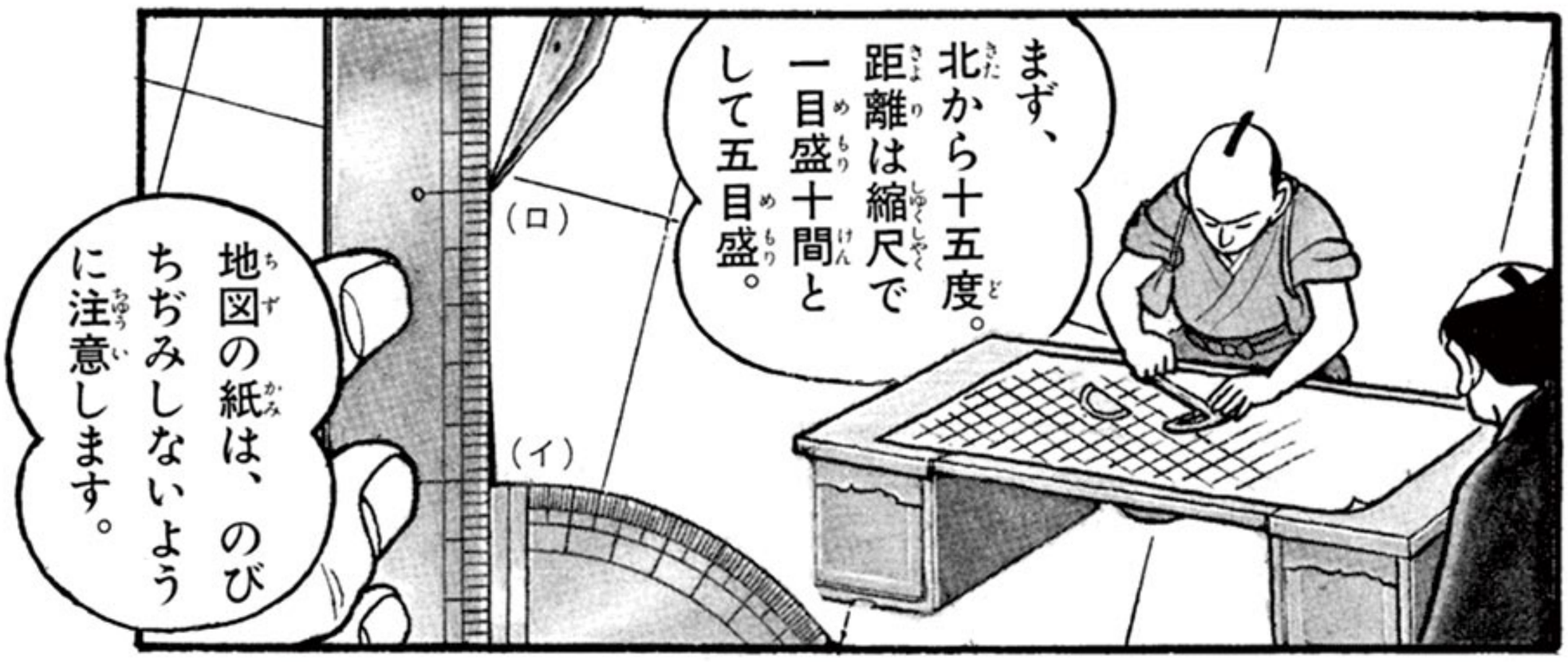
ここ「ロ」地点まで*五十間です。

*五十間…約九十メートル。一間は約一・八メートル。





野帳に記録した数字は、後に地図を作成するときに利用されます。そのため、あとで方位にむじゅんがないように注意して、測量を行いました。



こうした努力によって
正確な地図がつくられて
いくのです。

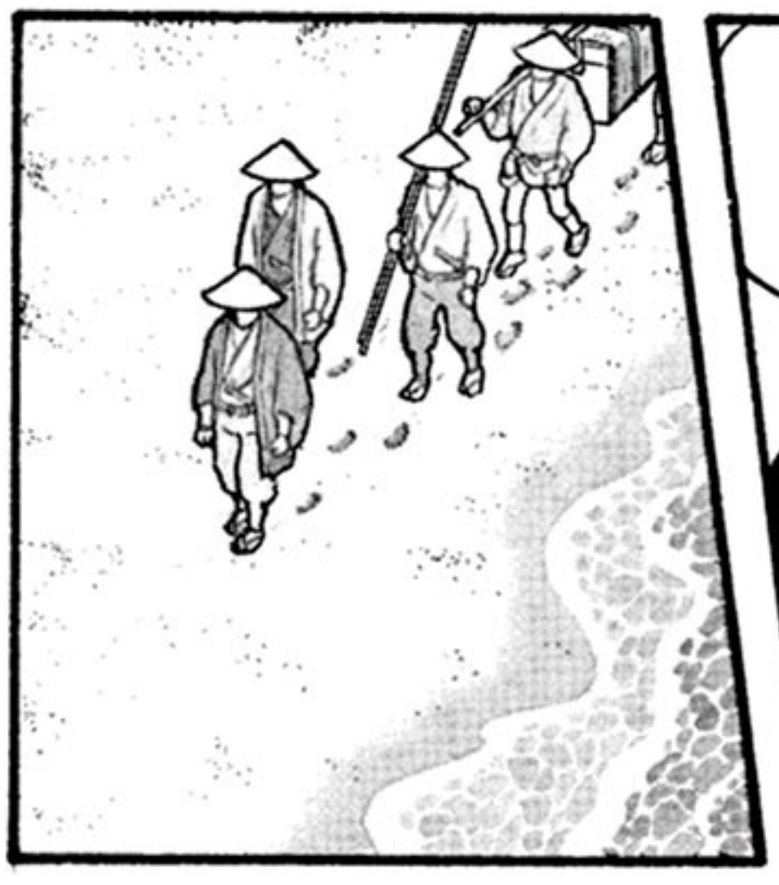
(イ)
(ロ)
(ハ)
(ニ)
(ホ)

忠敬は、
地図記号も
つかったん
じゃよ。

国名
郡
城
関所
寺
社

その後、忠敬ら一行はア
イヌの協力をえて、苦しい
測量の旅をつづけました。

●伊能忠敬の測量経路
松前
伊能忠敬の実測路
後年行われた間宮林蔵の実測路



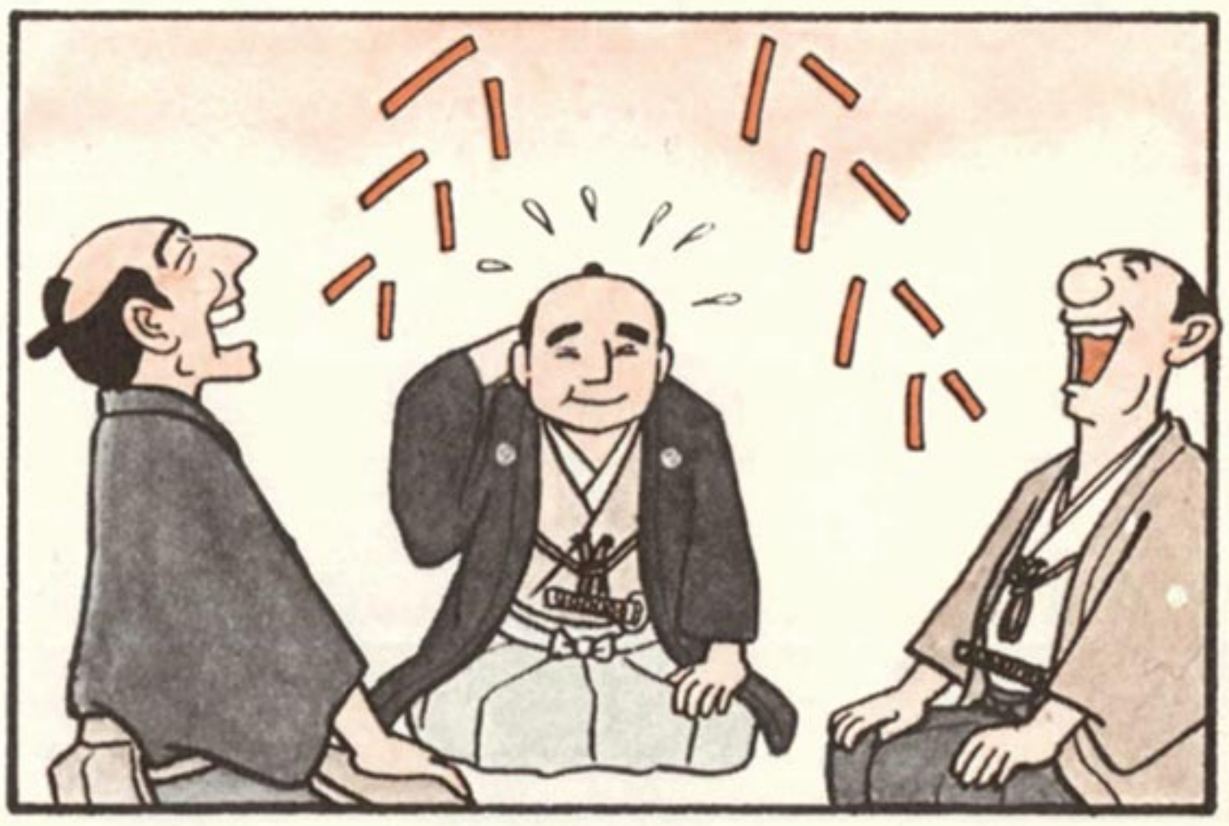
忠敬たちは、*シュンベツ(春別)まで測量をすすめ、八月九日、帰路につき、九月のはじめに箱館にもどりました。

*パスイ…アイヌ語で、おはしという意味。

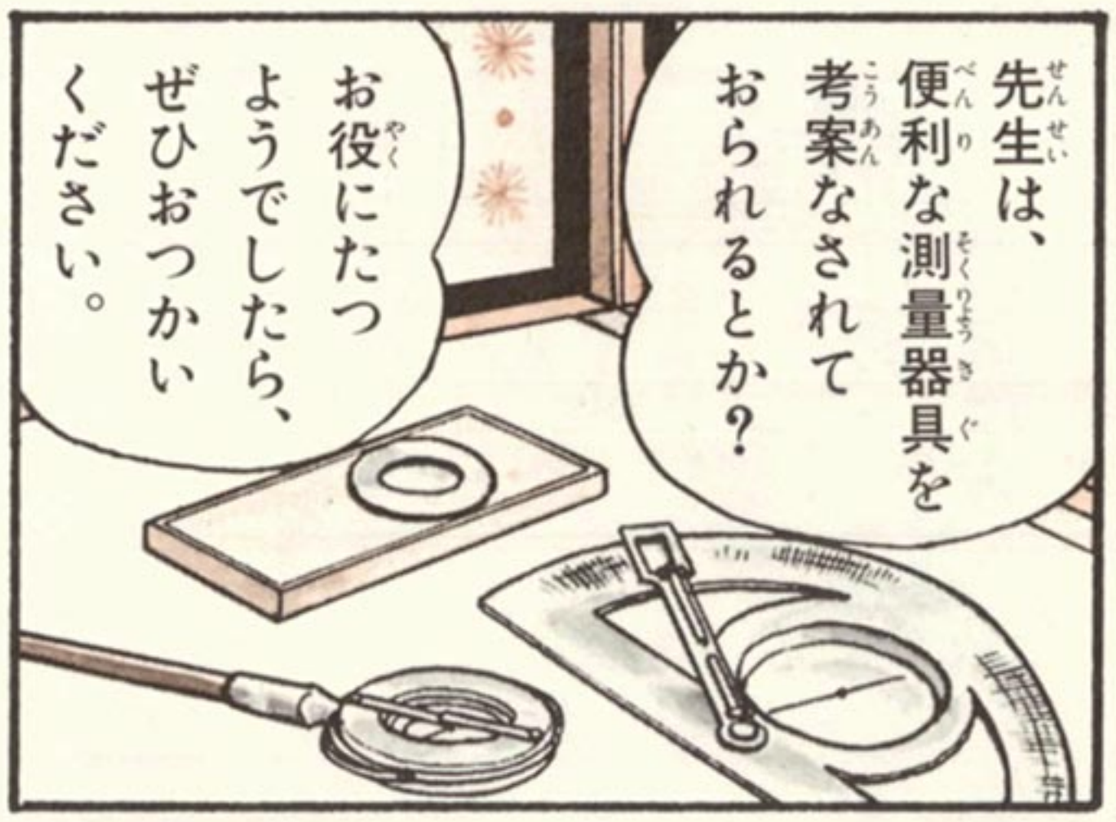
*シュンベツ(春別)…北海道野付郡別海町の地名。

箱館
わたしの部下の間宮林蔵です。
村上島之允
ようこそ、たずねてまいられた。
間宮林蔵

今回はどのような方法で、測量されたのですか？
ドクン
う、うむ…。



はい、歩測でしたので、あまり正確ではないかもしれません。
テクテク


先生は、便利な測量器具を考案なされておられるとか？
お役にたつようでしたら、ぜひおつかいください。

わたしは機会があれば、蝦夷地の北方を調査したいと考えています。
ほう。

そのためにも、先生に学びたいとねがっております。ぜひ、お弟子に……。

こうして十二月十一日、忠敬一行は江戸にもどりました。

数日後、天文台では――

蝦夷東部の地図が、できあがりました。

ほう、それはお早い…。

ううむ、これはすばらしい。

これも先生のおかげです。

クナシリなどの測量の許可はまだ出ませんが、そのかわり、本州東部の測量がゆるされましたよ。

ええっ、ほんとうですか!?

では、さっそく用意を。

今度は、新しい測量器具を、つかってみよう。

ゼイ
ゼイ

さて、読者のみなさん。新しい測量器具をちょっとだけお見せしましょう。

まず、この時代の測量の方法ですが…。

距離をはかるには、間縄といって縄をつかう方法や、

歩測といって、自分の歩数を数えて測量するのが、おもな方法です。

テク
テク

しかし、高橋至時先生はより正確な距離をはかるために、量程車を考案しました。

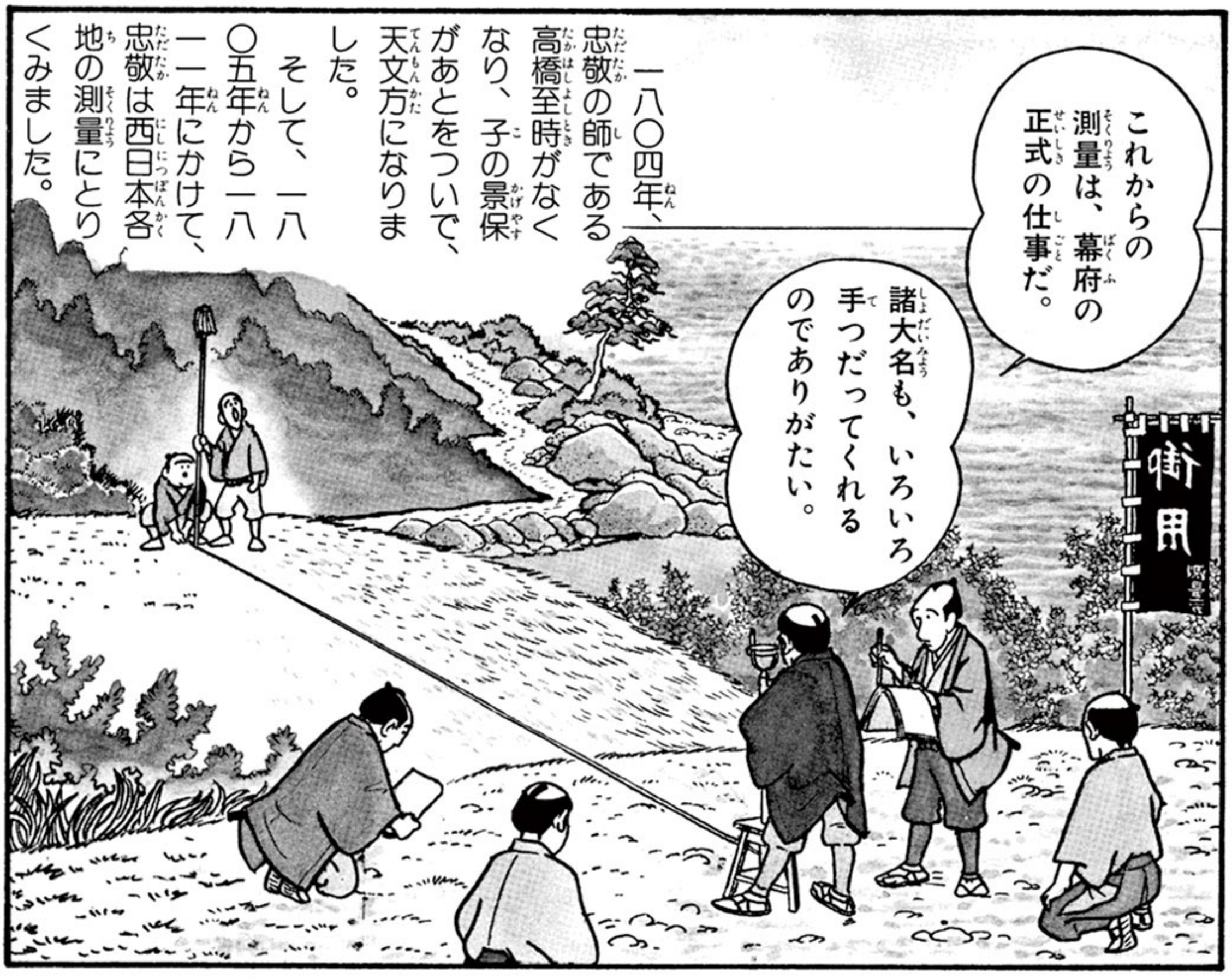
車輪の回転数が歯車につたわって、距離がしめされるのです。

これで、いちいち数を数える手間がはぶけます。

カタ
カタ
カタ

しかし、でこぼこ道などでは、正確な数字は出ません。

こうして、伊能忠敬は一八〇一年から一八〇三年にかけて、三回にわたり本州東部の測量を行うことができました。



一八〇四年、忠敬の師である高橋至時がなくなり、子の景保があとをついで、天文方になりました。

そして、一八〇五年から一八一一年にかけて、忠敬は西日本各地の測量にとりくみました。

一八一一年、忠敬の家―

間宮林蔵というかたが、お見えです。

なに!?

十一年ぶりの再会ですな。

先生もお達者でなによりです。

いつかのお約束どおり、測量術を学びにまいりました。

それはともかく、今夜はゆっくりつもるお話をお聞かせください。

*エトロフへは行きましたか?

はい、その話ですが…。

ロシアの使節レザノフの船が長崎に入港したのは、一八〇四年のことでした。

*エトロフ…択捉島のこと。

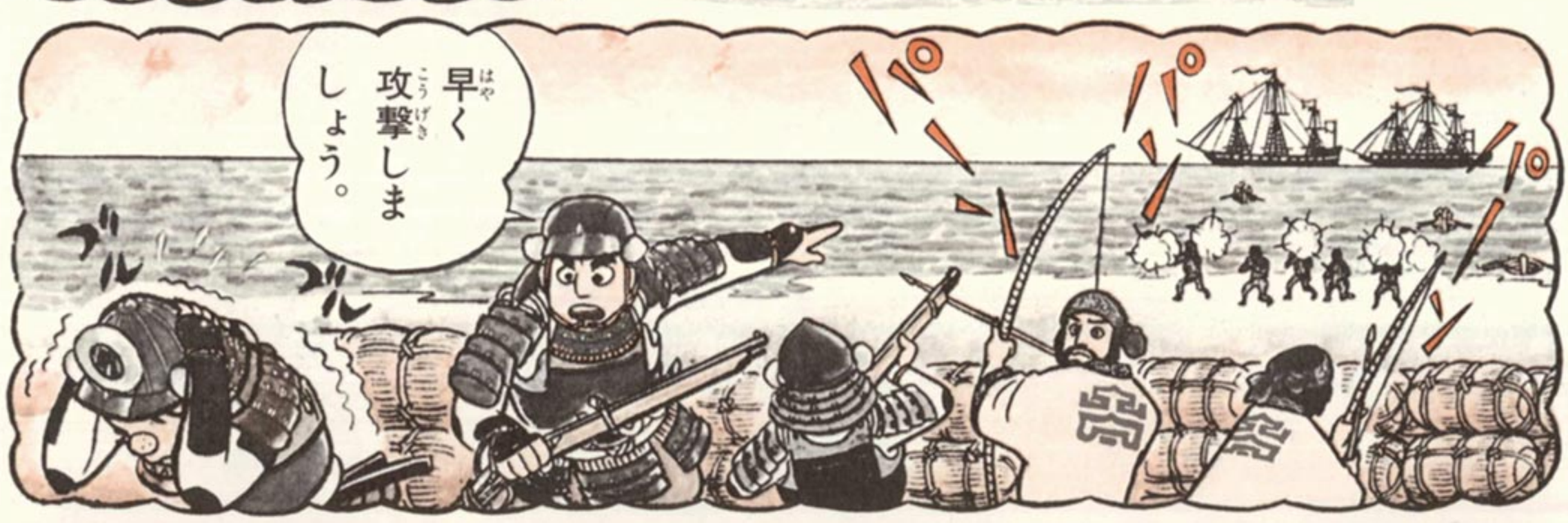
レザノフは、十二年前に来日したロシアの使節ラックスマンと同じように、交易をもとめてきましたが、幕府は半年もまたせた末、ことわりました。

レザノフ

くそっ!

武力でおどかしてやりましょう。

一八〇七年、ここは択捉島のシャナ。間宮林蔵は、前年からこの地の*会所ではたらいていました。



一八〇七年、幕府は北辺の防備のため、西蝦夷地を直轄とし、松前領を陸奥梁川にうつしました。

*会所…江戸時代、北海道の各所におかれたアイヌとの交易所。

*陸奥梁川…福島県伊達市梁川町

＊カラフト…樺太。ロシア名はサハリン。

おたがい無事でなによりでした。

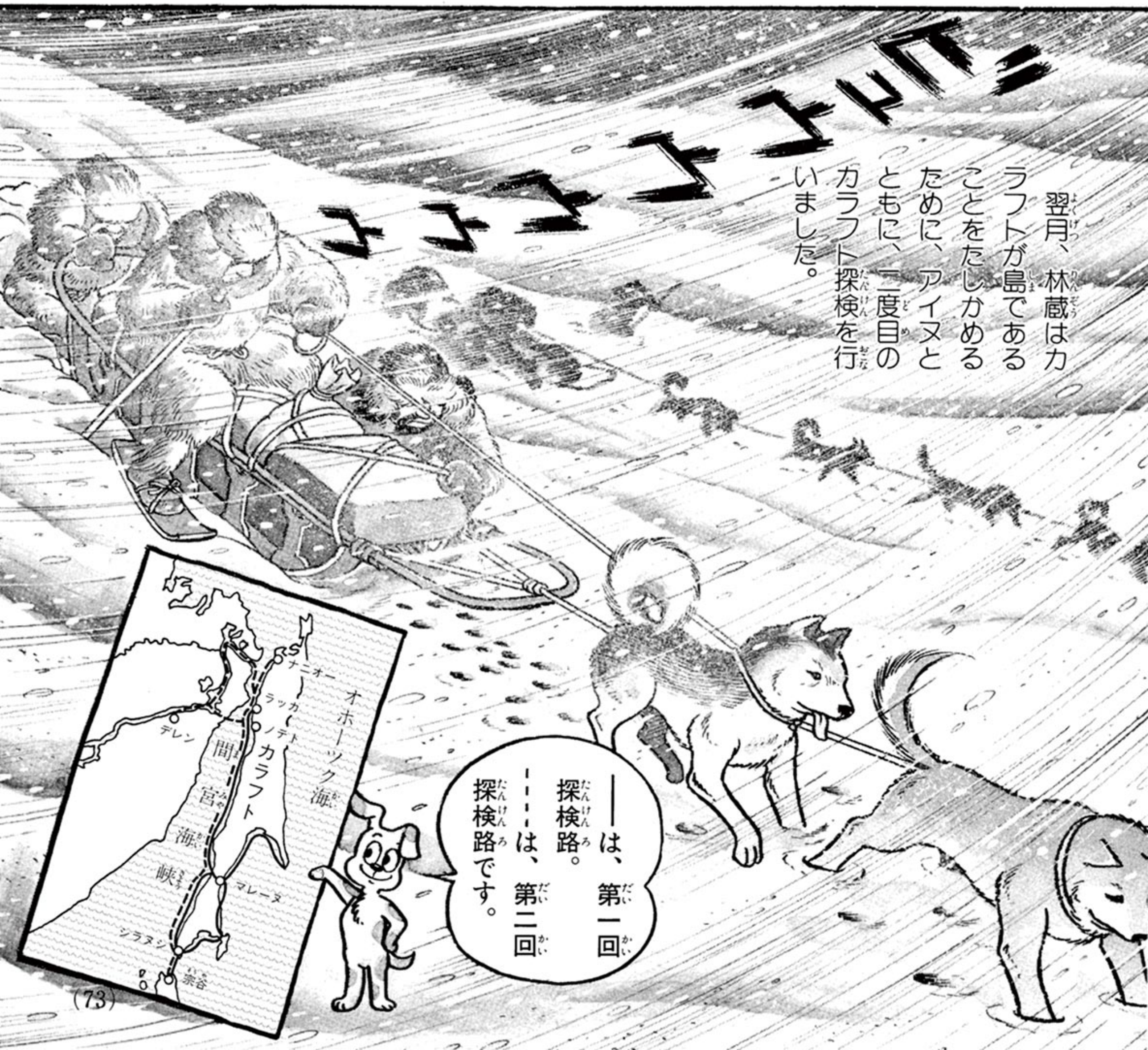
わたしはラッカまでしか行けなかったが、どうやらカラフトは島らしい。

われわれの任務は、これで完了したとみていいだろう。

しかし、この海峡を突破しなくては、ほんとうに島かどうかわからない……。

こうして六月、松田伝十郎と間宮林蔵の、第一回カラフト探検がおわりました。

翌月、林蔵はカラフトが島であることをたしかめるためにアイヌとともに、二度目のカラフト探検を行いました。



…とまあ、なかなかの苦労でした。
いや、まことにいさましい。
星の高さをはかることによって、その地点の緯度を計算できる。
こうして間宮林蔵は、伊能忠敬から本格的な測量技術を学びとり、以後行った蝦夷地北西部の測量に、大きな成果をあげました。
いろいろご指導ありがとうございました。
西蝦夷の測量は、おまかせしますよ。
この年の十一月、忠敬はふたたび、九州へ測量の旅に出かけました。
一方、間宮林蔵も、まもなく蝦夷地へむかいました。

一八一七年、忠敬の家

十七年間におよぶ、わたしの測量の成果を、地図にまとめるのじゃ。

ん？

先生、ついに西蝦夷の測量を完了しました。

おお、よくやってくれました。

おかげで、たいへんに役だちますよ。

およろこびいただき、わたしも満足です。

その翌年、伊能忠敬はなくなりましたが、天文方や弟子たちの手で「大日本沿海輿地全図」は完成しました。忠敬の死後、三年たった一八二一年のことです。

わが国最初の、精密な実測地図だ。

ここで話は少しかわって、一八二三年七月、長崎――

ようやく あこがれの 日本について たぞ。

なんと 美しい風景 だろう。

*シーボルト

*シーボルト…ドイツ人医師。オランダ人として来日した。

*出島

あなたの医学は日本人の間で大評判ですね。

わたしがドイツ人であることが、ばれないとよいのですが……。

オランダ商館長

長崎奉行にたのんで、あなたの研究の便宜をはかってもらいましょう。

*出島…江戸時代、長崎におかれたオランダ人の居住地。

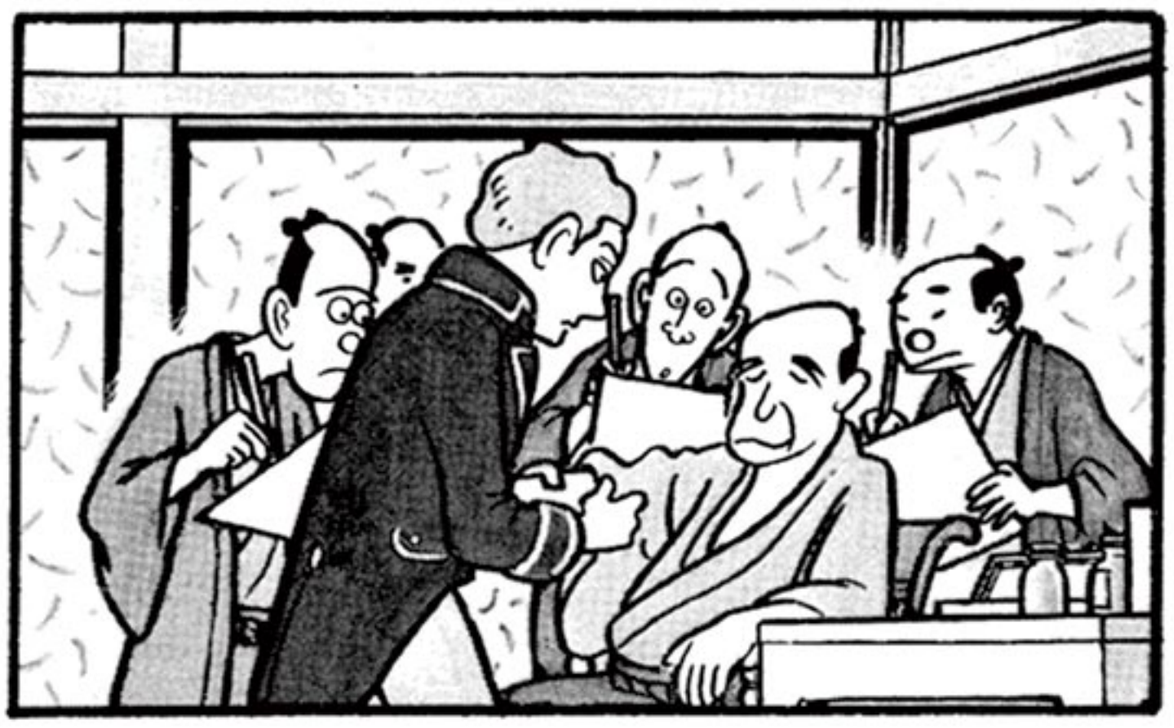
翌年、シーボルトは医療所と学習塾とをかねた「鳴滝塾」を、長崎の郊外にひらくことをゆるされました。

あそこには オランダの えらい先生が いるんじゃよ。

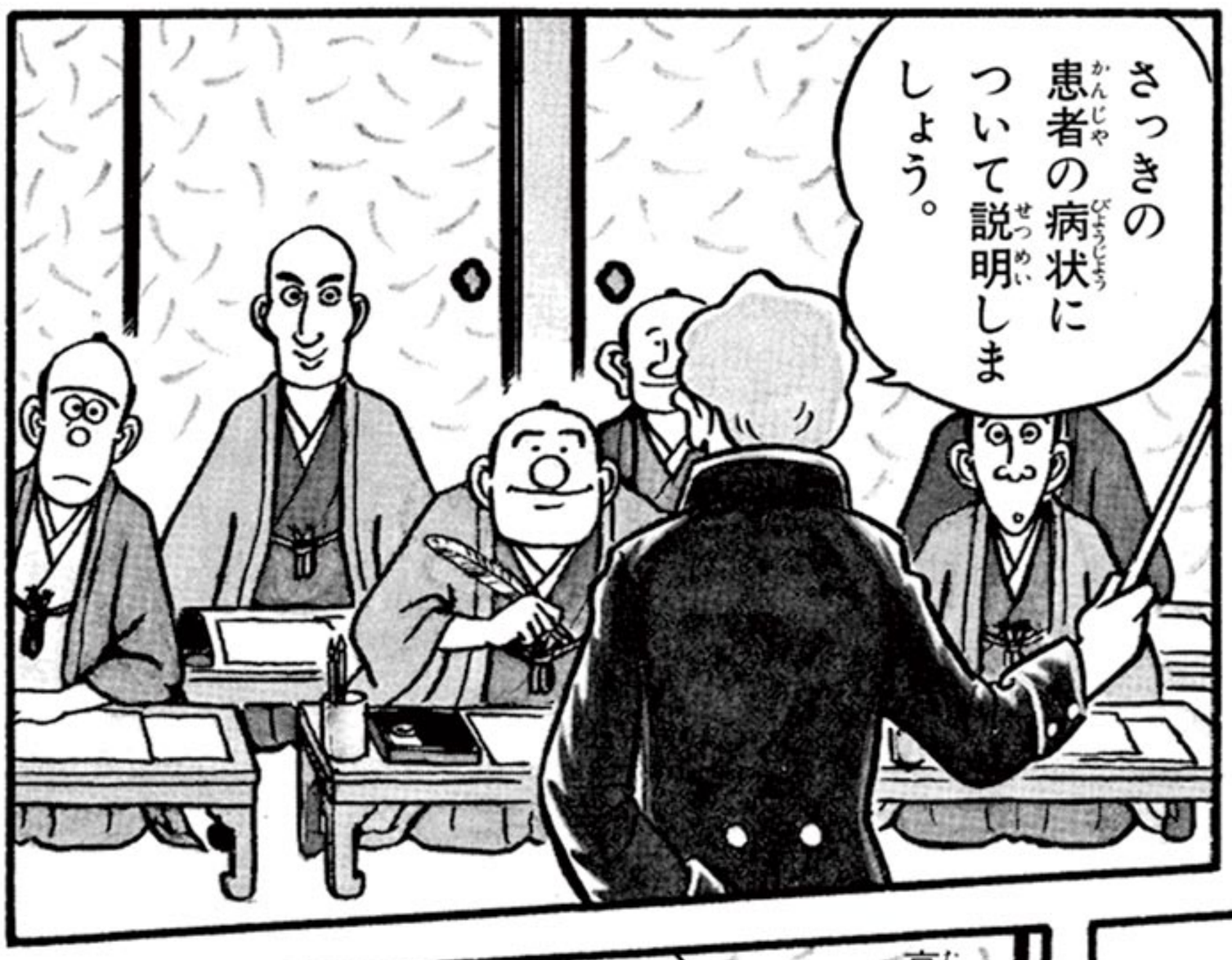
どんな病気も すぐなおして くれるんだ ってね。

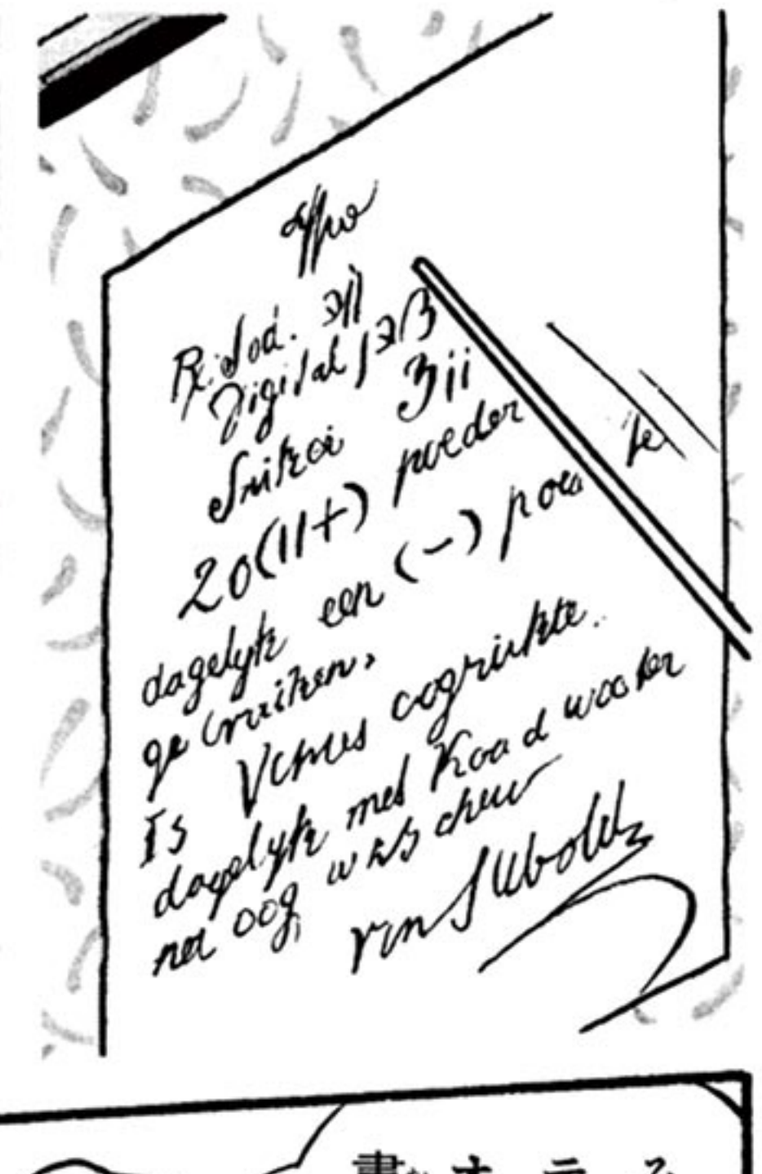
わかい蘭学者が 医術を学びに、 全国からあつま ってくるとか。

ふうん。 あの塾に すみこんで るんだね。



心配ありません。この薬をのんでください。
はい。ありがとうございます。


さっきの患者の病状について説明しましょう。



高野長英
何を書けばいいのですか？

みなさん。それぞれテーマをきめて、オランダ語の論文を書いてください。

日本の自然のこと、地理、風俗、政治、宗教…。何でもかまいません。
すぐれた論文を書けたひとには、「ドクトル」の免状をあげます。

一八二六年、シーボルトは、オランダ商館長（カピタン）にしたがって、江戸へおもむきました。

＊長崎屋…カピタンたちの江戸での宿所。第十四巻第四章参照。

江戸で、シーボルトは多くの日本人学者と知りあいになりました。

わたしの著書をおおさめください。

ありがとう。

学者たちの中には最上徳内もいました。

あなたというすばらしい学者と友人になれて、光栄です。

徳内はシーボルトにカラフトの地図をおくったほか、北方の地理やアイヌのことばについてもくわしく説明するなど、シーボルトの研究に力をかしています。

これは、伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」の縮図です。

おお、すばらしい。

天文方 高橋景保

この地図を、*クルゼンシテルンの「世界周航記」と交かんしませんか。

それはありがたいですな。

これからも、おたがいに資料を交かんし合いましょう。

大賛成です。お約束しましょう。

間宮林蔵のカラフト地図と探検記録も、いずれおおくりしましょう。

それを見ると、カラフトが島だということがわかりますね。

一八二八年三月——

長崎のシーボルトさんから、間宮さんに荷物がとどいています。

わたしに？

異人との物品の交かんは禁止されている。いちおうお奉行にとどけておこう。

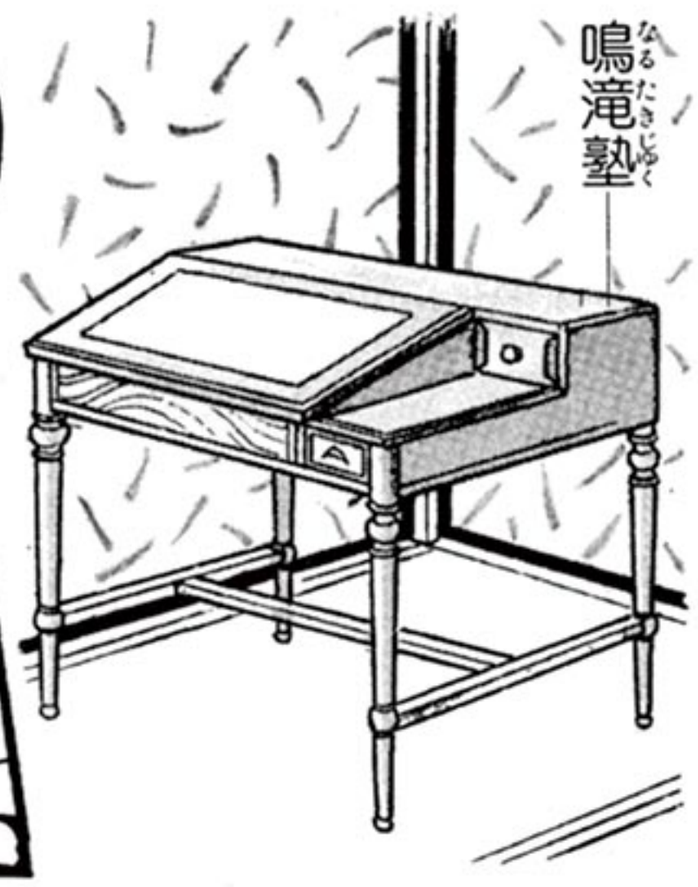
荷物には、*更紗一反と、林蔵と親しくしたいという手紙が入っていました。

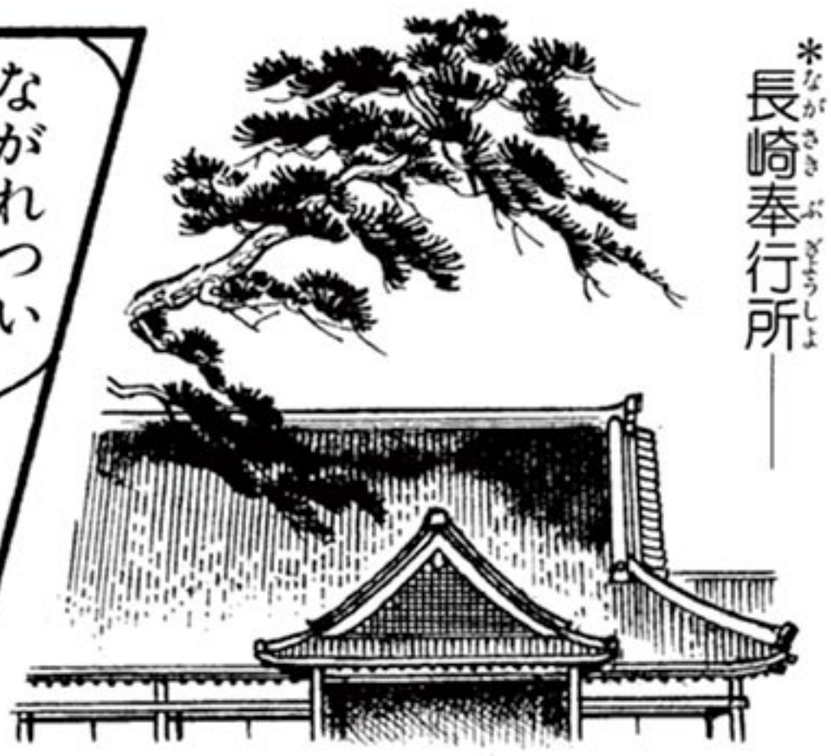
ともあれ、幕府の許可なく異人と物品のやりとりをするとはけしからんことです。

あやしいのは高橋景保だ。やつをしらべろ。

*クルゼンシテルン…ロシアの軍人の名。ロシアではじめての世界周航を行った。

*更紗…人物や花鳥など、さまざまな模様を押し染めした木綿の布。





*長崎奉行所――

*長崎奉行所：長崎の司法、市政の管理、対外問題をあつかった長崎奉行のいた役所。

こうしてシーボルトは海外追放の処分をうけ、地図をわたした高橋景保はとらえられ、獄死しました。これを「シーボルト事件」といいます。

十八世紀後半のロシアの南下によって、幕府は北辺の防備に気をつかいました。そのためアイヌの人びとが圧迫をうけましたが、一方では、すぐれた探検家も出てきました。

また、人びとは、外国にたいする関心を高め、いろいろな知識をえようとしました。しかし、幕府は鎖国政策のもとでこうした動きをみとめず、処罰された者も多かったのです。

小学館 eBooks

第三章

不安な世の中

——江戸時代後期——

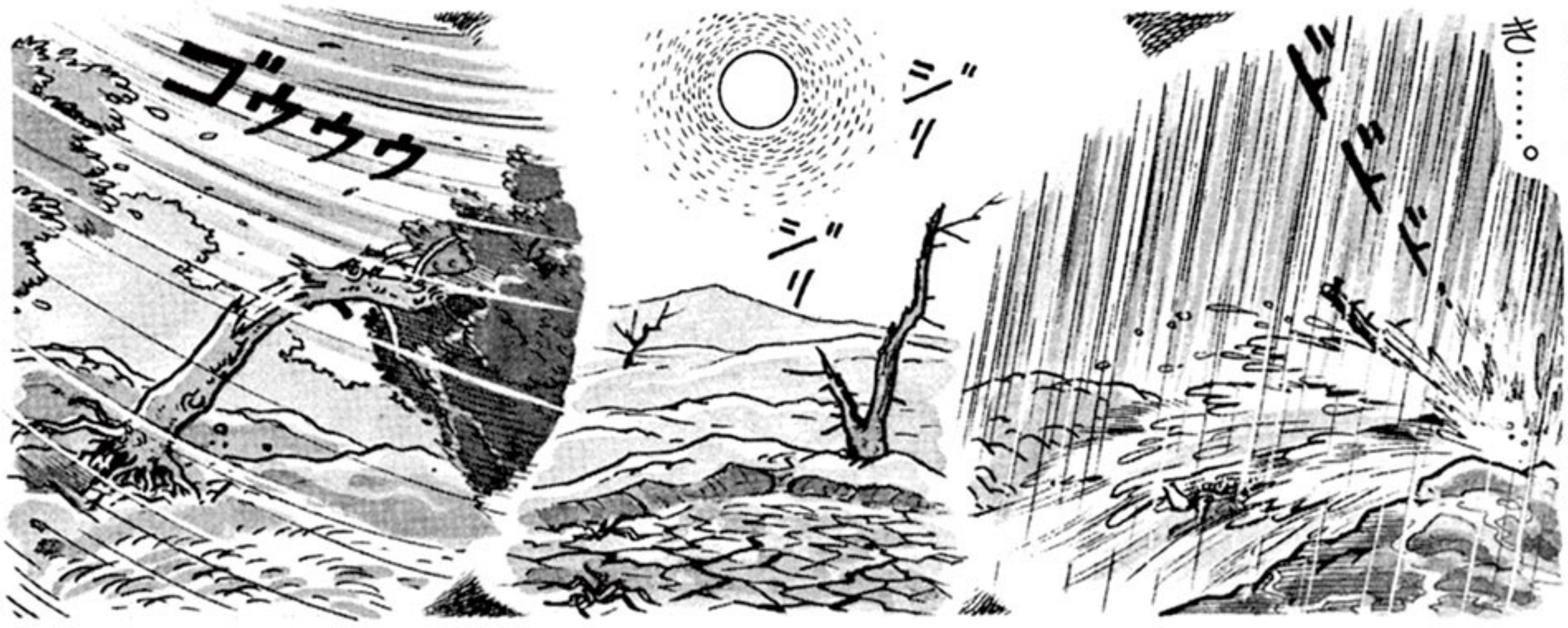
一八三〇年——

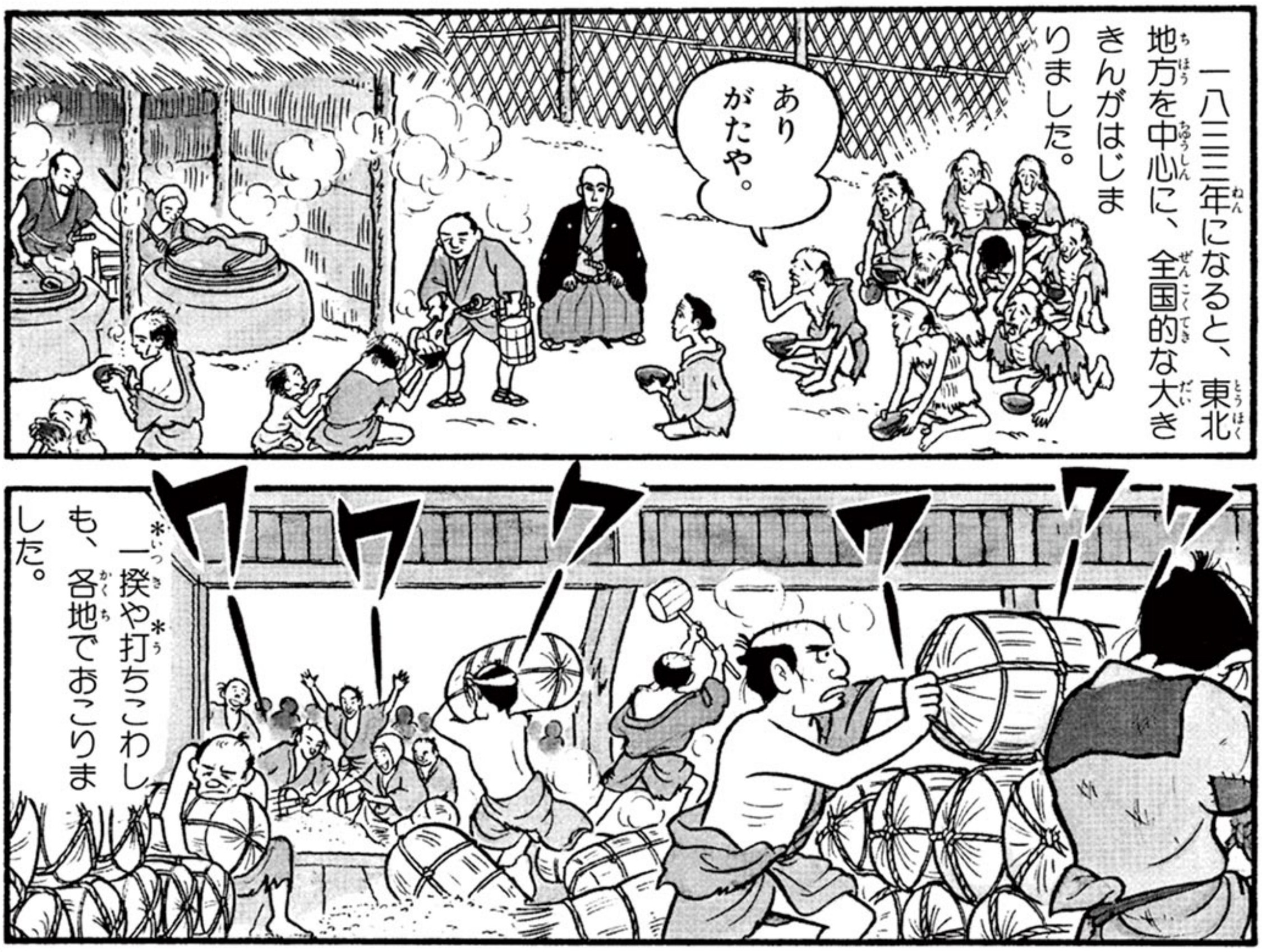
ワイ ワイ

わあ、たくさんの人だなあ。

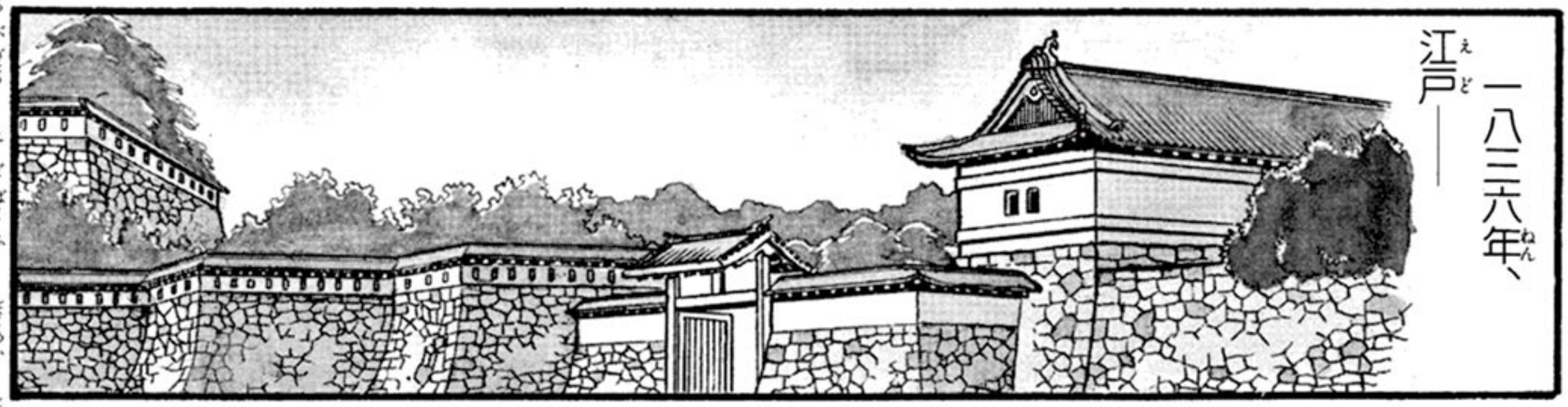
「おかげまいり」といってな、全国から何百万もの人が、伊勢神宮におまいりに行くんじゃよ。

そして、この年から数年にわたって、気候の不順がつづき……。





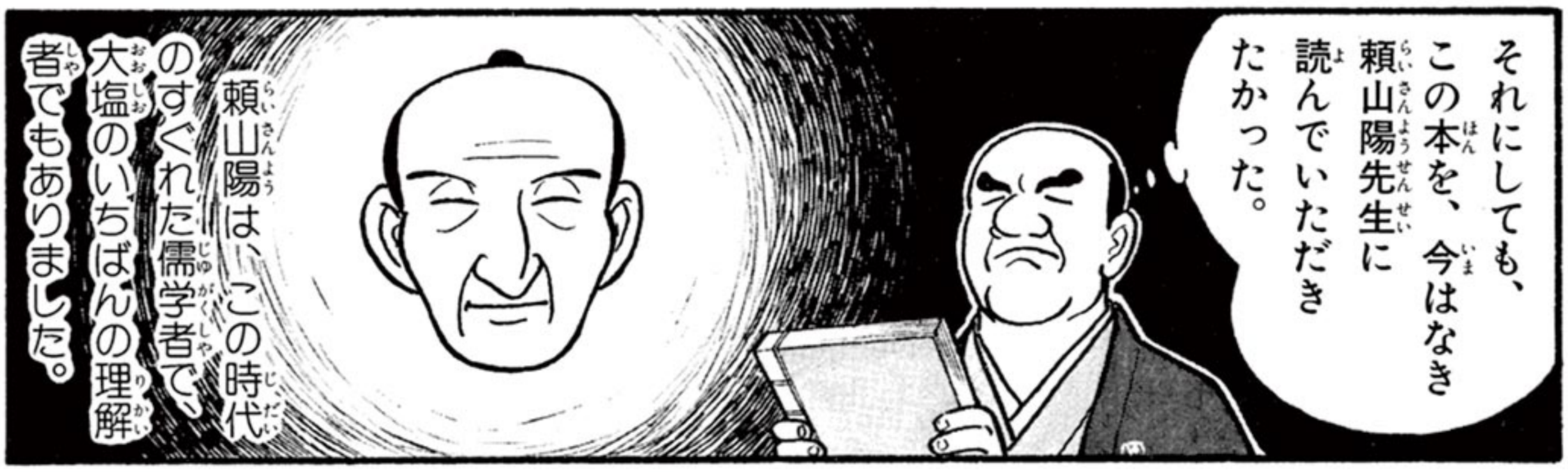
＊一揆…領主に反抗して、民衆がおこす暴動。＊打ちこわし…民衆が米屋・質屋などをおそうこと。

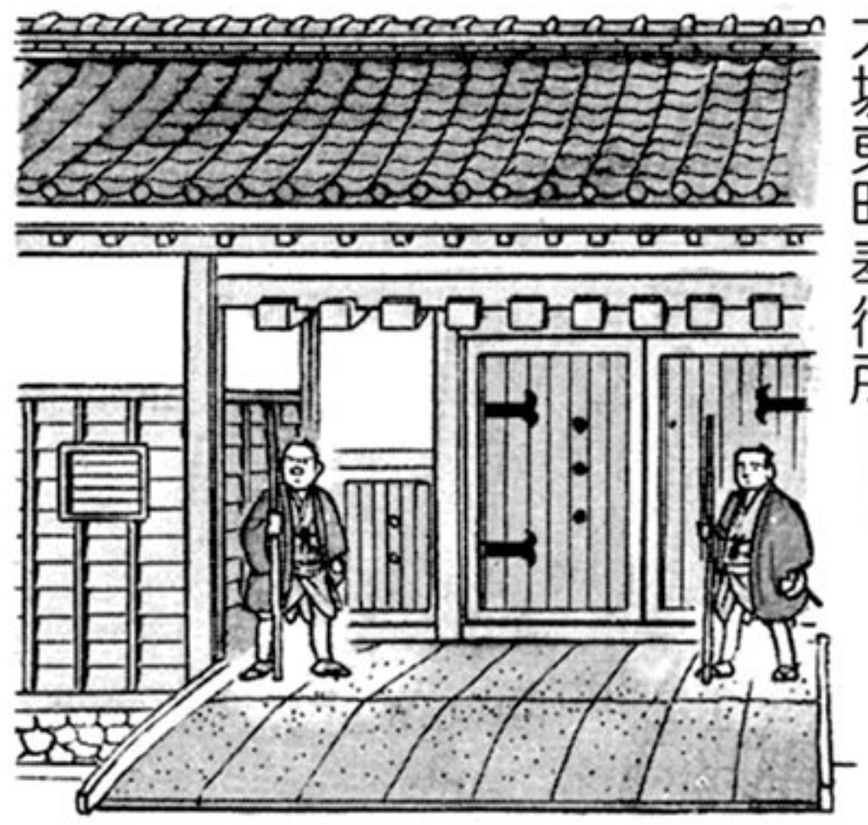


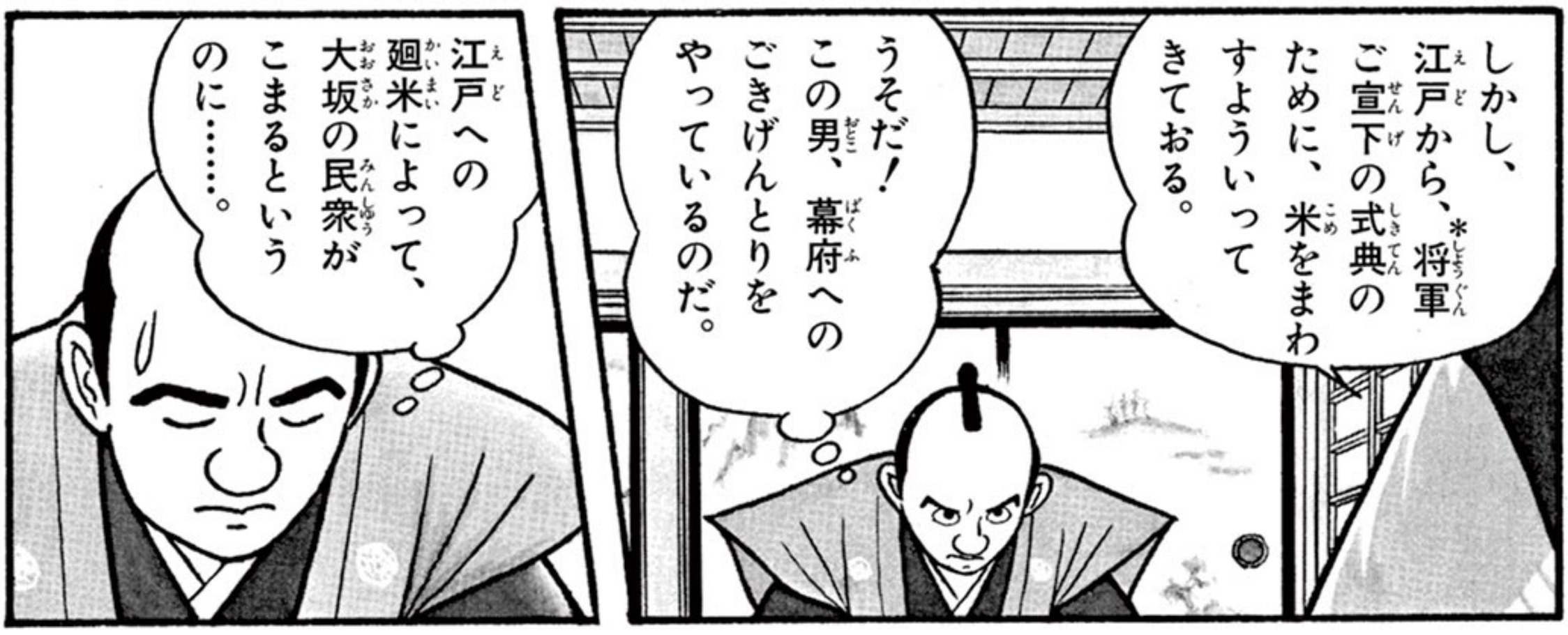
＊町奉行…江戸幕府の職名。重要な都市におかれ、行政と司法をあつかった。

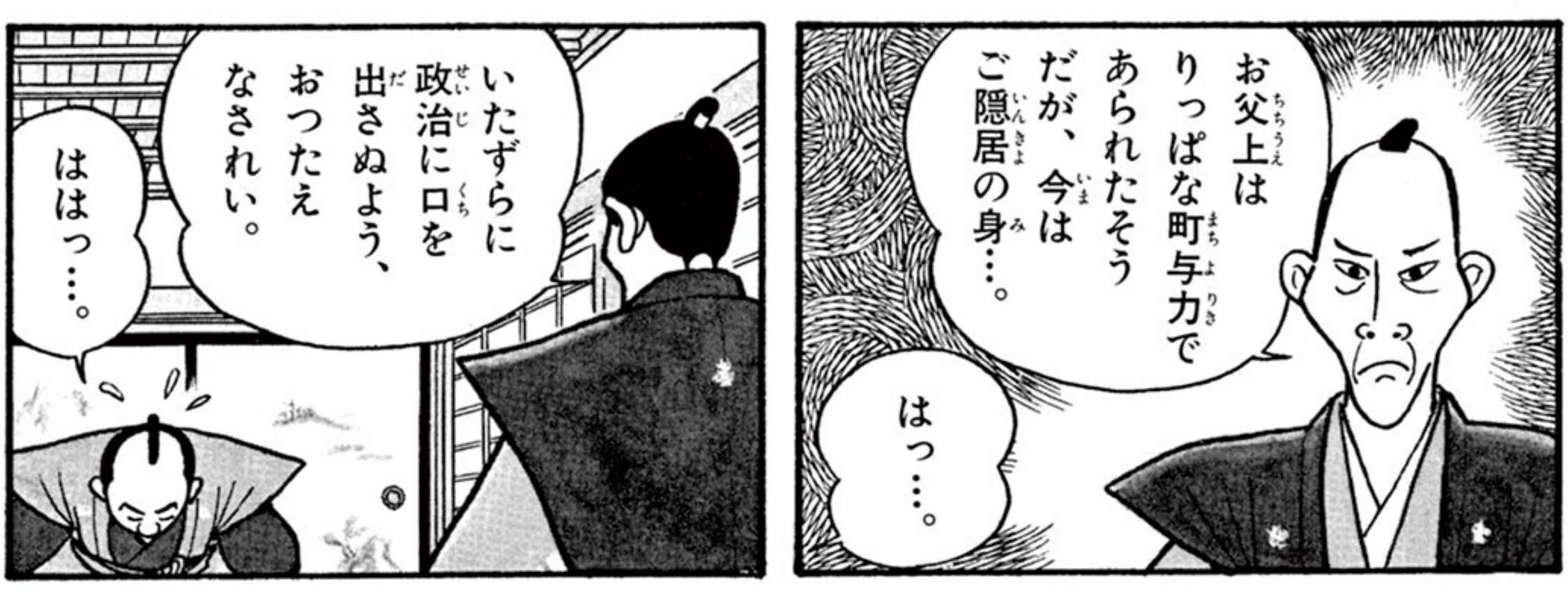
*町与力…町奉行につかえ、同心らをひきいた役職。

*陽明学…中国明代の学者王陽明がとなえた儒学の一派。



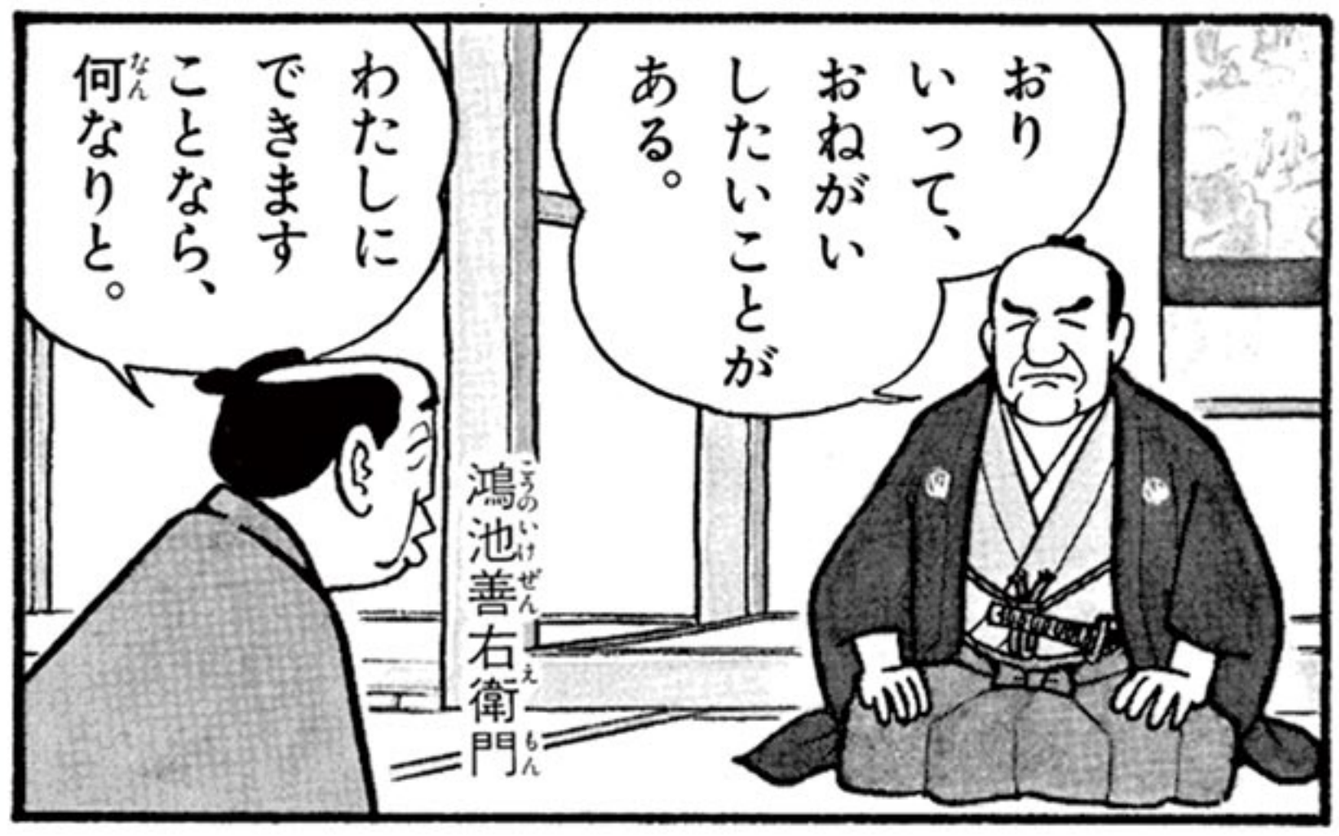


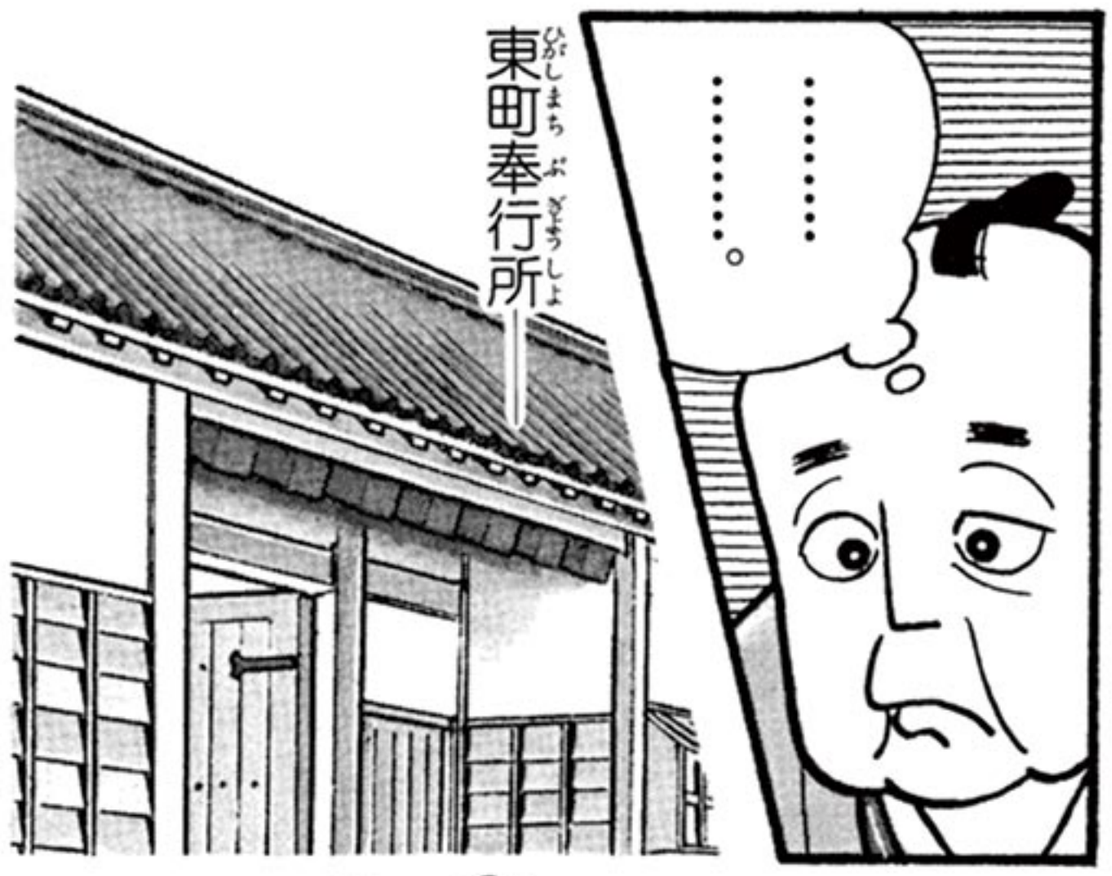




＊蔵米…旗本・御家人に支給するため、幕府が米蔵にしまっていた米。

＊将軍ご宣下…朝廷から将軍に任じられること。





＊禄米…給料としてあたえられる米。

＊担保…借金などの保証にあてる権利や財産。

この年の冬――

これ以上、民の苦しみを見て見ぬふりはできません。

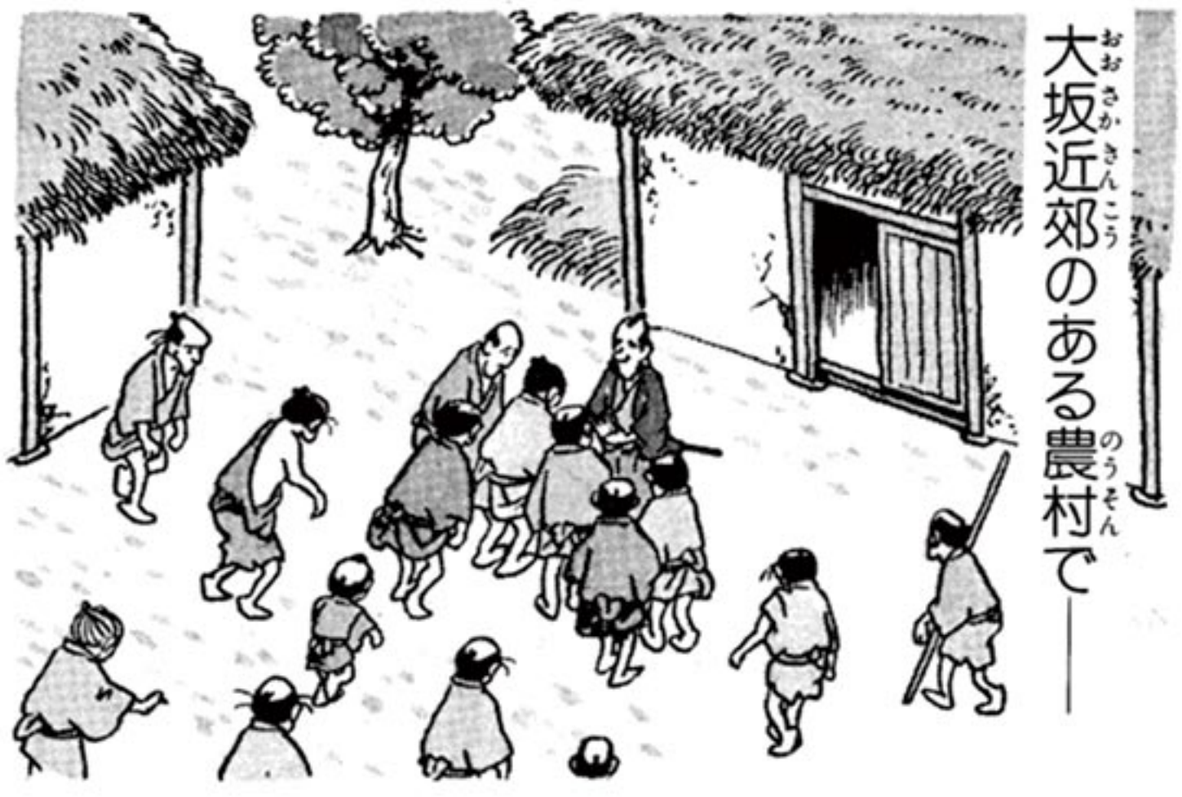
幕府の江戸中心の政治で、どれほど大坂がぎせいになっているか…。

門弟諸君、もはや決起もやむをえまい！

そうだっ！

やりましょう！

大塩平八郎の家塾、洗心洞の門弟は、奉行所の役人や近郊の富農が中心となっていました。



*一朱…江戸時代の貨幣の単位で、一両の十六分の一。*天満…大阪府大阪市北区の地名。天満宮があるほか、大塩ら与力・同心の屋敷もあった。

*申刻…午後四時ごろ。

ところが、
その当日

ドドー
ハアハア

ガタ
何事だ！まだ夜も明けぬというのに!?

われらの計画が、奉行所にもれたようです！
なにっ!!

やむをえない。すぐにうって出よう。
はっ！すぐにしたくを。

役人らの屋敷をねらえっ！
おう！
火矢をうてっ!!

ズドー

火事だあ！
にげろ。

*難波橋…大阪市内をながれる淀川にかかっている橋。　*北船場…難波橋を南へわたったあたりの地名。鴻池ら豪商の店も近くにある。

ここが悪徳商人どもの店だ。のこらずやきはらえ！

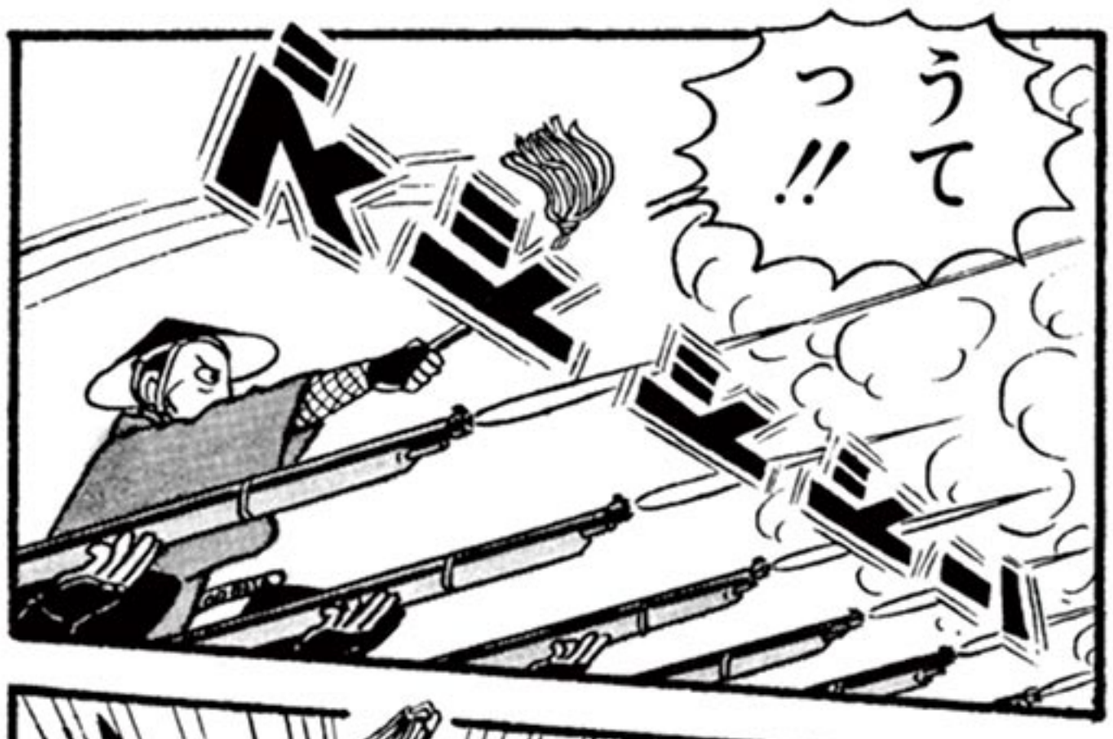
ドーン

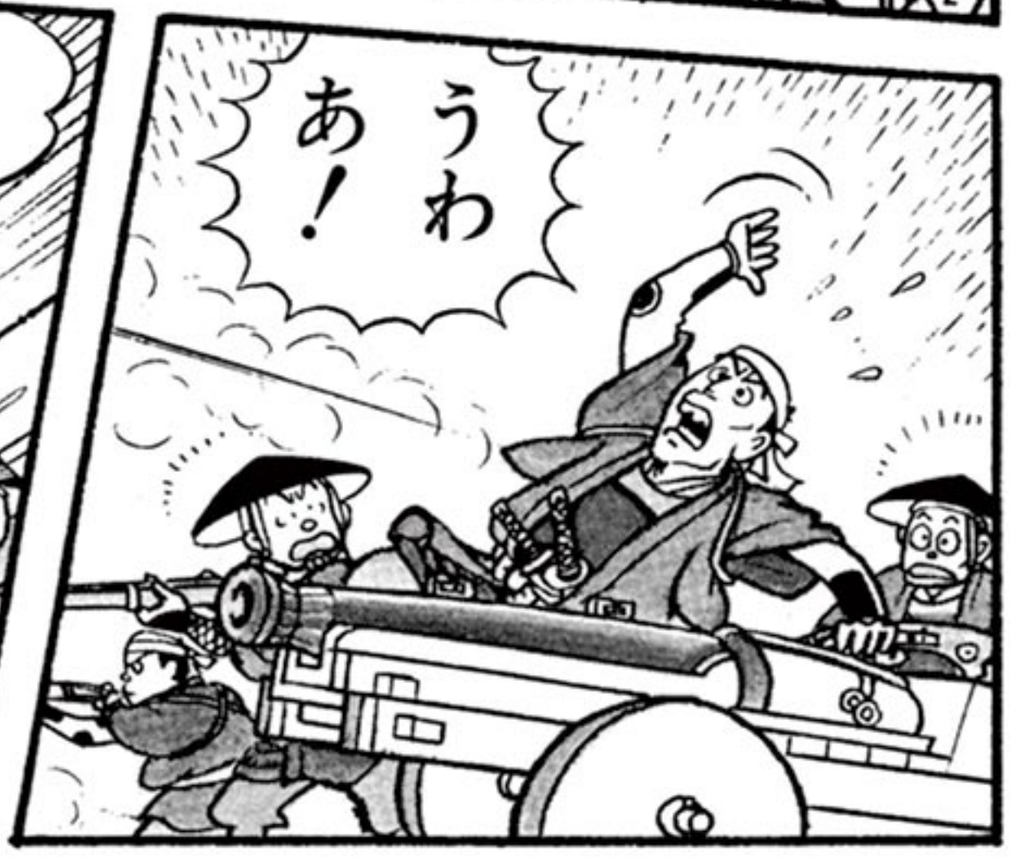
ガラガラ

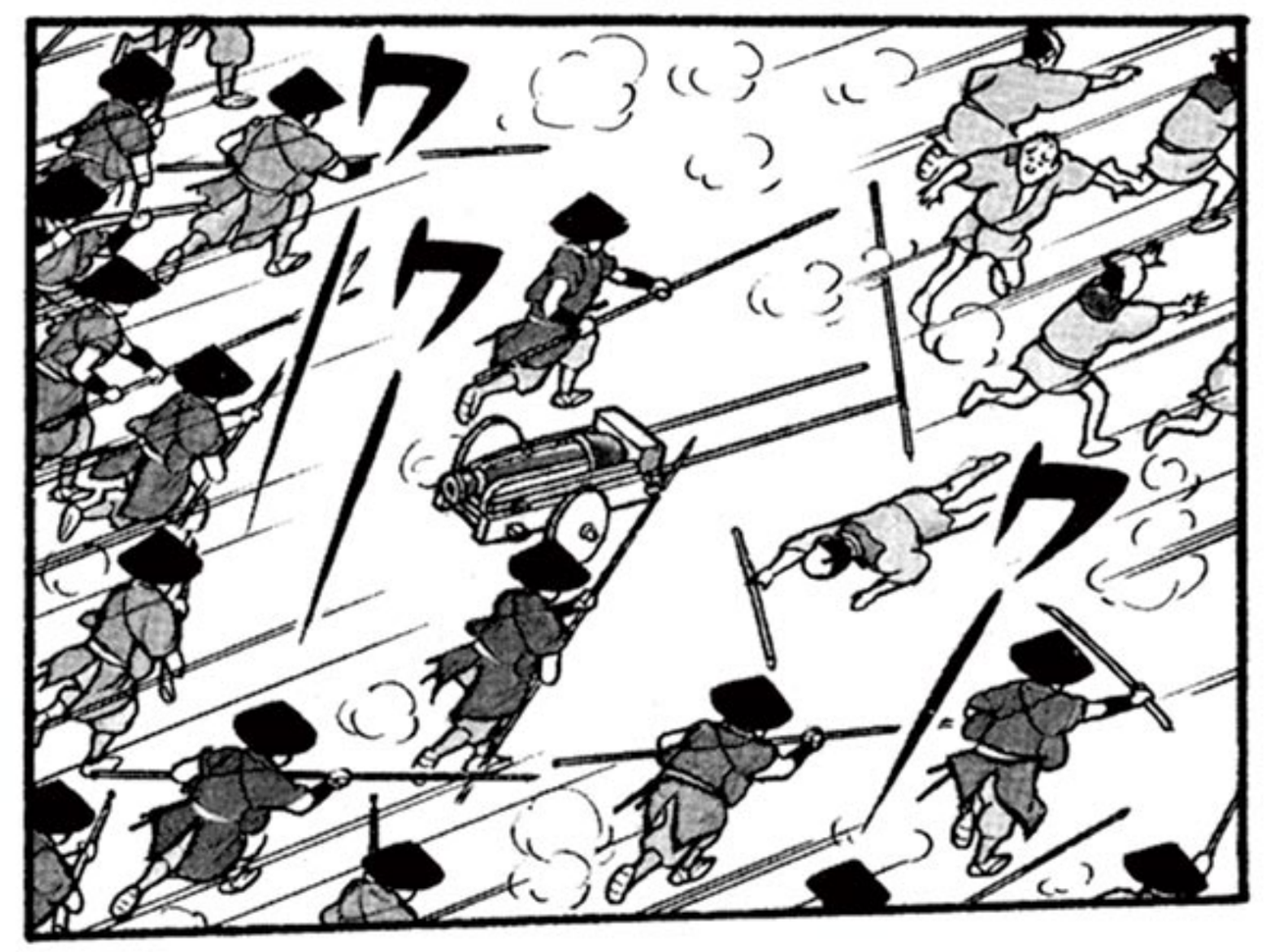
ドッ

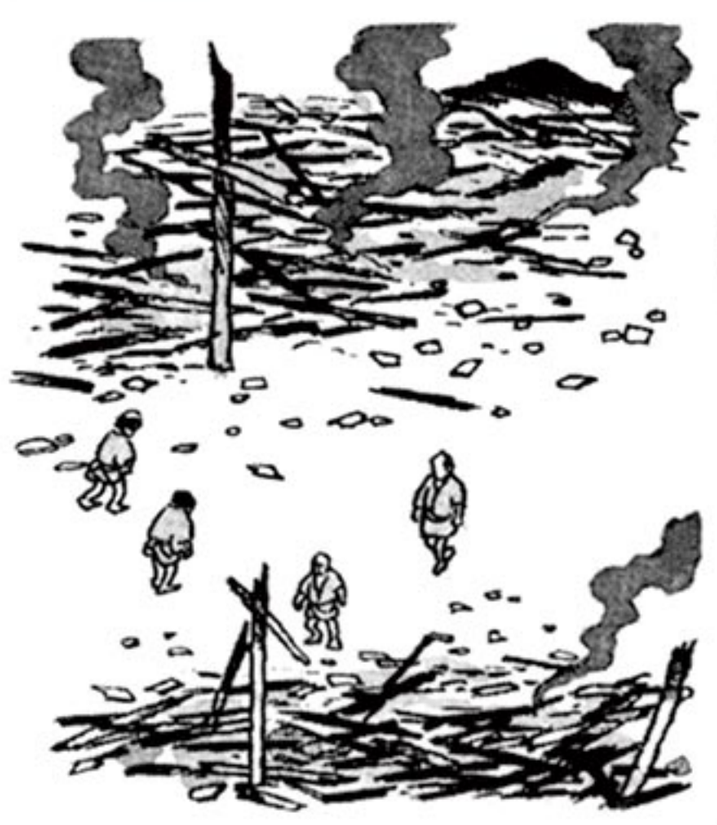
ズッ

ビタッ









この乱によって、大坂の五分の一が灰になりました。乱のおもな参加者は、その後つかまったり、自殺したりしました。

姿をかくしていた大塩親子も、やがて自殺しました。

大塩の乱は、たちまち全国に知れわたり、そのえいきょうにより、*越後国柏崎の「生田万の乱」をはじめ、各地で一揆や打ちこわしがおこりました。

*越後国柏崎…新潟県柏崎市

*生田万…国学者で、門人たちとともに乱をおこした。

この年（一八三七年）、江戸湾沖にアメリカの商船モリソン号が姿をあらわしました。

異国の船だ！

よし、今だっ!!

ザバーン

うひゃあ、ひとまずにげろ！

その翌年、江戸――

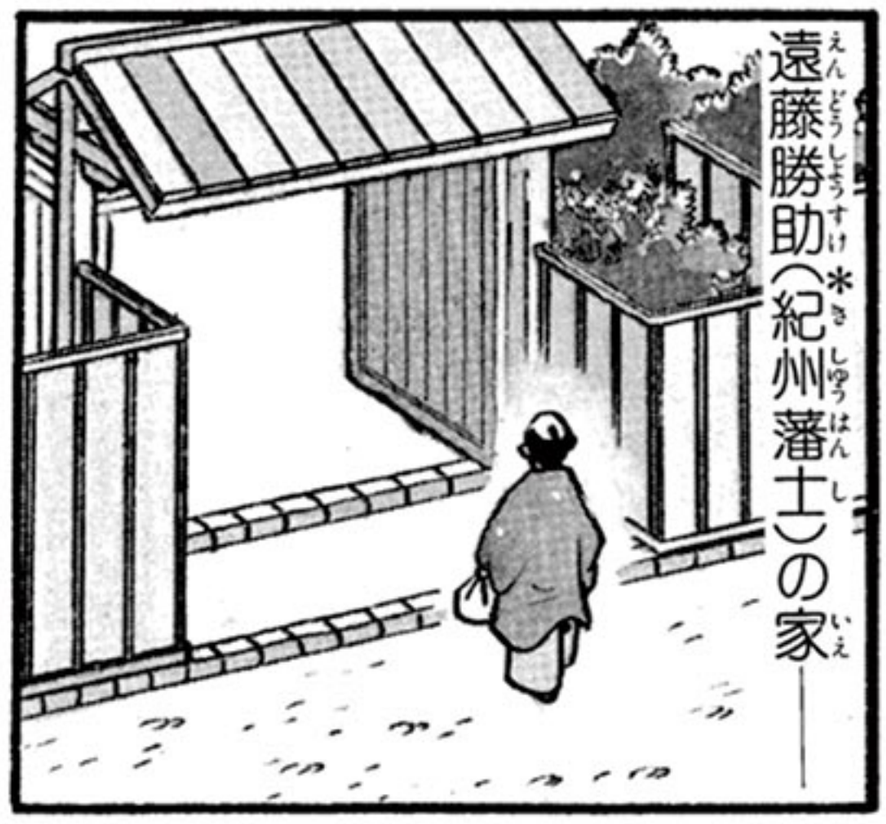
りっぱな絵ですね。

ははは、おはずかしい。

*田原藩…愛知県田原市田原町を中心に、渥美半島一帯を領地とした藩。

*家老…藩の重臣で、藩主をたすけて政治を行う役職。

*三河…愛知県の東半分



*紀州…和歌山県と三重県南部。紀伊ともよんだ。

*評定所…江戸幕府の最高の裁判所。

三十年前に、イギリスのフェートン号が来航したことがありましたね。

フェートン号は長崎港内に不法侵入し、そのときの長崎奉行が責任をとって自殺したんでしたな。

当時、イギリスはオランダと戦争中で、フェートン号の目的はわが国ではなく、オランダ船の攻撃にありました。

しかし、今日では事情がかわっている。

イギリスは、東アジアにたいして野心をいだいているようです。

ここで打払いをすると、かえって連中に、わが国への侵略の口実をあたえることになるでしょう。

幕府の方針は、危険ですな。

幕府に忠告すべきでしょうね。

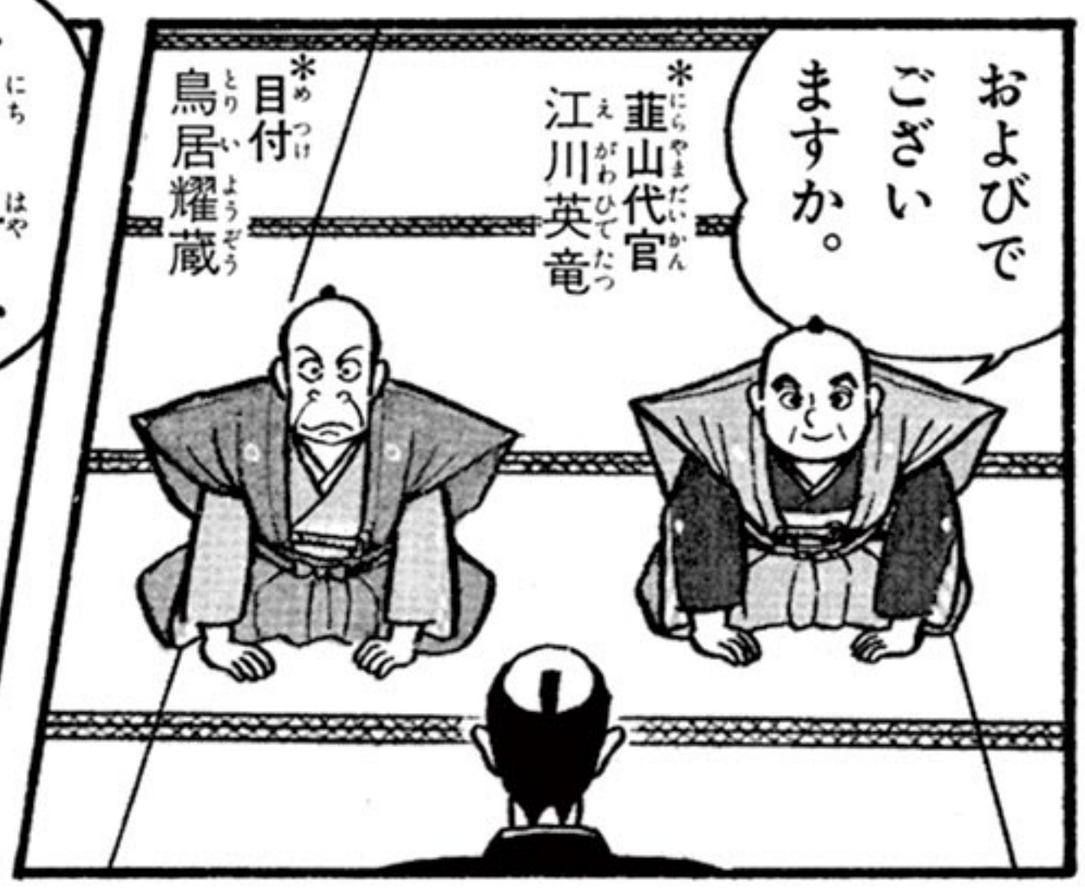
ええ。ひとつ書いてみますか。

まもなく、高野長英は、「夢物語」を書きました。

関係者に読んでもらうことにしよう。

一方、渡辺崋山は、「慎機論」をあらわしました。

かなりはげしい批判になったな。発表は見あわせておくか…。



*韮山…静岡県伊豆の国市韮山　*目付…若年寄につかえ、旗本や御家人らを監視する役職。

鳥居どのがおつれになったあの男は、心もとないですな。

!?

渡辺崋山にたのんで、腕の良い技術者をしょうかいしてもらいましょうか。

といいますと、尚歯会の者たち……。

そ、それは、不ゆかいなことですな!!

なるほど、あなたは蘭学がおきらいでしたね。

とかく蘭学者どもは、世をまどわすことばかり口にしておる!

ははは…。これはお心がせまい。

これからの測量は、わたしにおまかせください。

な、なんと。

くそっ! いまいましいやつだ!

数カ月後

うむ…。

鳥居の計画案より、そなたのほうがすぐれている。

ははっ。

測量には尚歯会の者をくわえ、この計画案には渡辺崋山の助言をとり入れました。

よくやってくれた。

あつく礼をいうぞ。

ははっ。ありがたきおことば。

江川め！崋山め！蘭学者どもめ！

ゴッ

ムシャクシャ

ううー。

よし、こうなったら、尚歯会をつぶしてやるぞ。

して、わたくしの役目は？

崋山一派の身辺を、ひそかに調査せよ。

うまくやるのだぞ。

ふふふ、やつらをわなにかけてやりましょう。

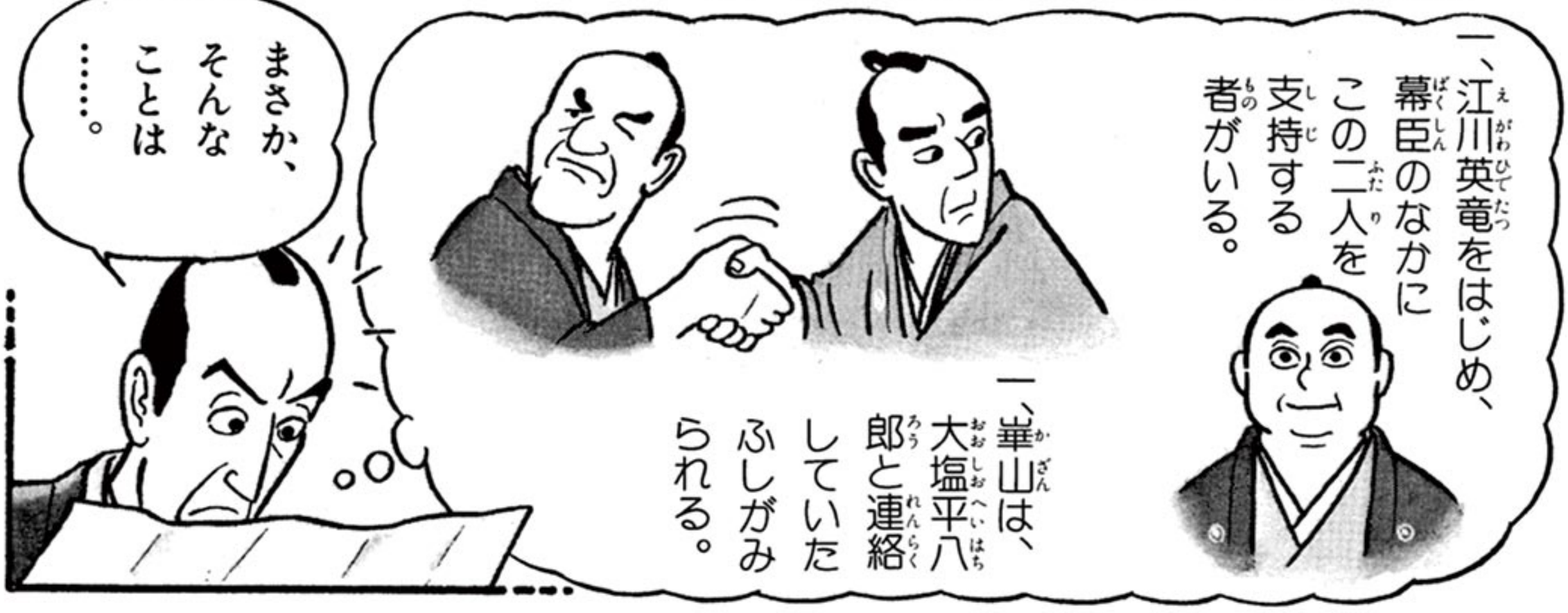
ふふふ……。

ひひひ……。

一八三九年五月——

なに、まことか……!?
はっ。すべてはその書状にくわしく……。

一、渡辺崋山は、国禁の外国渡航をたくらんでいる。
一、高野長英や崋山は、幕府への批判をおおっぴらにしている。
長英の「夢物語」のことか。


一、江川英竜をはじめ、幕臣のなかにこの二人を支持する者がいる。
一、崋山は、大塩平八郎と連絡していたふしがみられる。
まさか、そんなことは……。

鳥居め、幕府の進歩派を追いはらおうとたくらんだな。
どうにかして、江川たちをすくわなければならない。

今回のうったえについて、再調査をさせよう。

＊永牢…江戸時代の刑罰の一つ。死ぬまで牢に監禁すること。

一八四〇年、三河国田原

福田さまというお客さまが……。

ほほう…。その男、江戸での絵の門人だよ。

これはひどいおくらし……。

収入はごくわずかだし、畑仕事にも、まだなれなくて…。

江戸で、先生の画会をもよおしましょう。

うむ…。わたしごときの絵でも、売れてくれるとありがたいが…。

その翌年――

あなた、お元気がありませんね。

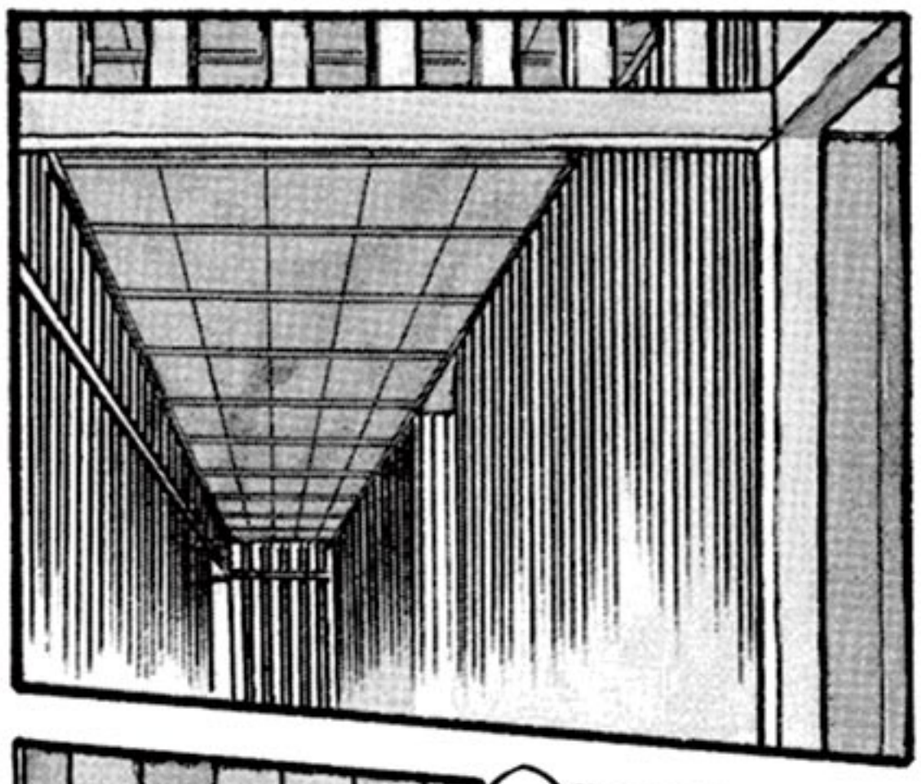
わたしの画会について、幕府をおそれぬ態度だと、やかましくいう人がいるらしい。

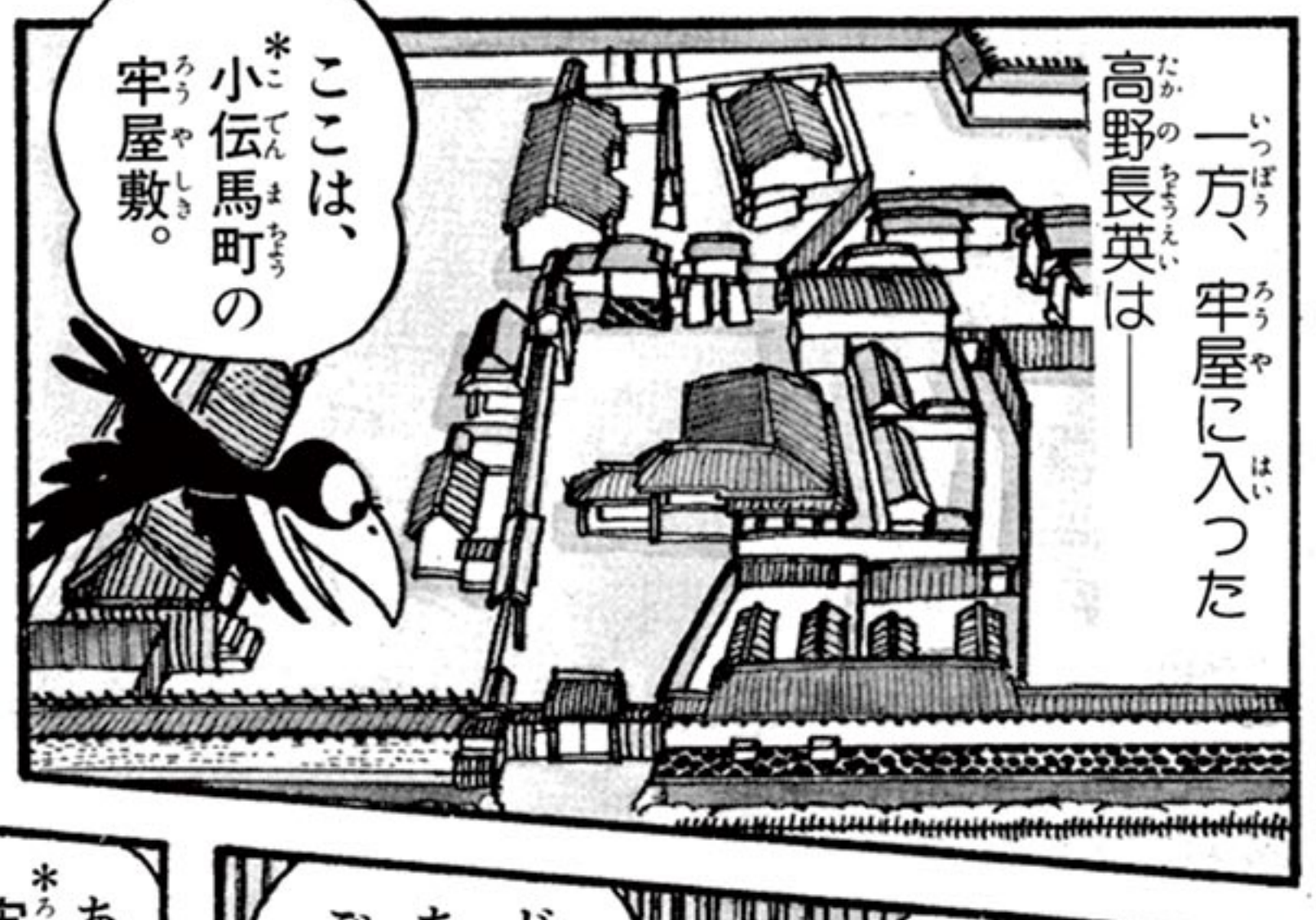
ちかぢか、田原の殿に、おとがめがあるそうなのだ…。

まあ…。

殿に、ごめいわくをおかけすることはできない。

渡辺崋山は、田原藩に問題がおよぶことをおそれて、自殺しました。





*小伝馬町…東京都中央区日本橋小伝馬町

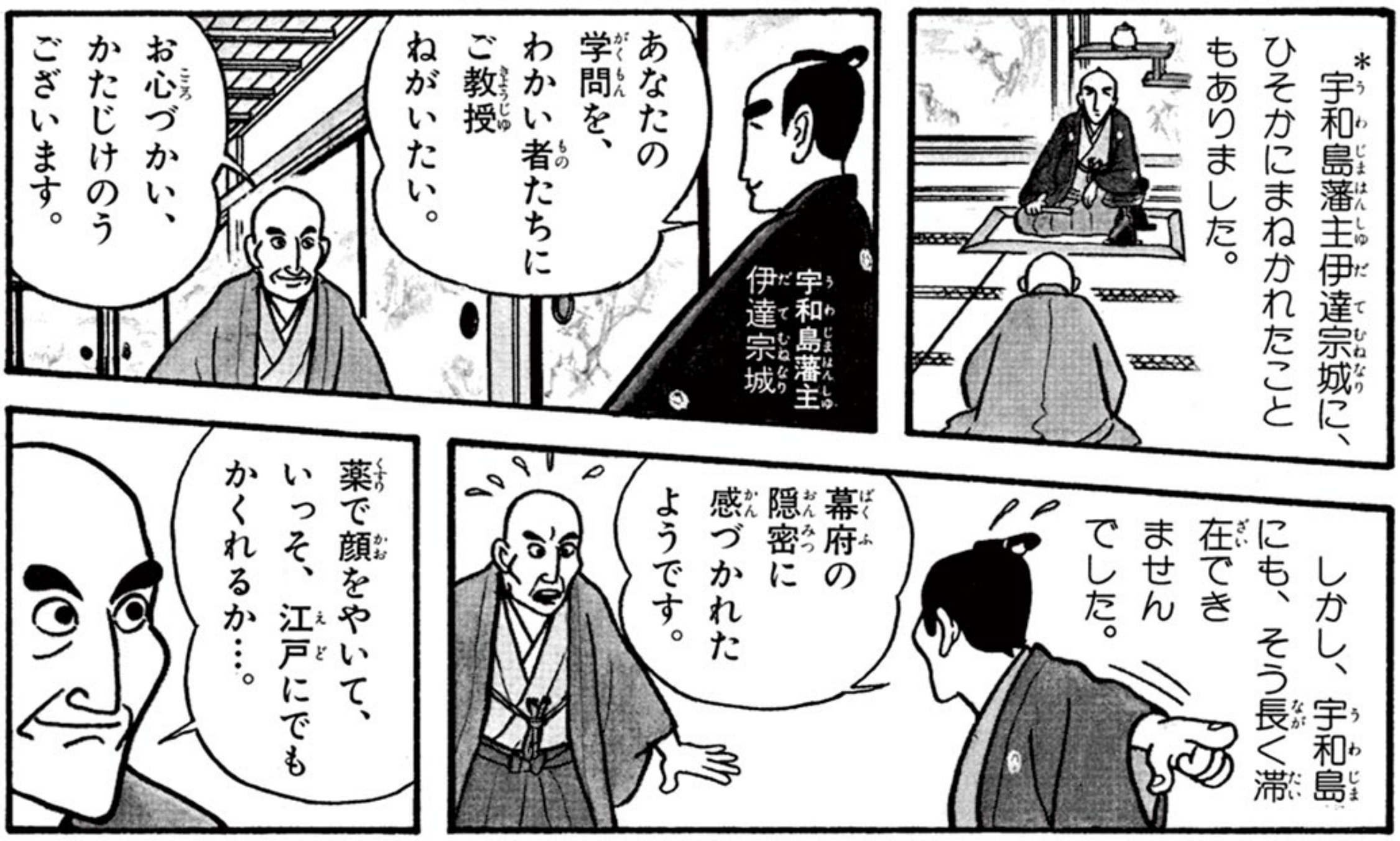
*牢名主…江戸時代、囚人の中からえらばれ、同じ牢屋の囚人をとりしきった長。

その後、高野長英は幕府の目をのがれて、長い逃亡生活をおくりました。

あるときは、知人にかくまわれて*上州の農家を転てんとし……。

またあるときは、故郷の*奥州水沢に帰って老母に会うこともありました。

長英は、そのおちつかない日び、蘭学の翻訳にはげみました。



*上州…群馬県。上野ともよんだ。

*奥州水沢…岩手県水沢市

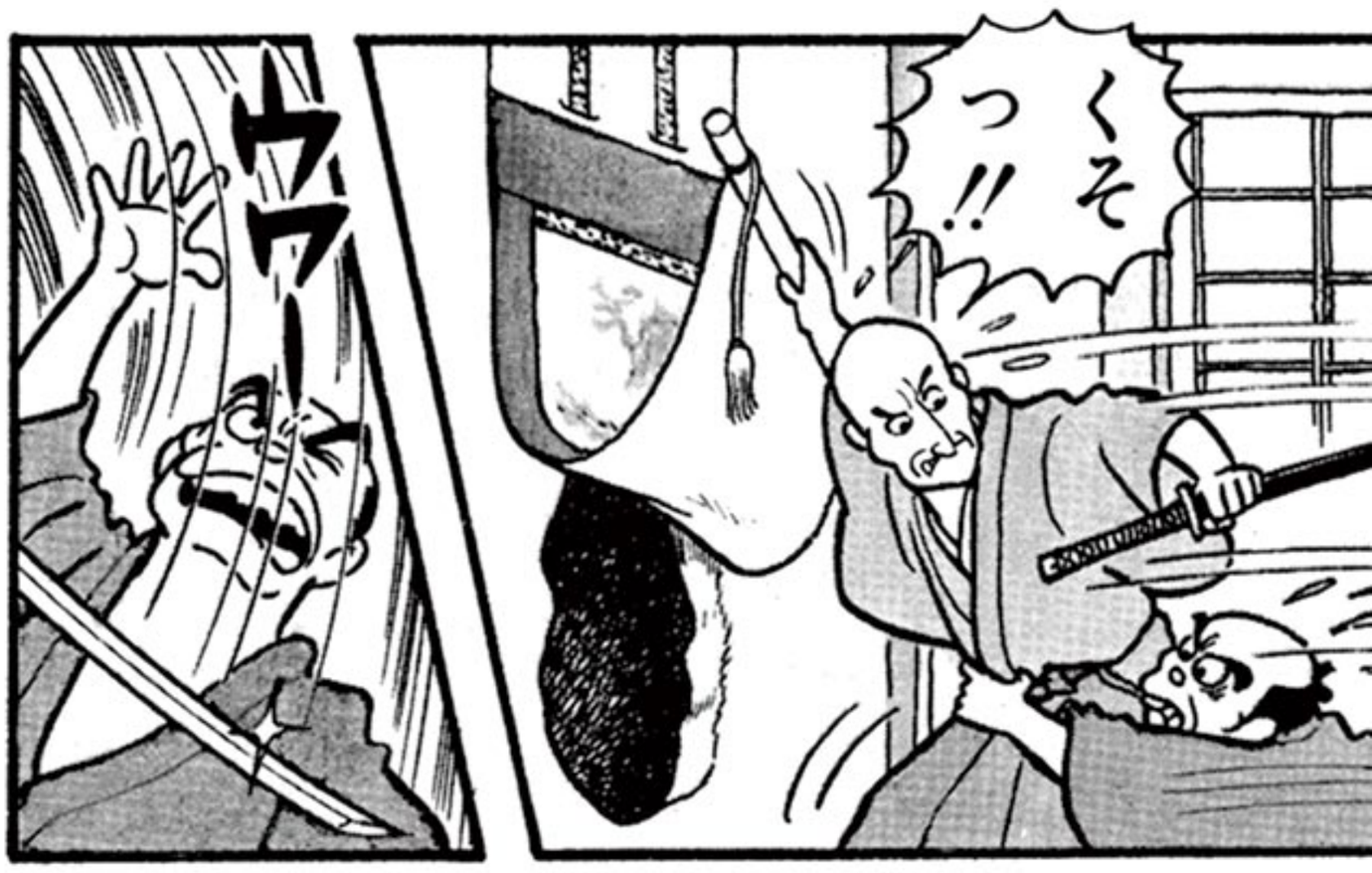
*宇和島藩…愛媛県宇和島市と、その周辺を領地とした藩。

一八五〇年、
江戸――

沢三伯という町医者が、長英というのはほんとうだな？
へえ、まちがいはございません。

先生、けが人を見てください。
どれどれ……。
ウウ…ウ…

高野長英、御用だっ!!
ガバッ
ううっ！


くそっ!!
ウワー

長英!!
あっ！
御用！
観念しろ！
御用
御用
御用
ドガ
ドガ

えいっ!!

もはや、これまで。
自殺をはかった長英でしたが、死ぬことができず、その傷がもとで獄中でなくなりました。

外国船の来航と天保の飢饉、そのうえに幕府の政治の腐敗と、この時代は不安なことがつづきました。

一八三六年には甲斐国や三河国で大一揆がおこり、翌年の大坂での大塩の乱は、幕府に大きなショックをあたえました。

海防をめぐる蘭学者たちの意見を幕府はとりあげようとしましたが、幕臣たちの反対で失敗し、危機は深まっていくのです。

小学館 eBooks

第四章

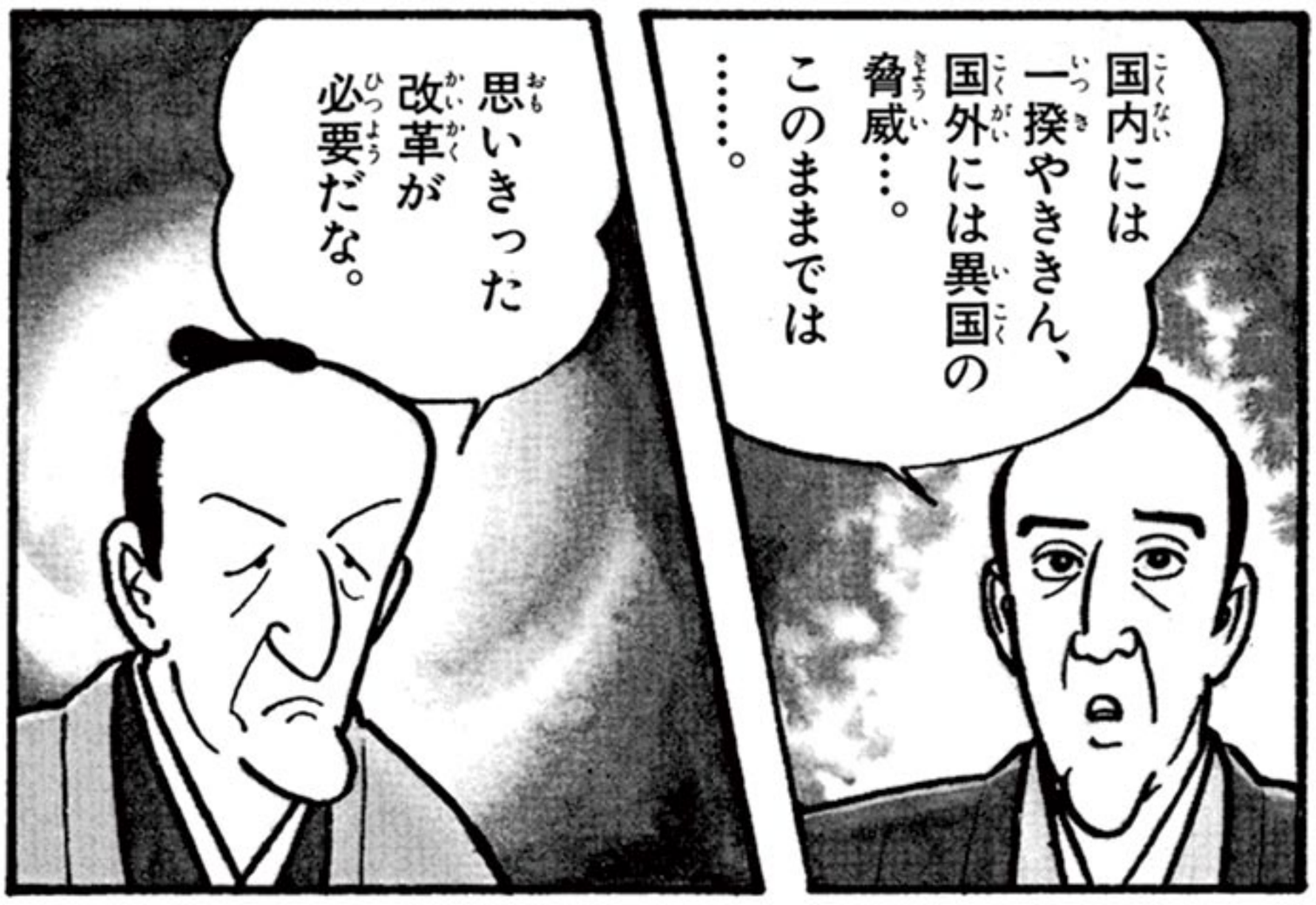
天保の改革

——江戸時代後期——

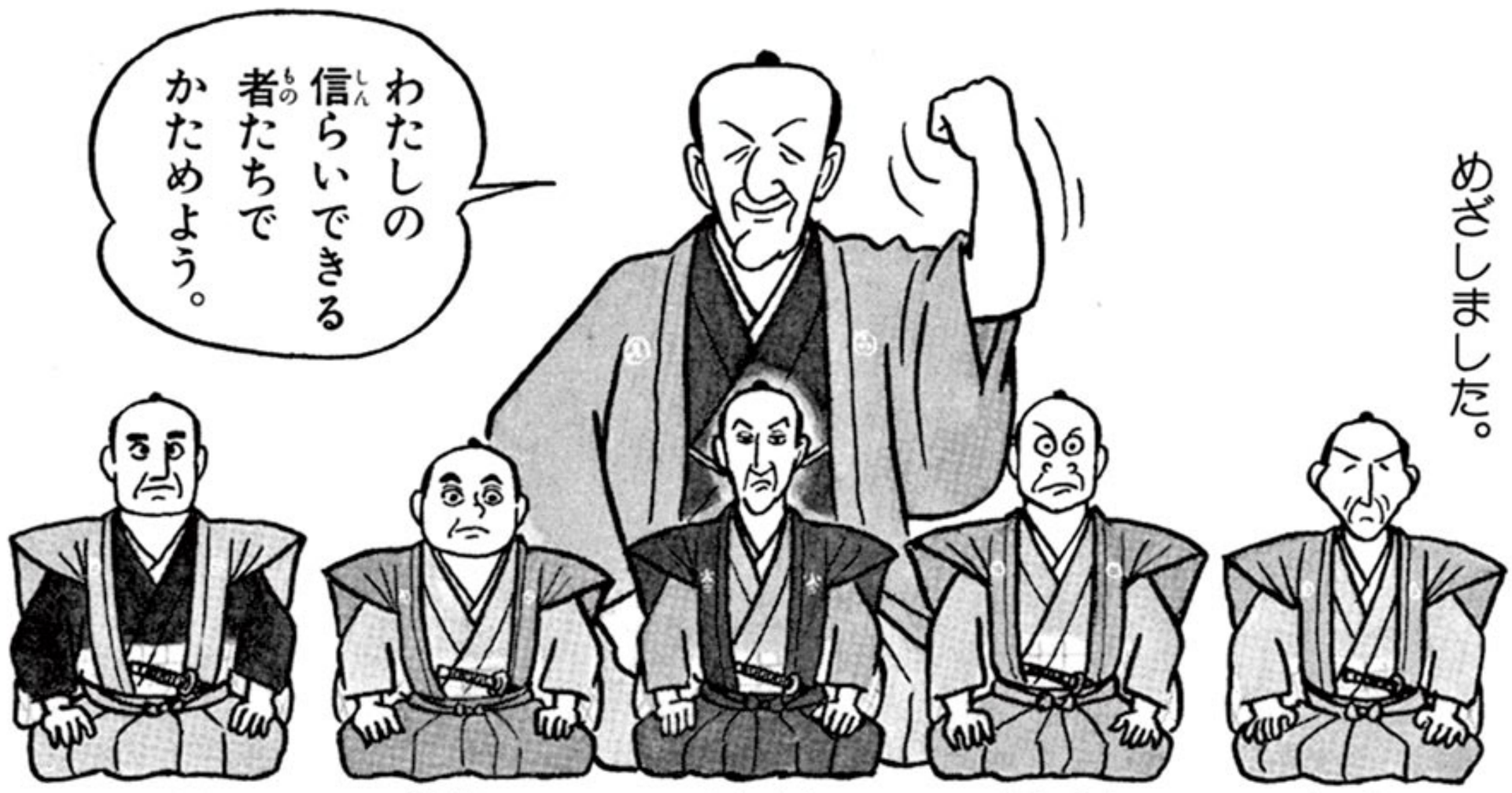
＊大御所…位をしりぞいた将軍のこと。

十一代将軍徳川家斉は、一八三七年に子の家慶に将軍職をゆずってからも、大御所として政治に力をふるっていましたが…。

一八四一年一月、六十九歳でなくなりました。



こうして将軍家慶は、家斉につかえていた幕閣をしりぞかせ、老中の水野忠邦を中心とした新しい体制づくりをめざしました。

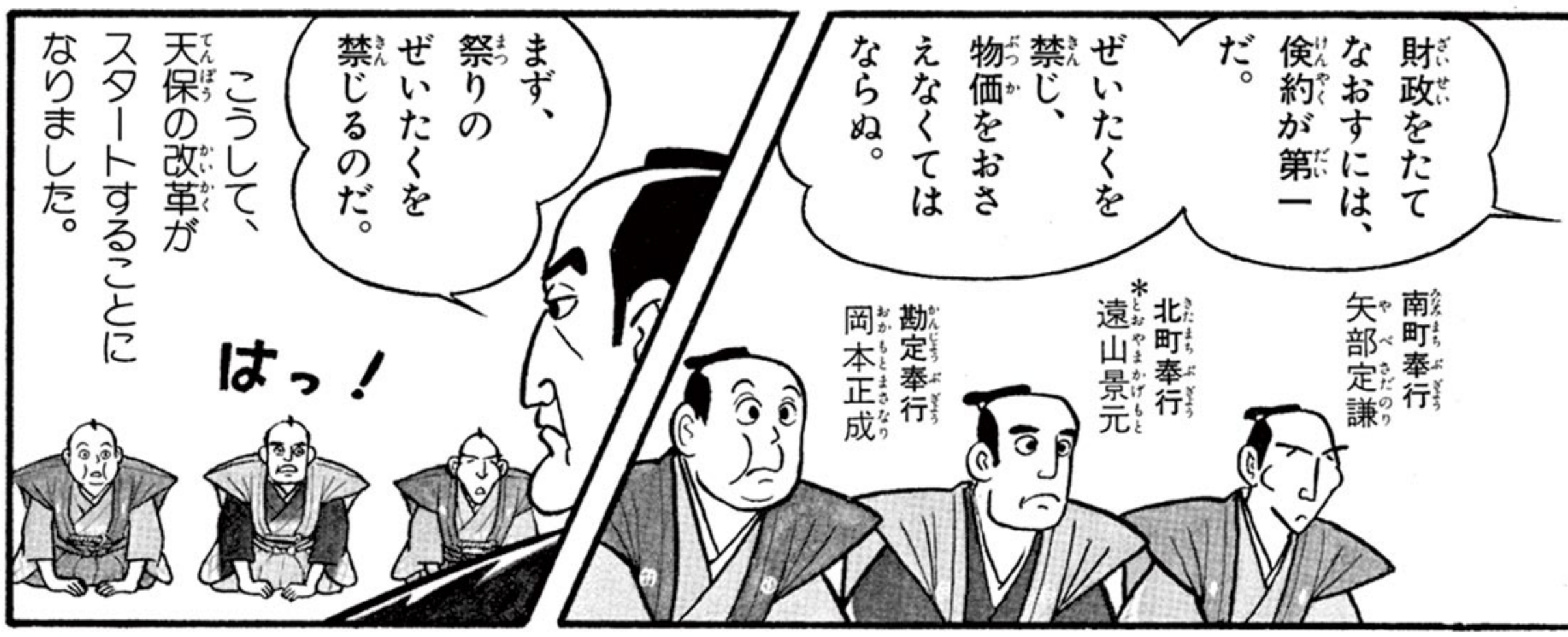


水野忠邦は、*肥前唐津の藩主でしたが、唐津藩主は長崎警備という大役があって、老中になることはできませんでした。

そこで——

*肥前唐津…佐賀県唐津市付近を領地とした唐津藩のこと。

*浜松藩…静岡県浜松市とその周辺を領地とした藩。



*遠山景元…名奉行として知られ、「遠山の金さん」ともよばれている。

*繻子…絹織物の一種で、なめらかでつやがあるのが特徴。

江戸市中のとある長屋では

今帰ったぜ。

あら、勝坊お帰り。

お花

勝吉

この年で「勝坊」でもあるめえ。

ウフフ…

お上は、おれたち職人の賃金まで下げやがった。

お花、いい帯をしめてるなあ。

どう？にあうかい？

しかし、*岡っ引に見つかるとうるさいぞ。

せめて家の中くらい、お上にさからってみたいんだよ。

*岡っ引…罪人をとらえるため、与力・同心の手下としてはたらいた者。

この間もはでな着物を着た女が、町の中で下着一枚にされたっていうぜ。

キャーッ

ああ、気分がめいる。

酒だ、酒！

あいよ。

この酒、ずいぶん水っぽいな…。

このとうふも、いやに小さいぞ！

値段を下げろという命令が出たから、商人たちはそのとおりにしたんだとさ。

その分、水でうすめたり、形を小さくしたりってわけか……。

クイッ

くそっ!! 気分なおしにすしでも食いにいくか！

わあ、うれしい。

こんなきゅうくつな世の中、生まれてはじめてだぜ。

ムシャ

ムシャ

お上には生活の楽しみなんて、わかんないのね。

幕府は、物価を引き下げるため、*株仲間の解散を命じました。

仲間うちでかってに値上げができなくなる。

許可

それに、仲間以外のだれだって商売をやれるってわけだ。

*株仲間…商工業者の同業組合。第十四巻第二章参照。

*南町奉行鳥居耀蔵

水野さまより、禁令がまもられているかどうか、監視せよとのことだ。

はっ！

びしびしやれっ！

ある人形屋で——

ちょっとごめんよ。

いらっしゃいませ。

この店に*芥子びながあると聞いたんだが…。

とんでもありません！あれはお上のご禁制品です。

お金はいくらでも出すから…。

おたがい、お上にないしょにしておけばいいじゃないか。

チャリン

…弱りましたねえ……。

*鳥居耀蔵は、一八四一年から南町奉行になった。*芥子びな…高さ三～五センチメートルほどの小さなひな人形。

しかたありません。絶対に秘密ですよ。
ニコニコ
ふらち者!!やはりこんなもの売っていたのか!
ややっ!きたねえ。
また、このようなことも…。
おや、はでななりの女だぞ。
シャナリ
ジャメリ
ちょっと、むすめさん。
そのかっこうは、はですぎるんじゃないかなあ。
奉行所まで来てもらおうか。
ひっ!
ど、どうか今度だけは、お目こぼしを…。
ならぬ!
だめ!
絶対にだめ!
ね、これでおゆるしください。
おっ!一両小判!

よし、行きな。今後は気をつけるんだぞ。
ありがとうございます。

へへへ、もうかった。

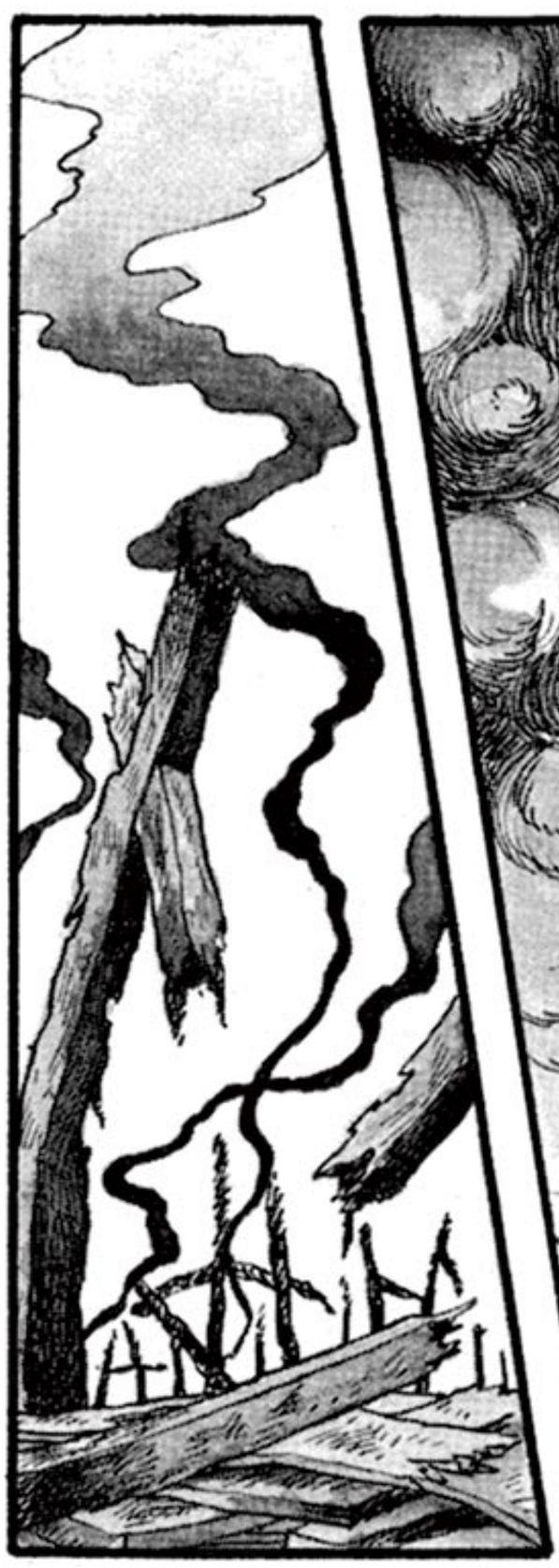
ところがその翌日――
この女に、見おぼえがあるだろう。
へ、へい…、しかし…!?

たわけ！そなた、それでも役人か！
げっ!! するとこ、この女は奉行所のまわしもの!!
ニヤ

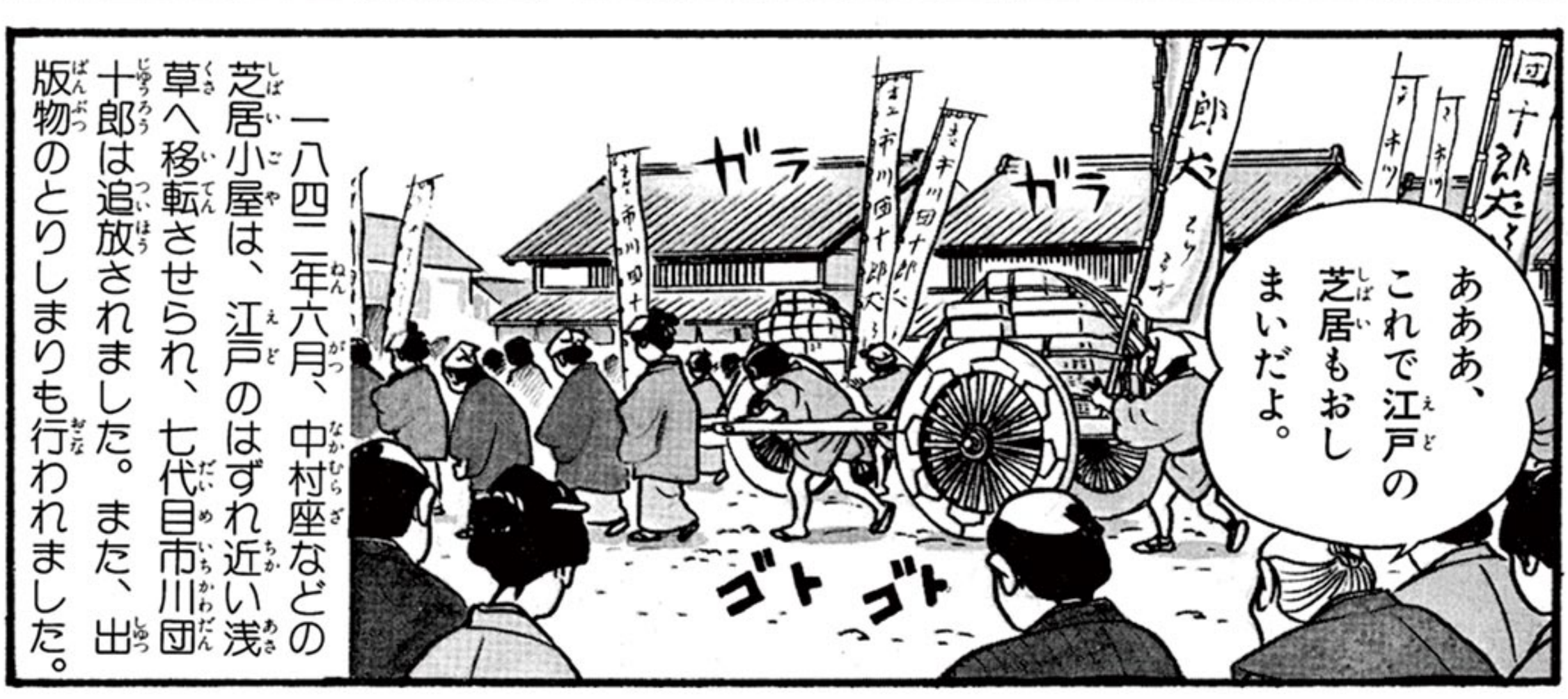
ふふふ。悪徳役人をこらしめるには、この手がいちばんじゃ。
クク

ジロ
ジロ
ジロ

まったく、生きた心地がしない。
しいっ。
ヒソヒソ



*堺町…東京都中央区日本橋の地名。



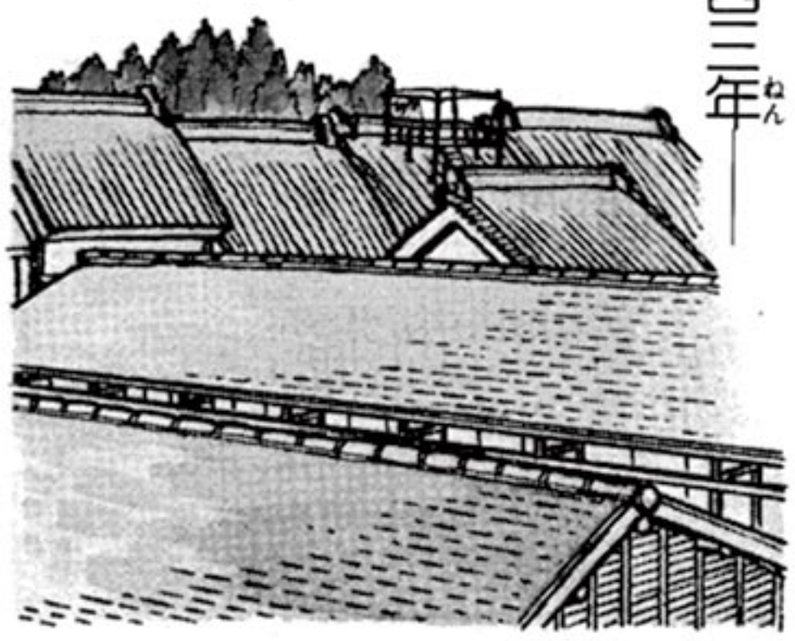
一八四二年六月、中村座などの芝居小屋は、江戸のはずれ近い浅草へ移転させられ、七代目市川団十郎は追放されました。また、出版物のとりしまりも行われました。

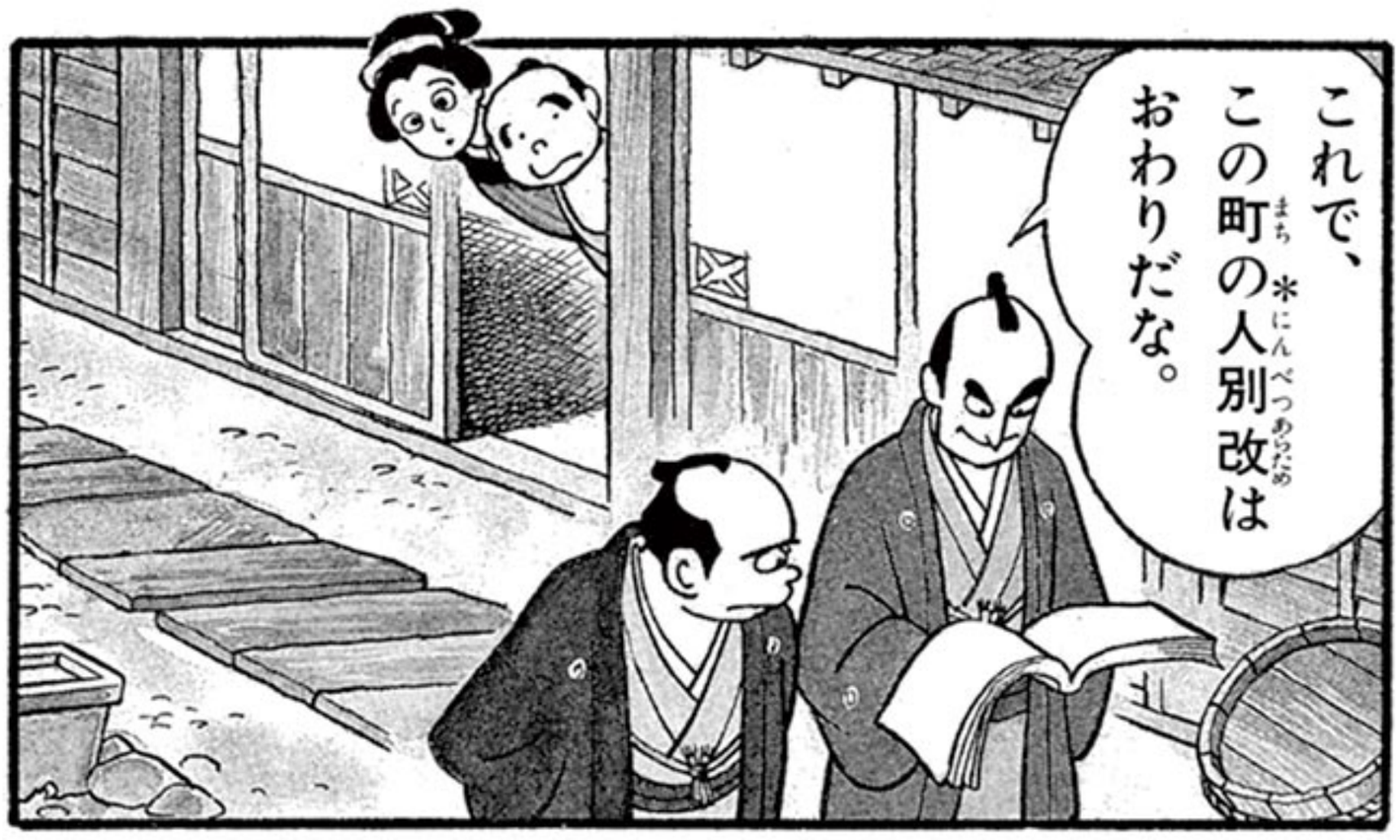
*徳丸ケ原…東京都板橋区徳丸付近

*高島秋帆…江戸時代後期の兵学者。高島式砲術を広め、近代兵学のさきがけとなった。

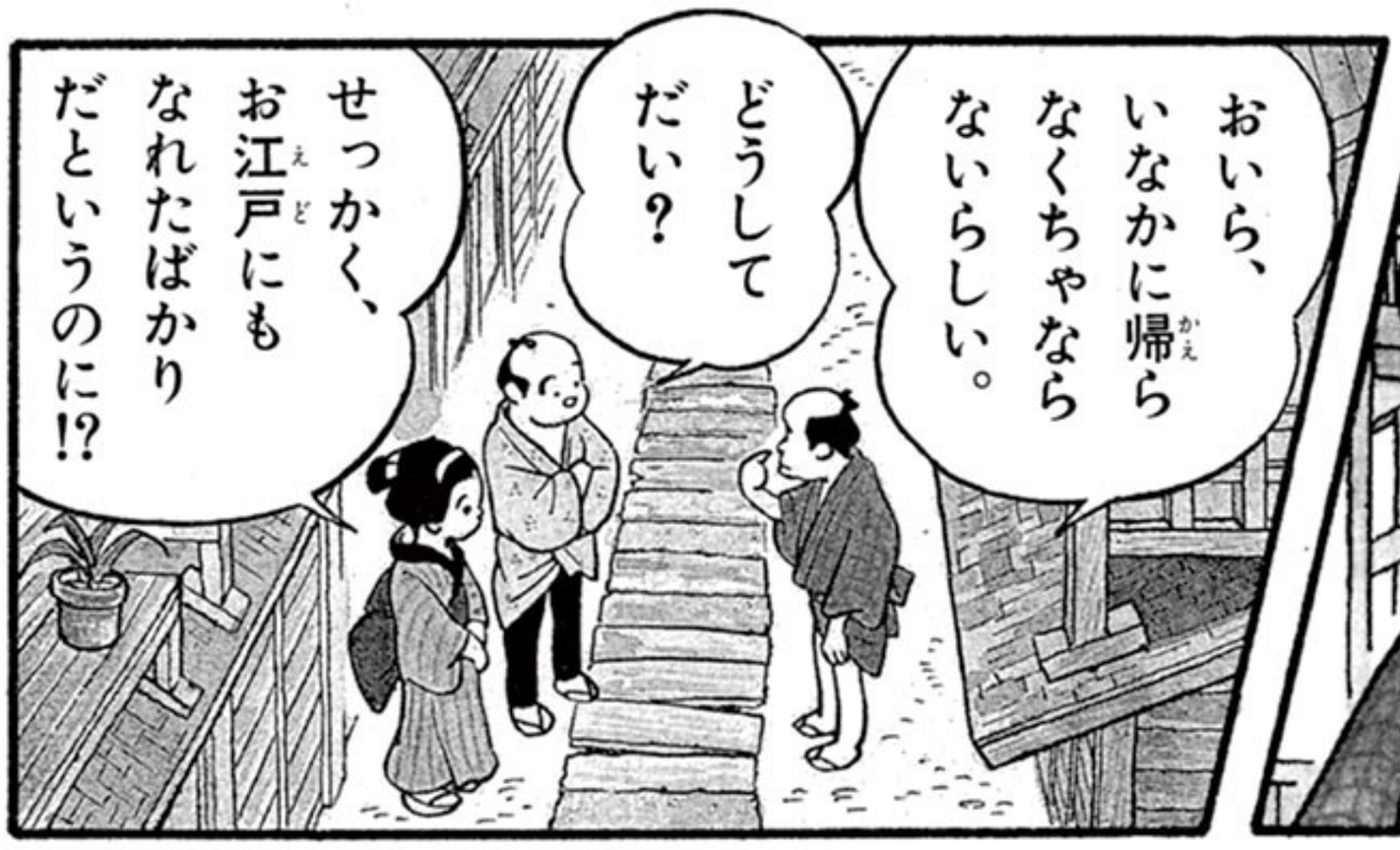
清国の次はわが国かも……。
江戸湾の防備をいそぎ、守りをかためねば…。
うむ、西洋の砲術を採用してはどうだろうか。
ズドー
こうして時間をかせぎ、こちらの兵力を高めていくことです。
うむ……。
一八四二年七月、幕府は異国船打払い令をとりやめて、外国船に必要な燃料(薪炭)や飲料水をあたえる「薪水給与令」を出しました。

一八四三年——

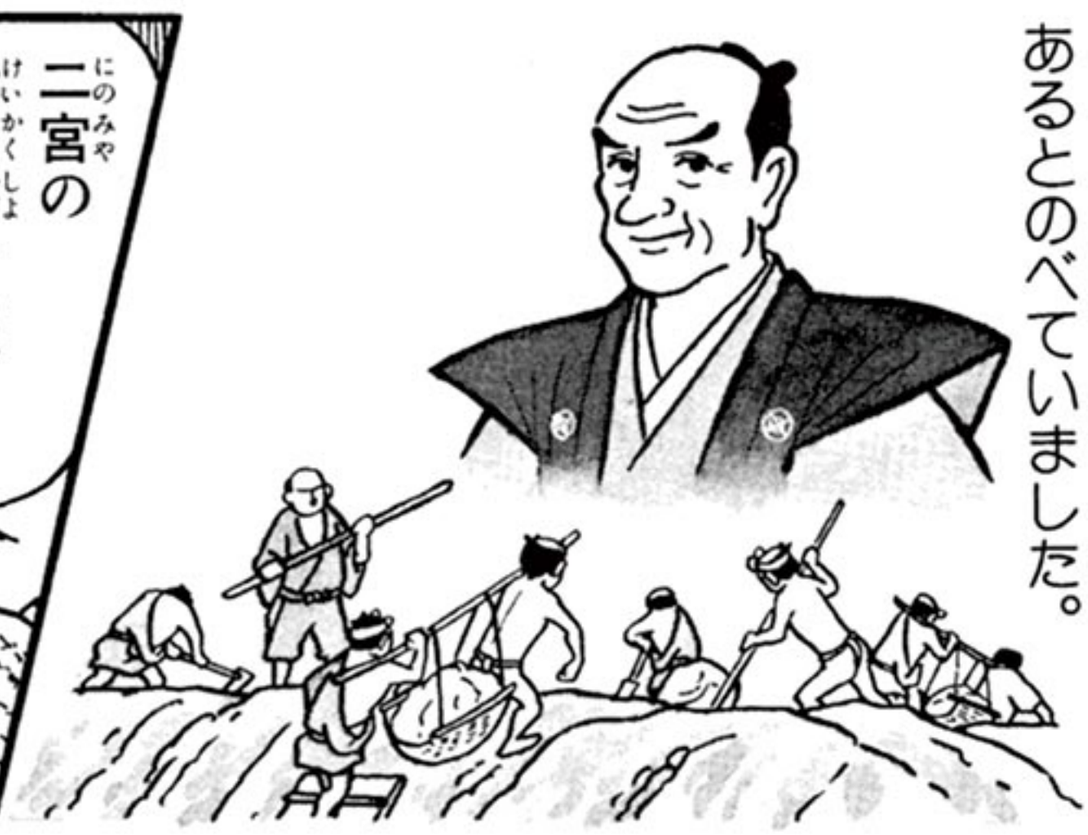




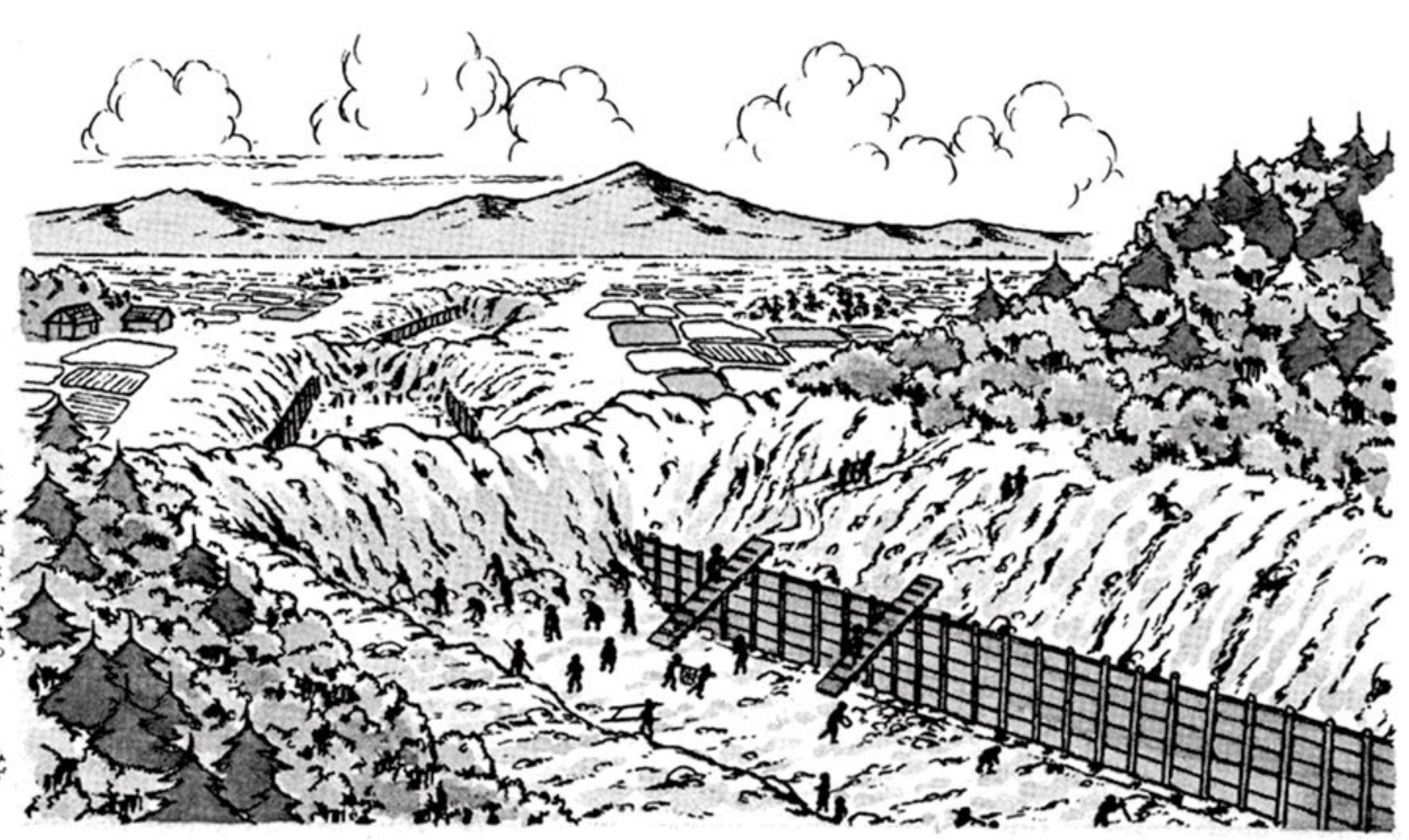
*人別改…人口をしらべること。



江戸城



一二宮尊徳の計画書では、まず印旛沼周辺の農民を救済したうえで、工事にとりかかるべきであるとのべていました。



しかし、このときの印旛沼開発も、水野忠邦の失脚によって、またもや失敗におわることになります……。

*印旛沼…千葉県北部にある沼。印旛沼開発は十八世紀に田沼意次も行った。第十四巻第二章参照。

*二宮尊徳…二宮金次郎ともよばれる。農村復興の指導者として知られる。

同じ一八四三年の九月、幕府は「上知令」とよばれる命令を出しました。

*天領…幕府の直轄地。

*旗本…江戸時代の武士で、石高五百石以上一万石未満のもの。

このように、上知令をめぐって、水野忠邦にたいする不満の声が高まっていきました。

*御用金…幕府・藩が商人や村むらにおさめさせた金。いずれかえすのがたてまえだった。

水野忠邦邸

上知令は、幕府の収入をふやすことだけが目的ではない。

はい……。

江戸、大坂の周辺を天領にまとめれば、沿岸防備を強化できると考えてのこと。

鳥居耀蔵

ごもっともでございます。

今のうちに、反対派をてっていてき的におさえつけては？

いや、かれらにはよく説得しよう。

えっ……。

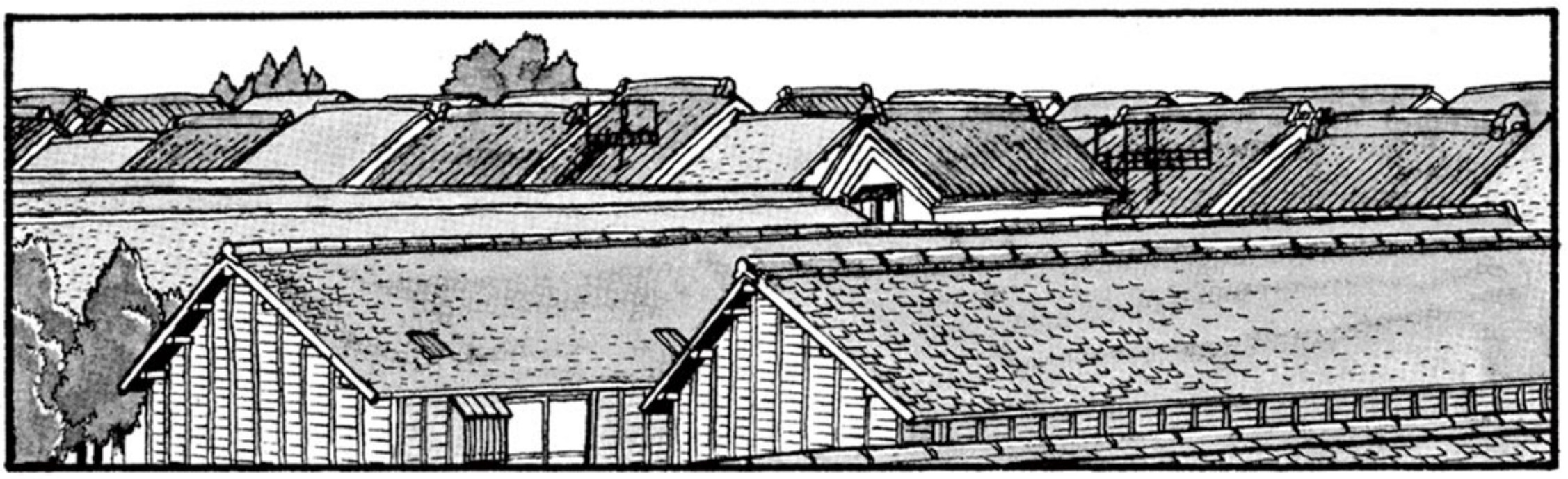
しかし、それでは……。

だめだ。このままでは水野さまの地位はあやうい。

へたをすると、わたしまで道づれにされかねない…。

このへんで、わたしも反対派につくとするか。ふふふ…。

上知令、ひいては水野の政治にたいする非難はいよいよ高まり、将軍家慶の心もうごかしました。



*辻番所…江戸市中の武家屋敷のそばに、大名や旗本がもうけた番人小屋。

ところでこの時期には、幕府だけでなく、いろいろな藩でも政治の改革が行われたんだよ。

そうして力をつけた藩を「雄藩」というんじゃが、いくつか代表的な例を見てみよう。

*水戸藩の場合——

*御三家とはいえ、わが領内のまずしさときたら！

水戸藩主 徳川斉昭

*水戸学には、「愛民」という思想がございます。

その精神で、改革を行うべきでしょう。

*水戸藩…茨城県水戸市周辺を領地とした藩。

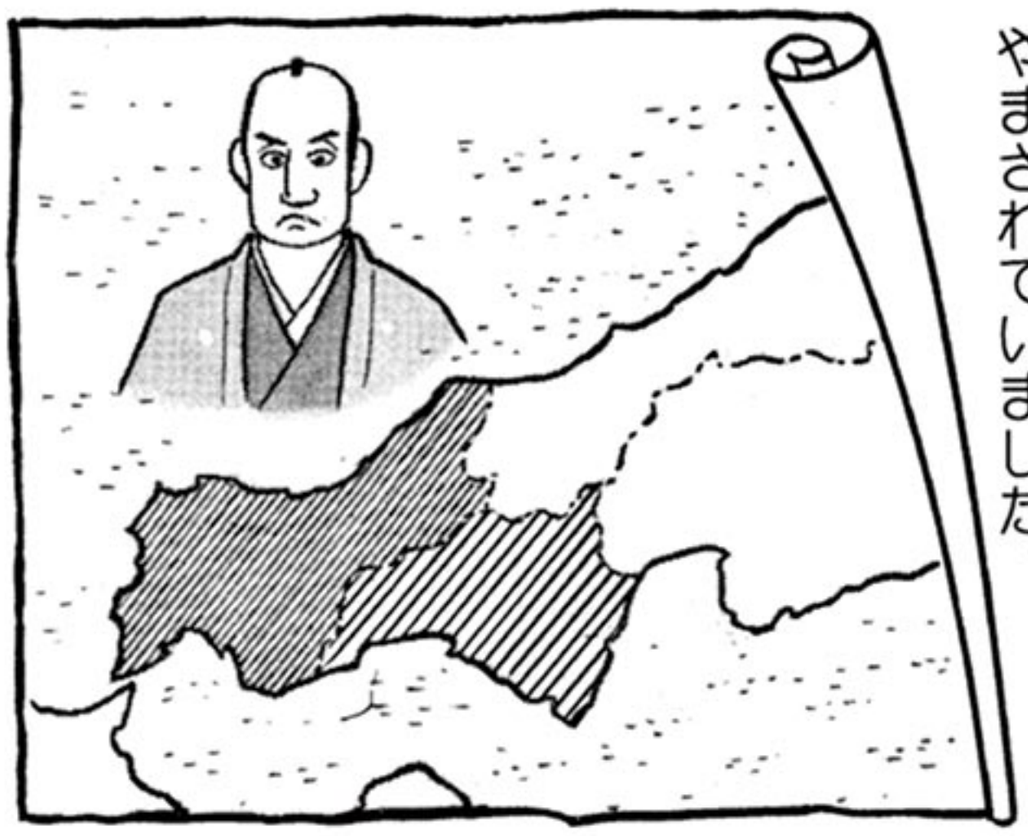
*水戸学…水戸藩でおこった学問。皇室をとうとぶ思想を中心とした。

農民の土地の不平等を、できるだけなくすのだ。

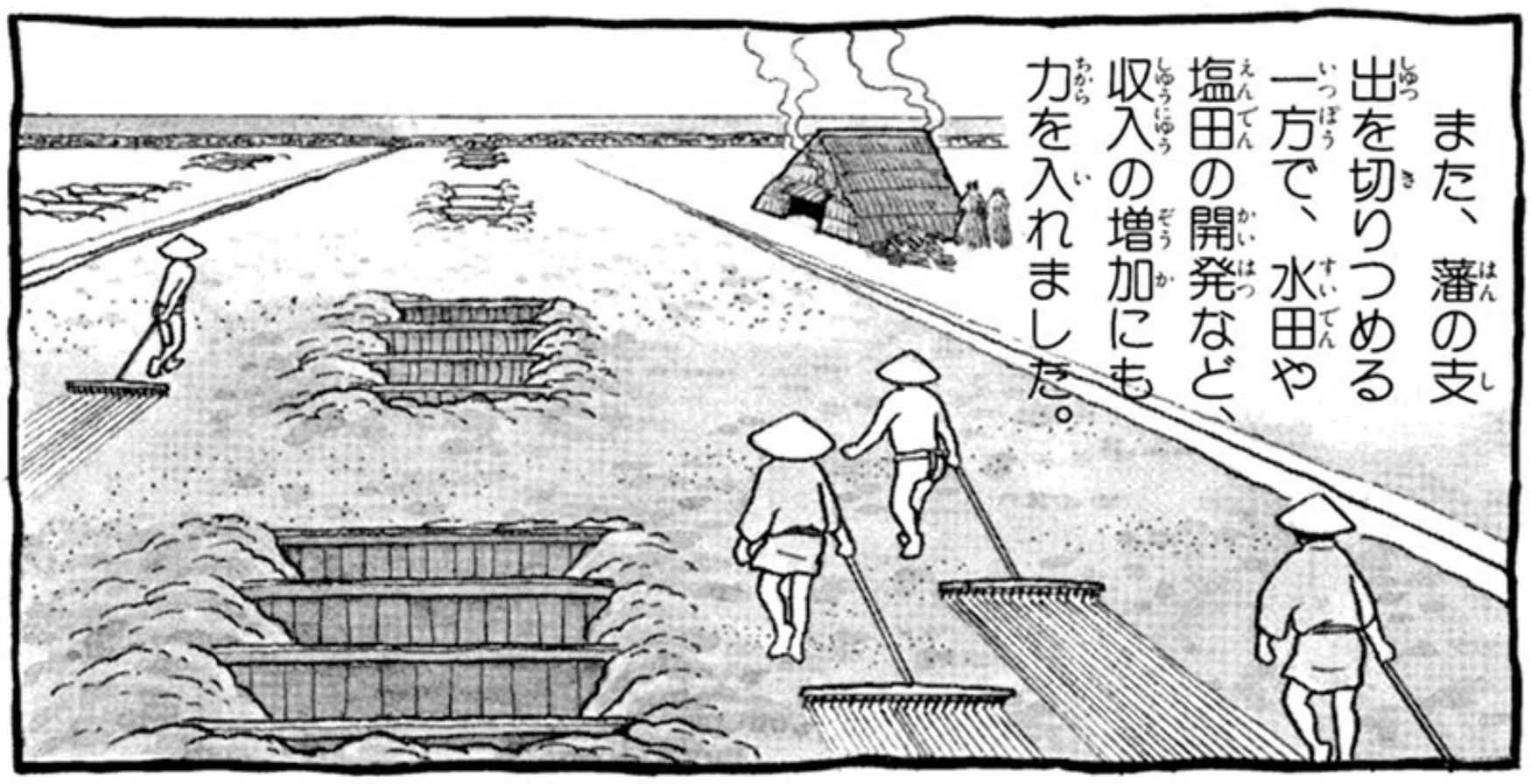
*御三家…徳川将軍家の一族で、尾張・紀伊・水戸の三家をいう。

佐賀藩の場合――

長崎の警備にあたっていたため、洋式の軍備に積極的にとりくんだ佐賀藩では、一八五〇年に日本最初の反射炉と溶鉱炉をきずき、翌年には大砲の製造に成功しています。



*長州藩も、ばく大な赤字になやまされていました。



さらに、下級藩士も政治に参加させて、藩のまとまりを強める一方で……。

*長州藩…山口県全域を領地とした藩。

*藍玉…アイの葉からつくった染料。

洋式軍備をとり入れて、ちゃくちゃくと実力をたくわえていきました。

本日の訓練は大成功です！

＊薩摩藩の場合——

わが藩の借金は、五百万両…。

元藩主 島津重豪

ううむ、良い案はないか。

はっ。わが領内では、日本のどこにもないものを産しております。

ふむ。＊奄美大島、徳之島、喜界島の砂糖だな。

＊側用人 調所広郷

財政改革の根本となるのは、その砂糖であります。

専売を行うといいのだな。

奄美大島など三島の住民は、甘蔗（サトウキビ）のさいばいや製糖など、きびしい労働を強いられました。

わが藩以外に砂糖を売ることは、絶対にならんぞ。

＊奄美大島、徳之島、喜界島…九州の南方、太平洋にうかぶ奄美諸島の島じま。

＊薩摩藩…鹿児島県全域と宮崎県の一部を領地とした藩。

＊側用人…この場合は藩主のそば近くにつかえた人。

きさま、砂糖をなめたな。

バシッ

うわっ、おゆるしを！

くそっ、薩摩め！

このうらみ、死んでもわすれないぞ。

薩摩藩は、これらの砂糖を江戸や大坂で売り、ばく大な収入をえました。

大坂の豪商たちにたいしては——

かりている五百万両は、二百五十年の*年払いにする。

二百五十年ですと！

それはひどい！

証文もこのとおりだ。

メラ

メラ

ああ

あっ!!

文句があるなら、わたしをころすなりなんなりせよ。

さらに薩摩藩は、支配下にある*琉球を通して、清との密貿易に熱心でした。

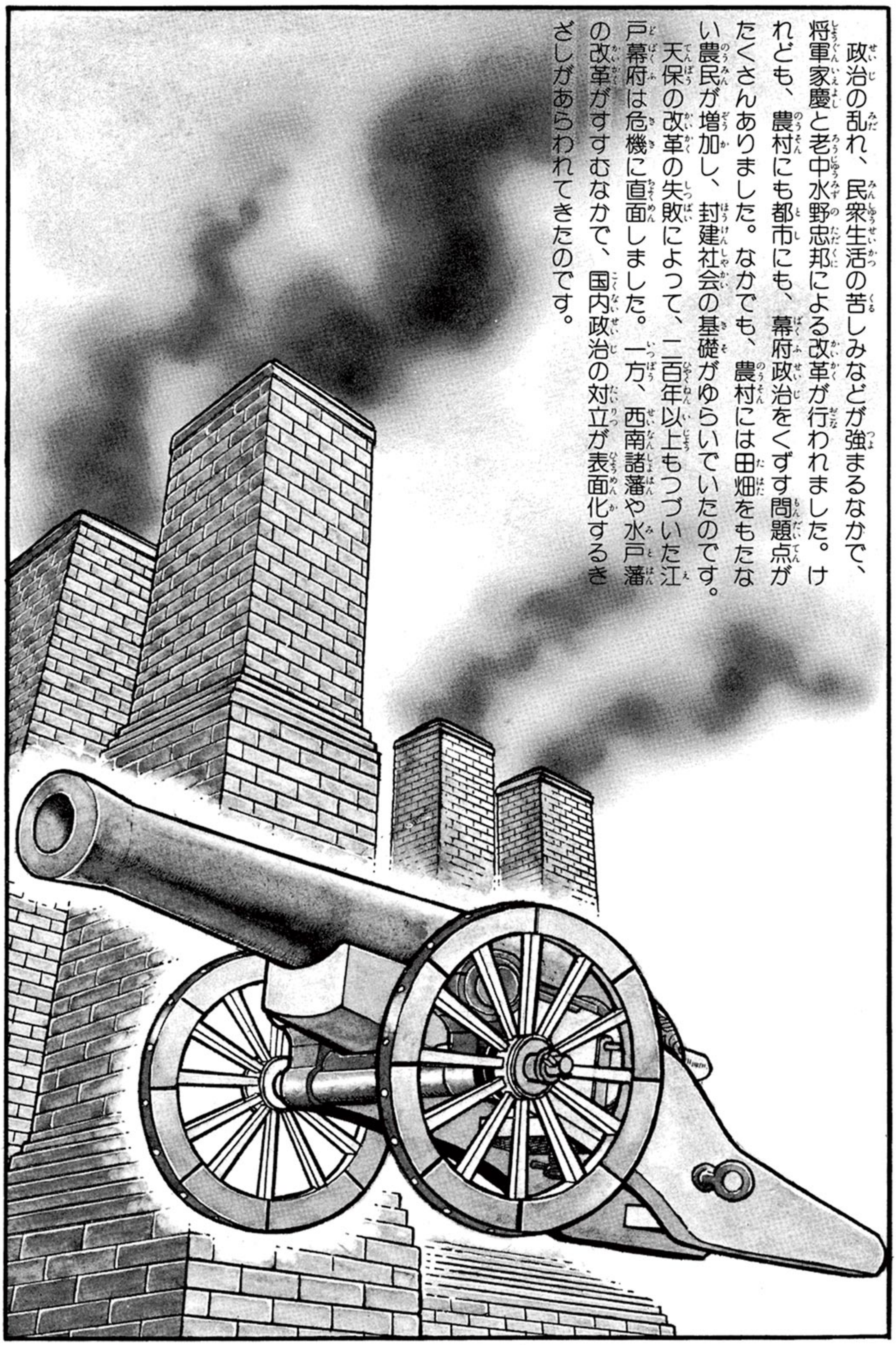
これらの雄藩から、次の時代のにない手が出るんだよ。

*年払い…年額をきめてしはらうこと。

*琉球…沖縄県

政治の乱れ、民衆生活の苦しみなどが強まるなかで、将軍家慶と老中水野忠邦による改革が行われました。けれども、農村にも都市にも、幕府政治をくずす問題点がたくさんありました。なかでも、農村には田畑をもたない農民が増加し、封建社会の基礎がゆらいでいたのです。

天保の改革の失敗によって、二百年以上もつづいた江戸幕府は危機に直面しました。一方、西南諸藩や水戸藩の改革がすすむなかで、国内政治の対立が表面化するきざしがあらわれてきたのです。



小学館 eBooks

おうちの方へ

ゆきづまる幕府

京都教育大学名誉教授　高山博之

この巻では、主に19世紀前半の政治、社会が扱われますが、この時期は、国内外とも大きなできごとが次つぎにおこってきます。やがて来る幕末の激動の前ぶれといってよいでしょう。

農村の荒廃と幕藩体制の動揺がさらに進み、天保の改革の失敗は致命的な打撃となりました。それに加え、外国船の頻ぱんな来航は、新たな危機をよびおこすことになります。

一方、都市の町人を中心に、化政文化とよばれる文化が栄え、町人も農民も年中行事や祭りを楽しむようになりました。時代の大きな動きを広い視野でとらえさせてください。

●第1章「江戸の町人文化」

落語、川柳や狂歌、歌舞伎、小説、浮世絵、今の私たちの生活に直接つながる庶民の文化が文化・文政期に江戸を中心に栄えました。

化政文化とよばれるこの文化の大きな特色は、様々な階層の町人たちが、行動し参加して創り出された文化だということです。人びとは、花見、川開き、酉の市などの年中行事や寺社への参詣、祭りへの参加、歌舞伎見物などで、結構楽しく生活していました。

長屋住まいの庶民の喜怒哀楽や人情などを読みとらせてほしいものです。

また、浮世絵版画の制作や歌舞伎の様子、「東海道中膝栗毛」などからも、化政文化の特色が理解できるでしょう。

●第2章「北方の探検」

18世紀末から外国船がしばしば来航するようになりました。とくにロシアの南下政策は、危機感をつのらせ、蝦夷地（北海道）の防備が緊急の課題となり、幕府は、真剣に海防政策に取

りくみはじめます。

伊能忠敬の日本地図の作成、最上徳内や間宮林蔵らの北方探検は、このような情勢の中で行われたものです。精密な地図、間宮海峡の発見、今の北方領土などに着目させてください。

一方、幕府のこの動きは、蝦夷地で平和に狩漁を営んでいたアイヌの人びとの生活を、しだいにおびやかす結果になります。現在につながるアイヌ民族の問題を話し合ってみましょう。

●第3章「不安な世の中」

天保の大飢饉の中でおこった大塩平八郎の乱は、幕府に大きな衝撃を与えました。もと大坂町奉行与力という幕府内部の者からの公然たる批判・反抗だったからです。

渡辺崋山や高野長英らの蘭学者が罰せられた蛮社の獄は、鎖国政策への警鐘を鳴らしたもので、二つの事件は、幕府政治を正面から批判しているところに共通点があり、大きな社会変革の初期の動きをここに見ることができます。

「大塩に続け」という動きが各地でおこったように、封建体制への批判の声が高まっていた点にも注目させ、社会の変動に対応できない幕府政治の問題点を摑ませてください。

●第4章「天保の改革」

早くから幕政改革の構想をしていた水野忠邦は、老中首座につくと次つぎに厳しい政策を断行しました。その基本は、商品経済をおさえ、農村を立て直して封建体制を強化しようとするものでした。人びとは、極端な倹約令、厳しい弾圧に反発、幕府権力の強化を図った上知令は大名らの反対にあい、改革は挫折します。

この天保の改革の失敗は、幕政の立て直しを不可能にし、滅亡を早める結果になりました。

一方、薩摩藩らの西南雄藩が財政改革に成功し、軍事力を強化していった点に注目させましょう。そして、中国ではアヘン戦争がおこっています。視野を広げて日本の動向を考えさせてください。

児玉幸多
Kouta Kodama

歴史を漫画で説明しようというのはかなり冒険である。しかし、文字で読んでも、耳から聞いても、人それぞれに頭の中ではその光景を絵に描いているのである。それが子供たちの頭の中で全くの絵空事にならないように、今の歴史研究の段階では、このくらいのところまでは漫画にすることができるのではないかという試みがこの企画である。

それぞれの専門研究家の指導によって一巻ごとの構成を決め、作図や文章表現も考慮しているので、誤った知識を得る恐れはないと思う。そして、多分、大人が読んでも、あるいは見ても、十分に楽しみながら日本歴史の学習ができるのではないかとも考えている。遺跡の発掘、奈良の大仏の鋳造、天守閣の構築、それらの一つ一つにも、専門家の新しい研究成果が判りやすく盛りこまれているからである。楽しみながら正確な知識が得られることを願う次第である。

小学館 eBooks
学習まんが　少年少女 日本の歴史　第15巻　ゆきづまる幕府

2015年3月27日　電子書籍版発行
監　修　児玉幸多
まんが　あおむら 純
発行人　伊藤 護
発行所　株式会社　小学館
〒101-8001
東京都千代田区一ツ橋2-3-1
s-ebook@shogakukan.co.jp

底　本　2014年12月23日　増補版第21刷発行

©SHOGAKUKAN 2015 ISBN978-4-09-298115-7

※ご注意
本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。
個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと著作権法、その他関連法によって処罰されます。